HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers
Honda Multi Car-AV System

スタンダード インターナビ

VXM-152VFi

ナビゲーション･オーディオ編

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

・当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
・Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い求めのHonda販売店にご依頼ください。
・商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

・本機に保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

・本機に保存された画像データ／音楽データ等（その他録音データ）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。 本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法に抵触するおそれがあります。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

本書の構成

操作の前に→ P.13

地図画面の見かた→ P.27

目的地を探す→ P.39

地点・ルートを登録する→ P.57

ルートの設定と案内→ P.61

情報を利用する→ P.79

通信機能を利用する→ P.87

オーディオ・ビジュアルを楽しむ→ P.101

各種設定→ P.149

便利な機能（アクセサリー）を使う→ P.167

困ったときに…→ P.181

付録→ P.195

■ 本書に記載されているマークの意味

⚠ 警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

⚠ 注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

❗ お願い

「警告」や「注意」には該当しませんが、金銭や時間を大きく損なう危険性があることについて説明しています。

準 備

操作をするために、あらかじめ行わなければならないことを説明しています。

お知らせ

操作を行ううえでの制限事項などを説明しています。

MEMO

本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

■ ハードボタンとタッチキーについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下の例のように枠囲みで表記しています。

例：MENU

また本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。
画面上のキーをタッチして操作をするときは、本書では以下の例のようにグレーのキーで表記しています。

例：目的地

安全にお使いいただくために

本書は、ナビゲーションシステムおよびオーディオ・ビジュアルの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書とあわせてお読みください。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解されたうえでお使いください。
仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

⚠ 警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。
⚠ 注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

⚠ 警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す

感電やけが、機器故障の原因になります。

走行中、運転者は本機の注視や操作をしない

道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから行ってください。

実際の交通規制にしたがう

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。

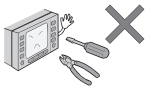
リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する

後退時には、直接後方の安全確認をしながら運転してください。

テレビやDVDを見たりナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

分解や改造をしない



コードの被覆を切って他の機器の電源を取ったり、ケースを開けて注油したりしないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。

ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります。

ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。
また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

SDメモリーカード/mini B-CASカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

取り付け、取り外し、取り付け変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をすると、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。

本機を車載以外の用途に使用しない

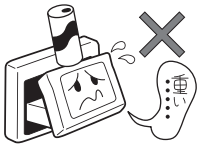
けがや感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

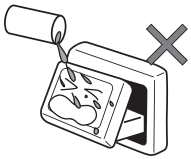
操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。



上に物を置かない

手で強く押さない

ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったりたたいたりしない



水滴やジュースなどの飲みものをかけない

操作パネルの開閉や角度の調整時に、手や指をはさまないように注意する

けがの原因になります。

お願いとお知らせ

■ 操作パネルについて

●ディスク/SDカード挿入口等や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
●操作パネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。操作パネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、オープンボタンを押してください。
●操作パネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、操作パネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
●操作パネルに、たばこの火などを触れないようにしてください。キャビネットや液晶表示部が変質、変形することがあります。
●操作パネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。

■ 液晶表示について

●画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
●タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルが汚れた場合は、「本体のお手入れ」をお読みください。→ P.6
●表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
●非常に寒いときは、画面の動きが遅くなったり画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
●雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。
●夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。液晶表示部が正しく動作する温度は0℃～60℃です。

■ 使用環境について

●バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
●エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
●本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中や車両の電源をOFFにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
●Hondaスマートキーシステムが装着されている車では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、Hondaスマートキーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合があります。Hondaスマートキーを離してご使用ください。
●本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

■ ルートについて

●検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
●音声データにより聞き取りにくい名称があります。
●提供されるVICS情報は参考情報であり、最新のものではない場合もあります。
●ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっては、計算できない場合があります。

■ その他

●安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能がありますので、走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
●停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行ってください。
●本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びや映像乱れを起こすことがあります。
●ラジオやTV、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
●バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、お客様が登録したメモリー内容が消えて、初期設定状態になります。その場合には、設定し直してください。初期設定に戻るのは、FM/AM/TVチューナーのプリセットメモリーおよびチューナーエリア、音質および音量バランスなどオーディオ設定の一部と、操作パネルの角度設定などです。
●長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極度に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
●万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

お手入れ

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

●ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。
●レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。
●DVD/CD専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。
●ディスクは次のような場所には保管しないでください。
・直射日光の当たる場所
・湿気やホコリの多い場所
・暖房の熱が直接当たる場所

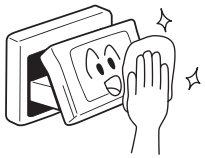
本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量付けて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

※ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミの付くことがあります。

●液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。



お使いになる前に

●購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測位するまで5分～ 15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測位するまで2分～ 3分程度かかることがあります。
●GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

■ 著作権について

本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェアおよびデータを収録しています。取説記載内容にて明示的に許諾される場合を除き､本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

■ インターナビ・プレミアムクラブについて

●本機の地図更新は“インターナビ・プレミアムクラブ”会員サービスとしてご提供いたします。（会員登録されない場合は地図更新サービスはお受けいただけません。）必ずHonda販売店で会員登録をお願いします。
●無償地図更新の時期、有償地図更新の価格やお申込方法は、インターナビ･プレミアムクラブ　パーソナルホームページやメールニュースでご案内いたします。
●インターナビ・プレミアムクラブについて詳しくは、取扱説明書のインターナビ・プレミアムクラブ編をご覧ください。

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します。（距離係数／学習機能）そのため、ある程度の走行データが必要です。
走行している道路の状況や、GPS衛星からの電波受信状況により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、**故障ではありません。**
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

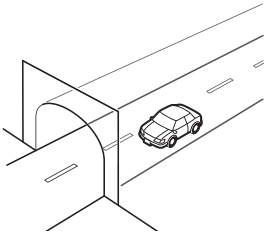
はじめて使用するときやセンサーの学習リセットの操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じます。→ P.9「自車位置の精度について」
GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しの良い道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになります。次の方法により短時間での学習が可能です。

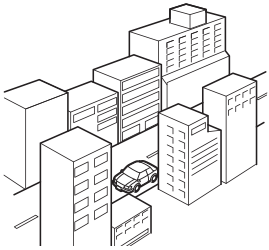
GPSが受信できる、下記のような道で、約5分間、法定内のスピードで定速走行を行う。
●上空に障害物がない道
●周辺に高いビルがない道

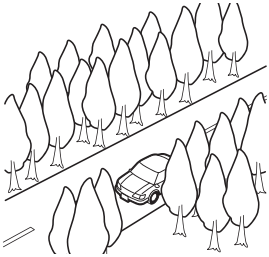
— MEMO
• 自車位置マークの精度や誤差について詳しくは、「自車位置の精度について」をご覧ください。
→ P.9

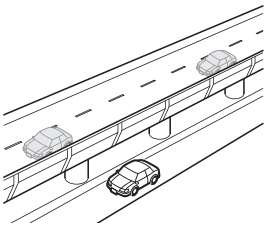
GPSの誤差について

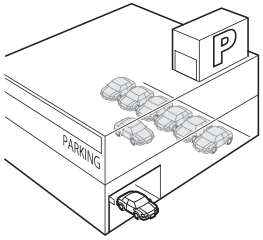
●以下のような場所では、GPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。


トンネルの中


高層ビルなど、
障害物で囲まれた場所


樹木などの密集地


高架道路の下



建設物の中や、地下、屋内駐車場

●GPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
●米国国防総省による故意の衛星精度の低下により、測位誤差が大きくなることがあります。
●受信できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

3Dセンサーによる上下道路判定について

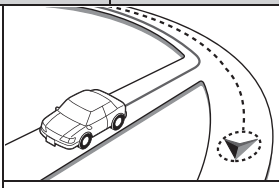
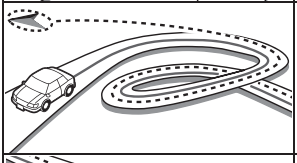
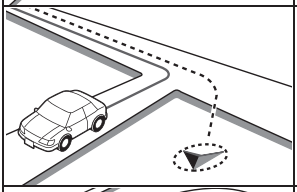
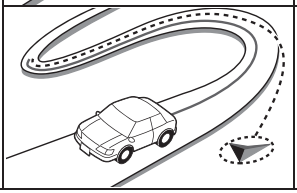
自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

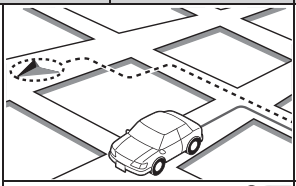
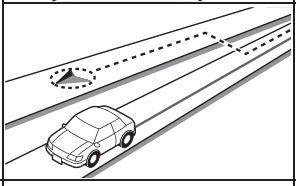
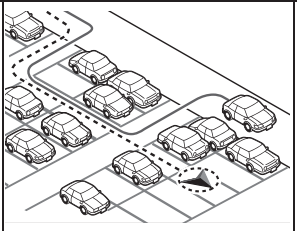
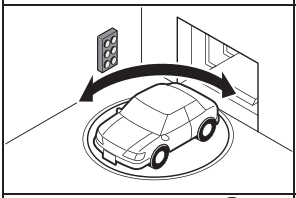
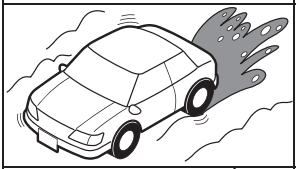
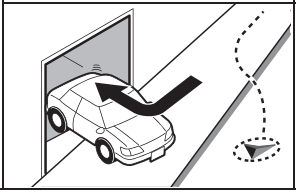
●上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。
●高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

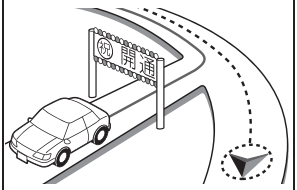
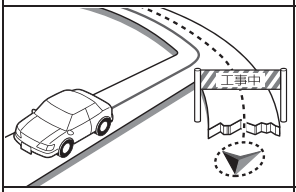
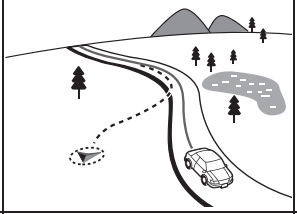
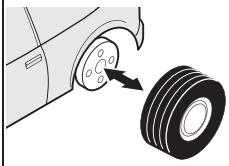
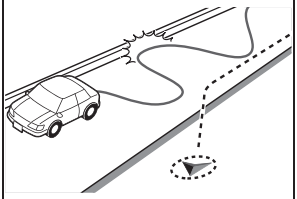
自車位置の精度について

はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったとき、または通常使用中等に、現在地を測位するまで5分～ 15分ぐらいかかることがあります。

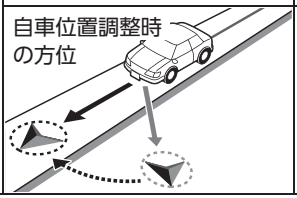
次のような道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際の車の位置と自車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
道路の形状		Y字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自車位置マークが表示されることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「自車位置を修正する」を行ってから、「センサーの学習リセット」を行ってください。 → P.157 これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。 → P.8
		ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
		直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
		つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。	

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
道路の形状		碁盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「自車位置を修正する」を行ってから、「センサーの学習リセット」を行ってください。 → P.157 これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。 → P.8
		高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
場所		駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置から外れていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路上に乗らないことがあります。	
		ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。	
		雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	
		坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路から外れることがあります。	

原因（状況）	——：走行中 - - - -：表示	走行条件	備考（処置など）
地図データ		地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確にはたらかず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路から外れていることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「自車位置を修正する」を行ってから、「センサーの学習リセット」を行ってください。 → P.157 これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。 → P.8
		地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常にはたらかず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	
		詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	
車両		タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	タイヤチェーンを脱着した後やタイヤを交換した後は、「センサーの学習リセット」を行ってください。→ P.157 この操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。→ P.8
走りかた	無停止連続走行	長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	一度停止して、「センサーの学習リセット」を行ってください。 → P.157 この操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。→ P.8
		ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	「自車位置を修正する」を行い、「センサーの学習リセット」を行ってください。→ P.157 これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。 → P.8

自車位置がずれていたら

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
位置修正のしかた	自車位置調整時の精度	位置の設定の精度が悪いと、特に道路が多い場所では、正しい道路を見つけられずに、精度が低下することがあります。	**お願い** **修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。**
	自車位置調整時の方位 	自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。	自車位置調整の方位修正機能で修正してください。

操作の前に

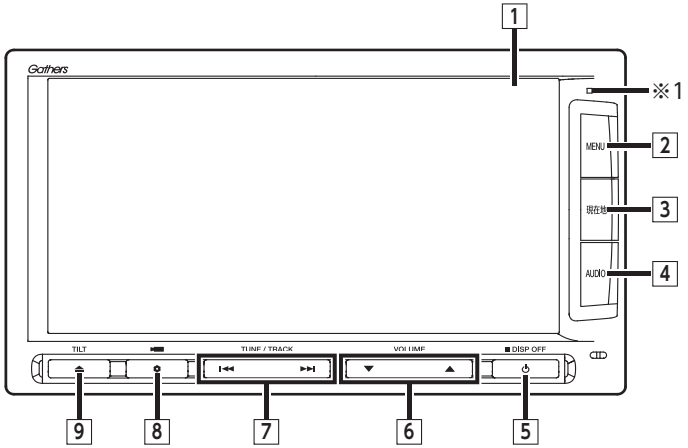
本機をご利用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

各部の名称とはたらき…… 14
操作パネル…… 14
本体…… 16
本機で利用できるメディアについて…… 17
本機で使えるディスク…… 17
再生できるCD …… 17
再生できないCD …… 17
再生できるDVD …… 17
再生できないDVD …… 17
本機で使えるSDカード／ USBメモリー …… 18
SDカード取り扱い上のご注意 …… 18
基本的な使いかた…… 19
電源を入れる…… 19
操作パネルを開閉する…… 19
操作パネルの角度を調整する…… 19
画面を非表示にする…… 20
時計の表示を設定する…… 20
文字パネルを操作する…… 20
文字の種類を切り替える…… 20
文字の入力方式を切り替える…… 21
文字を入力／変換する…… 21
文字を消去する…… 21
文字を挿入する…… 22
予測候補を表示する…… 22
リストを1つ移動する …… 22
リストのページを移動する…… 22
インデックスを使って選ぶ…… 23
リストの選択／解除をする…… 23
リストを並べ替える…… 23
リストの項目を絞り込む…… 24
条件を指定して絞り込む…… 24
近隣県を指定する…… 25
施設情報を確認する…… 25
関連する地図を表示する…… 25
数値を増減する…… 25
自宅を登録する…… 26
登録済みの自宅情報を編集する…… 26

各部の名称とはたらき

操作パネル

本機の操作パネルのボタン名称やはたらきについて説明しています。



※1 セキュリティイルミです。「セキュリティイルミ」をONに設定している場合に点滅します。→ P.158

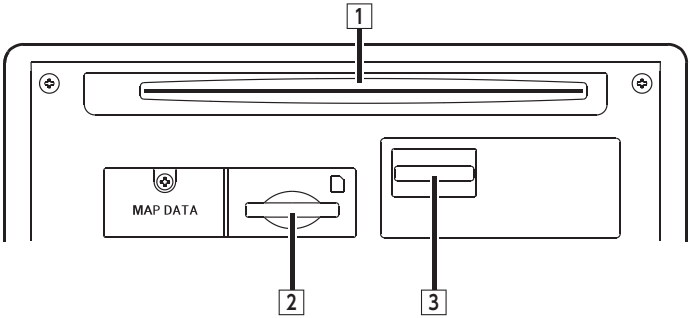
本書では、操作パネルの各ボタンを以下のようなイラストで説明しています。

番号	イラスト	操作の説明	
1	—	タッチ	モニター兼タッチパネルです。画面が表示され、画面をタッチすることでタッチパネルとして機能します。
2	MENU	短押し	メインメニュー画面を表示します。 この画面から各メニューを選択します。
3	現在地	短押し	現在地の地図画面を表示します。→ P.28
		長押し	その時点での走行状態に応じた音声案内を確認できます。

番号	イラスト	操作の説明	
4	AUDIO	短押し	現在選択中のオーディオ画面や、ソース選択画面を表示します。 → P.103 ※別売のVTRコード接続時の画面です。
		長押し	Siri Eyes Free機能を実行します。→ P.99
5	⏻	短押し	オーディオ・ビジュアルのON/OFFを切り替えます。
		長押し	画面を非表示にします。→ P.20 また、画面全体に時計を表示することもできます。
6	▼ ▲	短押し	オーディオ・ビジュアル機能やルート音声案内などの音量を調整します。→ P.103「オーディオの音量を調整する」、 → P.162「ナビゲーションの音量を調整する」
		長押し	音量調整の際、連続して音量を変えます。
7	⏮ ⏭	短押し	オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択します。
		長押し	オーディオ・ビジュアル機能で、早戻し、早送りができます。 またラジオ、テレビを選択中は連続して周波数を切り替えたり、自動で放送局を選択できます。
8	✿	短押し	ボタンに割り付けたお好みの機能を実行します。→ P.165 別売のフロント／コーナーカメラ接続時は、カメラの表示を呼び出します。→ P.177
		長押し	ボタンに機能を割り付ける際の選択画面を表示します。→ P.165
9	⏏	短押し	操作パネルの開閉や角度調整を行う画面を表示します。→ P.19 同じ画面からディスクも取り出せます。→ P.102
		長押し	本機に挿入されているディスクを排出します。

本体

本体のボタンやメディア挿入口について説明しています。本機の操作パネルを開くと確認できます。



番号	名称	機能の説明
1	ディスク挿入口	DVDビデオ、DVD-VR、CD、MP3・WMA・AACディスクを挿入する場所です。→ P.102
2	SDカード挿入口	SDカードを挿入する場所です。→ P.103
3	mini B-CASカード挿入口	mini B-CASカードを挿入する場所です。→ P.110

⚠ 警告

• ディスクをイジェクトした状態のまま走行しないでください。
操作パネルが閉まる際に、ディスクがはさまれ本機やディスクが破損したり、振動によりディスクが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

❗ お願い

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
- 操作パネルの開閉中や、角度を調整した状態では、SDカードやディスクを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

本機で利用できるメディアについて

本機で使えるディスク

お願い

- 下記のディスクは、傷が付いたり、取り出せなくなるおそれがあるので使用しないでください。
  - 8cmCD
  - 異形のディスク
  - デュアルディスク（Dual Disc）
  - ラベルを貼り付けたディスク
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋を付けないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクは次のような場所には保管しないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 暖房の熱が直接当たる場所

再生できるCD

●音楽CD
●CD-TEXTディスク
●CD-Extraディスク（ただし音楽CDとして）
●Super Audio CD（ハイブリッドディスクのCD層のみ）
●パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
●音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
●コピーガード付きCD※3

※1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
※2 正常に再生できない場合があります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
※3 再生できない場合があります。

再生できないCD

●MIX MODE CD
●CD-DA以外のディスク（オーバーバーンCDなど）
●DTS CD
●ビデオCD
●ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク

再生できるDVD

●DVD VIDEO の付いているディスク
●リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
●DVD-VR

本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存されたDVD-VRを再生できます。
DVD-VRを再生するには、あらかじめお持ちのレコーダーでファイナライズしてください。

再生できないDVD

●リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
●パケットライト方式で記録されたディスク
●ご家庭でハイビジョン録画したディスク
●DVD-RAM

以下のディスクは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

- ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW

本機で使えるSDカード／USBメモリー

●記録メディア
SDカード、SDHCカード（32GB以下）、miniSDカード※、microSDカード※、USBメモリー

※専用のアダプタが必要です。直接入れた場合、取り出せなくなったり、故障の原因となりますので、必ず専用アダプタをご使用ください。

●記録フォーマット
FAT16、FAT32

●拡張子が以下のファイル
.MP3/.WMA/.M4A/.MP4/.WMV
該当するファイル以外には、これらの拡張子を付けないでください。雑音や故障の原因となります。

●ファイルサイズが2GB未満のファイル

※ただし、1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。

※AACファイルは約800MBまでのファイルを再生できます。これを超えるサイズのファイルは再生できない場合があります。

詳しくは以下をご覧ください。

●本機で再生可能な音声ファイルについて
→ P.206
●本機で再生可能な動画ファイルについて
→ P.210

お知らせ

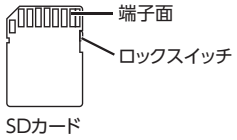
- SDカードと互換のない記録メディアには対応していません。
- SDXCメモリーカードには対応していません。
- miniSDアダプタ、microSDアダプタを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

MEMO

- SDカードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。

SDカード取り扱い上のご注意

●SDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SDカードを拭かないでください。
●書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SDカードを本機から抜いたり、車両の電源をOFFにしたりしないでください。
●SDカードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
●SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
●SDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。
●SDカードの最適化は行わないでください。
●操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
●SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
●SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



基本的な使いかた

MEMO
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

電源を入れる

1 車両の電源を「ACC」、または「ON」にする

本機に電源が入ります。
オープニング画面が表示された後、現在地地図画面、またはオーディオソース画面が表示されます。

お知らせ
- 本機では、バッテリーまたは本機を一度車から取り外した場合に、セキュリティコードを入力しないと起動できないようになっています。セキュリティコードは同梱のセキュリティカードに記載されていますので、本機起動時にセキュリティコードを入力して、セキュリティロックを解除してください。
セキュリティカードは、紛失しないよう大切に保管してください。万一セキュリティカードを紛失された場合は、お買い上げのHonda販売店までお問い合わせください。

MEMO
- 車両の電源をOFFにすると、本機の電源が切れます。

操作パネルを開閉する

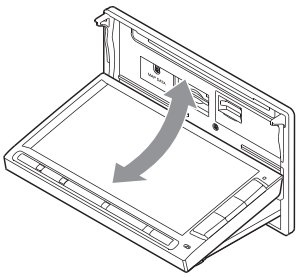
⚠ 警告

• ディスクやSDカードをイジェクトした状態のまま走行しないでください。
振動によりディスクやSDカードが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

MEMO
- カメラの映像を表示している場合は、操作パネルを開けません。

1 ⏏
操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

2 パネル開／閉
操作パネルが開きます。



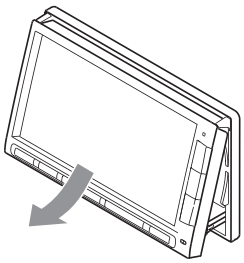
操作パネルを閉じるには、もう一度 ⏏ を押すか、パネル開／閉 をタッチします。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルを見やすい角度に調整できます。調整できる角度は0 ～ 30度（約5度刻みの6段階）の範囲です。

1 ⏏ ▶ **角度の段階を選択**

▼



操作パネルが選択した角度に開きます。

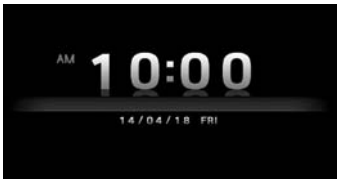
MEMO
- 「パネルをオープンしてください」と表示された場合、パネル開／閉 をタッチして操作パネルを開きます。
- 大きな角度から小さな角度に変更する場合、一度パネルが完全に閉じてから選択した角度に変更されます。

画面を非表示にする

1 [⏻] を長押し

2 画面表示オフ

時計画面表示：
画面全体に時計を表示する。



— MEMO —

- 再度画面を表示させるには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 画面をタッチする
  - MENU、現在地、[⚙]、AUDIO、[⏏]のいずれかを押す
- 画面非表示、または時計表示の状態で車両の電源をOFFにしても、次に「ACC」、または「ON」にすると現在地地図画面、またはオーディオソース画面が表示されます。

時計の表示を設定する

画面に表示される時計は、GPSを受信すると自動で表示されます。

1 MENU

2 設定 ▶ その他設定 ▶ 時計

3 各キーで時計表示を設定

時計表示（地図・メニュー）：
各画面で時計を常に表示させるかどうかを設定する。

時計表示（オーディオ映像画面）：
テレビ／DVD／VTR／iPodビデオなどの映像画面で時計を表示させるかどうかを設定する。

24時間表示：
時刻の表示形式を24時間表示／12時間表示で切り替える。

オフセット調整：
1分単位で時刻を調整する。
調整できる範囲は、−59分〜＋59分です。

文字パネルを操作する

— お知らせ —

- 登録地点の名称変更など、編集時のみの機能です。

文字の種類を切り替える

文字を入力する前に、文字の種類を切り替えます。

1 入力したい文字の種類を選択

文字の種類は以下の順で切り替わります。
ひらがな→カタカナ（全角／半角）→英数（大文字／小文字／全角／半角）→記号（全角／半角）→ひらがな

文字の入力方式を切り替える

文字の入力方式を携帯電話での入力と同じ方式に切り替えられます。

1 **[⌨] をタッチ**

文字の入力方式が切り替わります。

文字を入力／変換する

お知らせ

- 画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

1 **画面上の文字を1文字ずつ選択**

小文字：
ひらがな、カタカナキーのとき、文字入力後にタッチすると小さい文字を入力できる。
例：「っ」、「ょ」、「ィ」など

2 **変換**

変換候補が表示されます。

確定：
変換しないで入力を確定させる。

お知らせ

- 施設名称検索などは、文字の変換は必要ありません。

3 **変換対象を選択**

◀、▶：
変換する文字列の範囲を変更する。

前へ、次へ：
変換候補が多い場合、変換対象リストを切り替える。

文字を消去する

1 **◀、▶ で、消したい文字にカーソルを移動**

2 **修正**

文字が1字消えます。

カーソルが文字の右端にあるときに 修正 を長押しすると、文字がすべて消えます。
カーソルが文字の間にあるときに 修正 を長押しすると、カーソル位置から右側の文字がすべて消えます。

文字を挿入する

1 ◀、▶ で挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動

2 挿入する文字を入力

予測候補を表示する

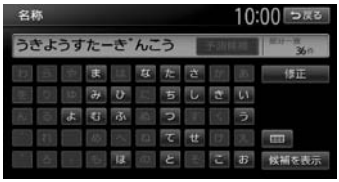
入力した文字に該当する予測候補をリスト表示します。予測候補から文字を選ぶことで、入力をすばやく行えます。
表示される候補の例：
- すでに入力した語句
- 県名・ブランド名などよく入力される語句
- 有名施設名

お知らせ
- 予測候補機能は、目的地検索メニューでのみ使用できます。

1 文字を入力 ▶ 予測候補

2 目的の項目を選択

タッチした候補が文字入力欄に表示されます。



リストを1つ移動する

1 ▲ または ▼ をタッチ

リストのページを移動する

リストの項目が多い場合、複数のページに表示されます。

1 リストを上下にフリック、または ▲▲、▼▼ をタッチ

画面をタッチしたままで、上下にすばやくスライドしながら指を離すと、前ページ、次ページに切り替わります。これをフリック操作といいます。画面上をタッチしたまま、指を離さないでゆっくりスライドしても、画面を切り替えられます。

連続してページを移動させるには、上下方向にフリックし続けるか、 または を長押しします。リストの最後まで移動するとリストの先頭に戻ります。

インデックスを使って選ぶ

画面左部には、ひらがなのキーが表示されています。タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「と」ではじまる項目を選択する方法を説明します。

1 **た をタッチ**

「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」ではじまる項目が表示されます。

2 **リストから該当する項目を選択**

MEMO

- インデックスがすべて表示されていない場合は、上下方向にフリック、または 、 をタッチしてページを送ってください。

リストの選択／解除をする

ON/OFFのキーは、タッチするたびに、選択と解除が切り替わります。「ON」の状態が選択中を表します。

すべて選択／解除：
すべての項目の選択／解除を切り替える。

リストを並べ替える

リストの項目数が多い場合、リストの項目を並べ替えて、選びやすくできます。

1 **並べ替える**

2 **並べ替える方法を選択**

リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

お知らせ

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

読み順：
50音順にリストを並べ替える。

近い順：
自車位置から目的地までの距離が近い順にリストを並べ替える。

登録順：
地点登録順にリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

新着順：
メディアに紹介された年月日の新しい順にリストを並べ替える。（TVサーチ情報検索のみ）

アイコン順：
登録地点に設定されたアイコンごとにリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

グループ指定：
指定したグループを先頭にしてリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

路線順：
各路線の上り／下り方向の順にリストを並べ替える。（ハイウェイ検索のみ）

リストの項目を絞り込む

— MEMO
- 複数の絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。
  例：地域とジャンルで絞り込んだ結果、地域に「東京都」がなければ、ジャンルに「東京都」は表示されません。

条件を指定して絞り込む

リストの項目数が多い場合、地域や施設ジャンルなどの条件を指定して項目を絞り込めます。

1 検索結果リスト画面で 候補を絞る

絞り込み指定の画面が表示されます。

2 絞り込む方法を選択

— お知らせ
- 機能によって、表示されるキーが異なります。

地域を指定する：
都道府県や市区町村名から項目を指定する。都道府県は5つまで選択できます。（TVサーチの場合は、都道府県をすべて選択できます。）市区町村名が不明の場合は、都道府県を選択した時点で 指定を完了 をタッチします。すると、都道府県で項目を絞り込めます。

ジャンルを指定する：
施設のジャンルから項目を指定する。
選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。

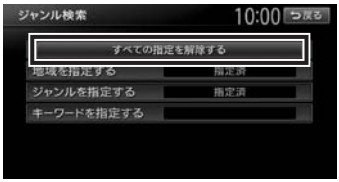
キーワードを指定する：
施設名に含まれる文字から項目を指定する。
1文字でも絞り込めます。

3 指定を完了 または 候補を表示

項目が絞り込まれて表示されます。再度 候補を絞る をタッチして、項目を絞り込むこともできます。

指定を解除：
絞り込みを解除する。
キーワード指定による絞り込みを解除するには、文字入力画面で 修正 を長押しして、文字を消してください。
すべての絞り込みを解除するには、以下の方法があります。

・絞り込み指定の画面で
すべての指定を解除する



・検索結果リスト画面で 戻る

近隣県を指定する

住所から目的地を探すときに、自車位置周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 近隣県

MAP：
選択した県の中心となる場所を地図に表示する。

2 絞り込みたい県を選択

施設情報を確認する

「ガソリンスタンド」などのジャンルから目的地を検索した場合、施設名の横に施設情報アイコンが表示されます。このアイコンから施設のサービスや設備を確認できます。

施設情報アイコン

MEMO

- 施設情報アイコンには以下の種類があります。24（24時間営業）／ P（駐車場）／ （トイレ）／ セルフ（セルフ給油方式）／ 洗車（洗車場）／ （整備場）／ （ドライブスルー）／ （お酒）／ （タバコ）／ 不明（不明）
- 施設情報アイコンは、ジャンル内の詳細ブランド名を選択した場合のみ表示されます。データの整備状態によっては、表示されないブランド項目もあります。

関連する地図を表示する

候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。 MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。
都道府県リストで MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所の検索結果画面が表示されます。

▼

数値を増減する

リストの項目に ＋ 、 － が表示されている場合は、数値や音量などを増減できます。

自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくと、お出かけ先から自宅へのルートを設定できます。
本機を購入されたら、まず自宅の登録を行うことをおすすめします。
住所から自宅を登録するには、以下のように操作します。

1 MENU
2 目的地 ▶ 自宅
3 はい ▶ 住所
4 **都道府県を選択**
5 **市区町村を選択**
6 **地域を選択**
7 **番地、号を選択**

番地を入力：
番地、号を入力する。

お知らせ
- 号がない住所の場合は、番地をタッチしてください。

8 **必要に応じて、地図をスクロールして位置を修正** ▶ 決定

9 終了

登録済みの自宅情報を編集する

1 MENU
2 設定 ▶ ナビゲーション
3 登録データの編集・消去 ▶ 自宅

自宅（未登録）：
自宅が未登録の場合に、自宅検索画面を表示する。

4 編集

位置を修正：
地図をスクロールして自宅の位置を修正する。

消去：
登録済みの自宅情報を消去する。

終了：
手順3に戻る。

5 **編集する項目を選択**

地図上表示：
「ON」に設定すると、地図上の自宅位置に自宅アイコンを表示する。

アイコン：
自宅に割り付けるアイコンを設定する。

アラーム音：
自宅に接近したときに鳴らすアラーム音を設定する。

アラーム方向：
自宅に接近したときに、アラーム音を鳴らすための方向を設定する。
方向を設定すると、設定した方向以外の向きで自宅に接近してもアラームは鳴りません。

アラーム距離：
自宅に接近したときにアラームを鳴らすための距離を設定する。

電話番号：
電話番号を編集する。

地図画面の見かた

地図画面の表示内容や操作方法について説明しています。

現在地の地図画面…… 28
AVコントロールバーを表示する …… 29
マルチインフォメーションキーの使いかた…… 29
現在地メニューを表示する…… 30
地図を拡大／縮小する…… 30
地図の向きを変える…… 31
地図をスクロールする…… 31
平面地図のスクロール…… 32
立体地図のスクロール…… 33
地図の表示方法を変える…… 33
地図を1画面で表示する …… 34
画面を左右に分割して地図を表示する…… 34
地図を立体的に表示する…… 34
立体地図の角度を調整する…… 35
ルート情報モードで表示する（一般道路）…… 35
ルート情報モードで表示する（高速道路）…… 35
SA/PA図 …… 36
ピクチャービューモードで表示する…… 36
画面を分割してAVイメージを表示する …… 37
一方通行を表示する…… 37
地図画面の設定をする…… 38

現在地の地図画面

1 現在地

現在地の地図画面が表示されます。

1 **自車位置マーク**
現在いる場所の位置を示しています。
マークの種類は変更できます。→ P.38

以下のキーは、タッチして操作できます。

2 FM1 **AVコントロールバー表示キー**
AV（オーディオ・ビジュアル）コントロールバーが表示されます。→ P.29

3 Navi Con **NaviConキー**
NaviConアプリケーションを利用する際にタッチします。→ P.54

4 **マルチインフォメーションキー**
自車位置周辺の情報が表示されます。キーの下段にお好みの追加情報を表示させることもできます。→ P.29
表示例

港区南青山	
CH1	531 kHz

5 詳細 ／ 広域 **詳細／広域キー**
地図の縮尺を拡大／縮小できます。
→ P.30

6 N 100 m ／ 100 m **方位マーク**
現在の地図の向きです。タッチするたびに地図の向きが切り替わります。→ P.31
キーの右側には、現在表示している地図の縮尺が表示されます。

7 表示変更 **表示変更キー**
地図表示変更メニューが表示されます。
→ P.33
このメニューでは、以下の設定が行えます。
- 地図画面の分割表示
- 地図表示モードの変更
- 地図画面上に表示する情報やアイコンの設定

8 現在地メニュー **現在地メニューキー**
現在地メニューが表示されます。→ P.30
このメニューでは、自車位置を登録リストに登録したり、自車位置周辺の検索などが行えます。

9 inter navi **internaviキー**
インターナビトップ画面が表示されます。
インターナビについて詳しくは、「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。

※1 受信済みのVICS情報の提供時間が表示されます。
※2 別売のETCユニット接続時に表示されます。
※3 Bluetooth対応携帯電話が接続状態のときに表示されます。

AVコントロールバーを表示する

オーディオ・ビジュアル機能をすばやく呼び出せるAVコントロールバーを表示できます。表示内容は、使用中のオーディオ・ビジュアルの種類によって異なります。

1 AVコントロールバー表示キー

使用中のオーディオ・ビジュアルのコントロールバーが表示されます。

MEMO

- 非表示に戻したいときは、再度AVコントロールバー表示キーをタッチします。
- 10秒間コントロールバーの項目をタッチしないと、自動的に非表示になるように設定できます。→ P.157

マルチインフォメーションキーの使いかた

マルチインフォメーションキーの下段にお好みの機能を割り付け、情報を追加表示できます。マルチインフォメーションキーの表示／非表示は切り替えられます。→ P.156「その他のナビゲーション設定をする」

お願い

- マルチメーターの速度表示は、あくまでも目安です。車両速度は、お車の実際のメーター表示で判断してください。

1 マルチインフォメーションキー

2 機能を選択

オーディオ情報：
再生中のトラック名、受信中の放送局名などの情報を表示する。
表示される情報は、ソースによって異なります。

マルチメーター情報：
以下の情報を表示する。
Spd：走行速度
Avg：平均速度
Max：最高速度
Odo：走行距離
目的地を設定したり、ルート案内を取りやめると、表示された情報はリセットされます。

GPS&自車方位情報：
GPS測位状態、GPS捕捉数、自車進行方向などの情報を表示する。
GPS測位状態には、以下の種類があります。
3次元測位：
4つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を3次元で測位しています。
2次元測位：
3つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を2次元で測位しています。
非測位：
有効なGPS衛星からの電波を受信できず、測位できない状態です。

追加表示しない：
機能を追加しない。
自車位置周辺情報のみが表示されます。

情報を追加した場合

現在地メニューを表示する

現在地メニューでは、自車位置を登録リストに登録したり、自車位置周辺の検索などを行えます。

1 現在地メニュー

2 目的の項目を選択

周辺施設を検索：
自車位置周辺の施設を検索する。
→ P.45

検索アイコンの消去：
地図上の検索アイコンを消去する。
→ P.48

ここを登録：
自車位置を登録リストに登録する。
→ P.58

カメラ地点登録：
自車位置をフロント／コーナーカメラ自動表示の動作地点として登録する。
フロント／コーナーカメラが接続されているときに表示されます。→ P.176

周辺駐車場：
自車位置周辺の駐車場を検索する。
→ P.46

地図を拡大／縮小する

1画面地図表示および2画面地図表示の地図を拡大、または縮小して表示します。

本機で表示される地図の尺度は以下のとおりです。

市街地図エリアの地図尺度（14段階（2D）／13段階（3D））
市街地図：
10m（2Dのみ）、25m、50m
通常地図：
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

市街地図がないエリアの地図尺度（11段階）
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

お知らせ
- 道路整備や拡張により、実際の道路状況と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示されない場合があります。

1 地図画面の 詳細 または 広域

地図が拡大／縮小されます。
詳細 または 広域 を長押しすると、地図の大きさを細かく拡大／縮小できます。ただし、市街地図50mスケールと通常地図256km表示では、細かい調整表示はできません。
2画面地図表示の右地図を拡大または縮小するときは、右地図をタッチしてから右地図側に表示されるキーを操作してください。

通常地図50m画面

市街地図50m画面

画面下に表示されるスケールコントロールバーの尺度をタッチしても、同様に地図が拡大／縮小されます。50m、100m、200m、500m、1km、2kmからスケールを選択できます。3秒間操作がない場合、スケールコントロールバーは非表示になります。

スケールコントロールバー

— MEMO
- 市街地図の表示中、市街地図のエリア外に近づくと「市街地図データがありません」と表示されます。その際は、広域 をタッチしてください。自車位置が市街地図の収録エリア外に出た場合は、50mスケールの通常地図に自動的に切り替わります。

地図の向きを変える

地図の向きを、進行方向上向き、または北方向上向きから選択できます。

1 地図画面の 100m または 100m をタッチ

タッチするごとに地図の表示方向が、進行方向上向き、北方向上向きの表示に切り替わります。

進行方向上向き

北方向上向き

— お知らせ
- 立体地図では、地図の向きを変えられません。

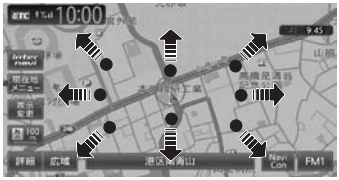
地図をスクロールする

— お知らせ
- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。
- 画面を左右に分割表示しているときの右画面は、スクロールできません。

— MEMO
- 地図画面を長くタッチし続けると、タッチした方向に地図がスクロールし続けます。
- 決定 をタッチすると、スクロール先メニューが表示され目的地や登録地点に設定できます。スクロール先が登録地、目的地、経由地の場合は、スクロール先メニューから地点を消去することができます。
  別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合、カメラ地点として登録できます。→ P.177
- スクロール中は画面にマップコード、緯度・経度が表示されます。
- 画面上には、スクロール先の地点名称、自車位置からの距離が表示されます。
- 詳細 広域 をタッチし、地図のスケールを変えながらスクロールすると、遠い場所に移動しやすくなります。
- 現在地地図画面に戻るには、現在地 を押すか、戻る をタッチします。

平面地図のスクロール

1 見たい方向の画面の端をタッチ



地図上を移動できます。

2 位置を微調整する場合は、微調整

見たい方向の矢印をタッチすると、スクロール位置を微調整できます。

解除：
通常のスクロール地図画面に戻る。

— お知らせ
- 走行中は、平面地図の微調整はできません。
- 平面地図の場合、市街地図から通常地図へのスクロールはできません。広域をタッチして通常地図にしてからスクロールさせてください。
- スクロール先が登録地点、目的地、経由地の場合は、スクロール先メニューから地点を消去できます。

— MEMO
- 平面地図画面を短くタッチした場合は、その場所が中心となるようにスクロールします。

■ フリック操作・ドラッグ操作でスクロールする

フリック操作、またはドラッグ操作でも地図をスクロールできます。

1 画面上をタッチしたまま、すばやくスライドしながら指を離す（フリック操作）

▼

画面上をタッチしたまま、指を離さないでゆっくりスライドする（ドラッグ操作）

— お知らせ
- 走行中は、フリック操作・ドラッグ操作はできません。

立体地図のスクロール

お知らせ

- 立体地図の場合、フリック操作、ドラッグ操作はできません。

1 地図画面をタッチ

2 見たい方向の矢印をタッチ

3 、 で向きを調整

地図の表示方法を変える

地図をいろいろな表示方法に設定できます。また、地図表示に関する設定を変更できます。

1 地図画面の 表示変更

2 設定したい表示方法を選択

地図モードを選択します。

MEMO

- 現在地 を押すごとに、現在地地図画面と選択した地図モードの画面を切り替えられます。

1画面：
地図を1画面で表示する。→ P.34

2画面：
地図を分割し、2画面で表示する。→ P.34

ルート情報：
ルート情報モードに切り替える。→ P.35

ピクチャービュー：
ピクチャービューモードに切り替える。
→ P.36

AV2画面：
画面を分割し、左画面に地図、右画面にオーディオ画面やソースイメージを表示する。
→ P.37

3D：
地図を立体的に表示する。→ P.34
※地図描画のため、自車位置表示が遅れる場合があります。

／ ：
地図の向きを切り替える。→ P.31
立体地図を表示している場合は、平面地図に切り替わります。

上がる／下がる：
立体地図の角度を調整する。
地図表示を「3D」に設定しているときに表示されます。→ P.35

ハイウェイモード：
ルート情報モードの自動表示の設定を切り替える。
自動表示をONに設定している場合は、高速道路・有料道路走行中、自動的にルート情報モードに切り替わります。→ P.35

一方通行：
一方通行情報の表示/非表示を切り替える。
→ P.37

施設アイコン：
地図上に表示する施設アイコンを選択する。

VICS表示：
地図上に表示するVICS情報を選択する。

その他：
地図表示に関するいろいろな設定を行う。
→ P.38「地図画面の設定をする」

地図を1画面で表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 1画面 ▶ 戻る
地図が1画面で表示されます。

画面を左右に分割して地図を表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 2画面 ▶ 戻る
地図が2画面で表示されます。

MEMO
- 右画面を拡大、または縮小するときは、右画面をタッチしてから操作します。その後、右画面の ↩ をタッチすると、もとの2画面表示に戻ります。
- 2画面の場合は、以下のように表示されます。
  - 地図のスケールと向きは左右別々に設定できます。→ P.30「地図を拡大／縮小する」、→ P.31「地図の向きを変える」
    ただし、右地図ではスケールの細かい調整はできません。
  - 交差点拡大図などは右地図に、VICS情報などは左地図に割り込み表示されます。
  - スクロール操作は左地図で行います。

  2画面表示から1画面に切り替えた場合、左地図の表示設定が1画面に反映されます。

地図を立体的に表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 3D ▶ 戻る
地図が立体的に表示されます。

MEMO
- 2画面表示の場合、立体地図を表示できるのは、左地図か右地図のどちらか一方です。このとき1画面に切り替えると、左地図の表示設定が1画面に反映されます。
- 立体地図では、視点の角度を調整できます。→ P.35
- 平面地図に戻すには、地図表示変更メニューの N または 🧭 をタッチします。

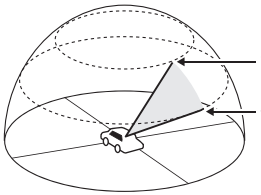
立体地図の角度を調整する

1 地図画面の 表示変更

2 上がる または 下がる

上がる をタッチして視点を高くした場合

下がる をタッチして視点を低くした場合



ルート情報モードで表示する（一般道路）

一般道路走行中に1 ～ 3つ先の交差点情報や目的地、経由地情報を表示できます。

準 備

●目的地を設定します。→ P.39

1 地図画面の 表示変更

2 ルート情報 ▶ 戻る

ルート情報リストが表示されます。

MEMO

- 都市高速道路の入口約300m手前では、都市高速道路入口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 左地図のスケールや向きを変えたり、平面や立体で表示できます。
  → P.30「地図を拡大／縮小する」、
  → P.31「地図の向きを変える」、
  → P.34「地図を立体的に表示する」
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  ルート情報モード→現在地地図→拡大図→ルート情報モード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

ルート情報モードで表示する（高速道路）

高速道路および一部の有料道路を走行中に、以下の情報を表示できます。

●インターチェンジ／ジャンクション／サービスエリア（SA）／パーキングエリア（PA）／ランプ／目的地までの合計料金など

MEMO

- 以下の条件を満たしている場合は、自動的にルート情報モードに切り替わります。
  - 地図表示変更メニューの「ハイウェイモード」が「ON」に設定されている。→ P.34
  - 高速道路、都市高速道路、一部の有料道路を走行している。

準 備

●目的地を設定します。→ P.39

1 地図画面の 表示変更

2 ルート情報 ▶ 戻る

ルート情報リストが表示されます。

お知らせ
- すべてのVICS規制アイコンが表示されるわけではありません。必ず現地の交通規制にしたがって走行してください。
- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、料金表示、音声での料金案内は行いません。
- オートリルートすると、ルート情報モードが一時的に解除される場合があります。→ P.154

MEMO
- 渋滞状況が色で表示されます。(赤：渋滞、オレンジ：混雑、水色：順調)
- 渋滞状況が灰色で表示されるのは、以下の場合です。
  - VICS渋滞情報が配信されていない
  - 本機の地図データが更新されていないため配信情報が処理できない
- SA/PAをタッチするとSA/PA情報が表示されます。
- 目的地を設定していない状態でインターチェンジをタッチすると、目的地や経由地に設定できます。同様にジャンクションをタッチすると、分岐道路名称などの情報が表示されます。
- 料金所には、料金が表示されます。料金所はタッチできません。
- 料金所では、料金所のゲート情報をデフォルメして表示します。時間帯、規制等により実際の状況と一致しない場合がありますので、必ず現地の指示にしたがって走行してください。
- 左地図のスケールや向きを変えたり、平面や立体で表示できます。
  → P.30「地図を拡大／縮小する」、
  → P.31「地図の向きを変える」、
  → P.34「地図を立体的に表示する」
- 一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC割引や期間限定の料金体系などの変則的な料金体系には対応していません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。
- 本機に収録されている高速道路・有料道路料金データは、2013年12月現在のものであり、2014年4月の消費税率変更後の料金には対応しておりません。また、道路の開通時期によっては、料金が表示されなかったり、実際とは異なる料金が表示されることがあります。このような場合には、実際の料金にしたがってお支払いください。
- ハイウェイモードONの場合は、**現在地** を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  → P.34「ハイウェイモード」
  ルート情報モード→現在地地図→拡大図→ルート情報モード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

SA/PA図

SA/PAの施設情報です。ルート情報リストでSA/PAの名前をタッチすると表示されます。

地図を表示：
施設の地図を表示する。

ピクチャービューモードで表示する

自車位置周辺のグルメスポット、観光スポットを写真で表示します。表示中の施設は、目的地や経由地として設定できます。
ピクチャービューモードは、1画面の平面地図で表示されます。

1 **地図画面の** 表示変更
2 ピクチャービュー ▶ 戻る
3 **写真を選択**

« 、» :
写真リストをスクロールする。
|« :
写真リストの先頭に戻る。

ルート沿い：
ルート沿いの施設の写真を優先して表示する。
ルートが設定されていない、またはルートを外れて走行している場合はタッチできません。

：
表示される施設の種類をレジャーに切り替える。

：
表示される施設の種類をグルメに切り替える。

4 目的の項目を選択

ここに行く：
施設へのルート探索を行い、案内を開始する。

ここをルートに追加：
施設を経由地として追加する。（ルート設定時のみ表示）

ここを登録：
施設を登録リストに登録する。

詳細情報を見る：
施設の詳細情報を表示する。

位置を修正：
地図をスクロールして、表示している位置を修正する。

お知らせ
- 走行中、写真はアイコンで表示されます。
- ピクチャービューモードを解除するには、他のモードに変更してください。

MEMO
- 目的地や経由地に設定済みのスポットには、写真の上に または が表示されます。
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  ピクチャービューモード→現在地地図→拡大図→ピクチャービューモード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

画面を分割してAVイメージを表示する

画面を分割し、左画面に地図、右画面に映像ソースの動画または音声ソースのイメージを同時に表示します。

1 地図画面の 表示変更

2 AV2画面 ▶ 戻る

AV2画面モードに切り替わります。

MEMO
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  AV2画面→現在地地図→拡大図→AV2画面
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

一方通行を表示する

⚠ 警告

• 一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が双方通行の場合があります。

1 地図画面の 表示変更

2 一方通行 ▶ 戻る

一方通行情報が矢印で表示されます。

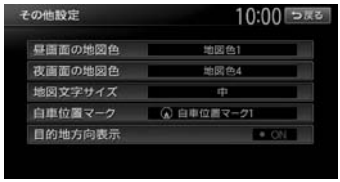
お知らせ
- 一方通行情報は、市街地図および通常地図の50m以下のスケールで表示されます。
- 立体地図では表示されません。
- 一方通行情報はスクロール地図で走行中は表示されません。

地図画面の設定をする

1 **地図画面の** 表示変更

2 その他

3 **設定したい項目を選択**



昼画面／夜画面の地図色：
昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の表示色を選択する。（初期値：昼画面地図色1、夜画面地図色4）

地図文字サイズ：
地図画面に表示する文字の大きさを選択する。（初期値：中）

自車位置マーク：
地図画面に表示する自車位置のマークを選択する。（初期値：自車位置マーク1）

目的地方向表示：
地図画面に目的地の方向を直線で表示するかどうかを選択する。（初期値：OFF）

目的地を探す

本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

ルートガイド開始までの流れ…… 40
目的地検索画面を表示する…… 42
基本的な使いかた…… 42
地図で探す…… 42
地点メニュー画面について…… 42
施設の名称で探す…… 43
住所で探す…… 43
地名で探す…… 43
登録した地点から探す（登録リスト）…… 43
電話番号で探す…… 44
個人宅を検索する場合…… 44
施設のジャンルから探す…… 44
ジャンル名を入力して探す…… 44
自宅に戻る…… 45
設定した目的地を消去する…… 45
自車位置周辺／目的地周辺から探す…… 45
自車位置周辺の施設のジャンルから探す…… 45
よく使うジャンルから探す（お好みアイコンキー）…… 46
よく使うジャンルをお好みアイコンキーに登録する…… 46
自車位置周辺の駐車場を探す…… 46
目的地周辺の施設のジャンルから探す…… 46
目的地周辺の駐車場を探す…… 47
ルート沿いの施設を探す…… 47
検索アイコンを消去する…… 48
Intelligent VOICEを利用する …… 48
スマートフォン側での準備…… 49
Intelligent VOICEで探す …… 49
TVの情報から探す …… 50
TV番組の名前で探す …… 50
ジャンルから探す…… 51
自車位置・目的地周辺から探す…… 51
こんな探しかたもあります…… 51
目的地の履歴から探す…… 51
目的地の履歴を消去する…… 51
地図表示位置周辺から探す…… 52
地図表示位置周辺の駐車場を探す…… 52
マップコードで探す…… 52
SDカード内の登録地点から探す …… 53
緯度・経度で探す…… 53
郵便番号で探す…… 53
登録ルートから探す…… 53
ピクチャービューから探す…… 53
internaviドライブ情報を利用する …… 54
NaviConアプリケーションを利用する …… 54
NaviConで目的地を設定する …… 54
目的地を設定したら…… 55
施設情報を見る…… 55
施設情報画面の表示…… 55

ルートガイド開始までの流れ

① 目的地の検索

いろいろな方法で目的地を探すことができます。

MENU ▶▶ 目的地 をタッチ

お好みの検索方法で目的地を検索します。

- 施設の名称で探す → P.43
- 電話番号で探す → P.44
- 住所で探す → P.43
- 自車位置周辺／目的地周辺から探す → P.45
- 本機に登録した地点から探す → P.43
- 目的地の履歴から探す → P.51
- internaviドライブ情報から探す → P.54
- Intelligent VOICEで探す → P.48
- 自宅に戻る → P.45

- 施設のジャンルから探す → P.44
- TVの情報から探す → P.50
- 本機に登録したルートから探す → P.53
- 緯度・経度で探す → P.53
- 郵便番号で探す → P.53
- マップコードで探す → P.52
- SDカードに保存した登録地点から探す → P.53

② ルートの確

目的地を設定したら…

ルートを確認してから
ガイドを開始したい

他のルートを探してから
ガイドを開始したい

認と編集

③ ルートガイド開始

ルートガイドが開始されます。

すぐにルートガイドを開始したい

案内開始 をタッチ

現在のルートで案内が開始されます。

この画面からこんな操作もできます。

・位置を修正 → P.63　・ここを登録 → P.63
・ルートに追加 → P.63　・周辺駐車場 → P.63

ルートを表示 ▶▶ ルートを確認して **案内開始** をタッチ

この画面からこんな操作もできます。

・ルートの確認・登録 → P.65
・行き先を追加 → P.65
・internaviルート → P.65

ルートを表示 ▶▶ **他のルートを選ぶ** ▶▶ **案内開始** をタッチ

異なる条件で探索された複数のルートが表示されます。
お好みのルートを選択してください。

目的地検索画面を表示する

目的地メニュー画面では、本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探せます。また、現在地メニュー画面からも目的地を探せます。

MENU ▶▶ 目的地 ▶▶

目的地メニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在地 ▶▶ 現在地メニュー ▶▶

現在地メニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

お願い

- 検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。

MEMO

- 目的地メニュー画面は、表示項目を入れ替えられます。→ P.161

基本的な使いかた

地図で探す

1 地図をスクロールさせて目的地を表示
→ P.31

2 決定

3 ここに行く

目的地までのルートが探索され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.64

4 案内開始

地点メニュー画面について

地図をスクロールした先で 決定 をタッチすると、地点メニューが表示されます。
→ P.42「地図で探す」
この地点メニューから、スクロール先の地点を目的地に設定する以外にも、以下の操作を行えます。

ここをルートに追加：
ルート設定時にスクロール先の地点を目的地、または経由地に追加する。→ P.69

周辺施設を検索：
スクロール先周辺の施設を検索する。
→ P.52

情報を見る：
インターナビ交通情報を取得時、スクロール先が安全運転コーチング地点の場合に詳細情報を表示する。
インターナビについて詳しくは、「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。

消去：
スクロール先の地点が、登録地、自宅、目的地、経由地のいずれかである場合、その地点を消去する。

ここを登録：
スクロール先の地点を登録する。

カメラ地点登録：
別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合、スクロール先の地点を、カメラ地点として登録する。
登録した地点に近づくと、自動でカメラ映像に切り替わります。
あらかじめ「登録地点検知」をONにする必要があります。→ P.177

施設の名称で探す

お知らせ
- 施設の名前の一部からでも目的地を探せますが、省略した名前では探せない施設もあります。できるだけ正式名称で探すことをおすすめします。
- 検索の結果、対象となる施設が膨大な数になった場合、入力した文字列と完全一致した施設のみが表示されます。入力文字を増やすことで、部分一致する施設を探せるようになります。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 名称
2 **施設の名称を入力** ▶ 候補を表示
入力した施設名の候補が5件以下→手順3
3 **施設を選択**
4 案内開始 → P.55

住所で探す

お知らせ
- 住所データの整備状態により、一部探せない住所があります。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 住所
2 **目的地の都道府県を選択**
近隣県：
自車位置周辺の都道府県を指定する。
→ P.25
3 **市区町村を選択**
4 **地域名を選択**
5 **番地、号を選択**
番地を入力：
番地、号を入力する。

お知らせ
- 号がない住所の場合は、番地をタッチすると検索結果画面が表示されます。

6 案内開始 → P.55

地名で探す

都道府県名や市町村名がわからなくても、地名から位置を検索できます。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 住所
2 地名を入力
3 **地名を入力** ▶ 候補を表示
地名の途中までででも検索できます。
4 **目的の地名を選択**
5 **番地、号を選択**
6 案内開始 → P.55

登録した地点から探す（登録リスト）

本機に登録したよく行く場所の一覧から目的地を探せます。

MEMO
- 本機の登録リストには、400件まで地点を登録できます。→ P.58

1 MENU ▶ 目的地
2 登録地点
3 **登録地点を選択**
4 案内開始 → P.55

電話番号で探す

— お知らせ —
- 携帯電話やPHSの電話番号からは目的地・地点を探せません。
- タウンページに掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- データの整備状況により、探せない施設や位置が正確ではない施設があります。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 電話番号

2 電話番号を市外局番から入力（9 ～ 11桁）▶ 決定

— MEMO —
- 複数の施設がリストに表示された場合は、リストから目的の施設を選択してください。

3 案内開始 → P.55

個人宅を検索する場合

入力した電話番号が個人宅の場合、プライバシー保護のため、名字入力画面が表示されます。名字を入力して 決定 をタッチしてください。
名字とデータが一致していれば、検索結果画面が表示されます。一致していない場合は、「名字が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。
個人宅の名字入力において、複数の読みがある名字については、実際と異なる読みかたで登録されている場合があります。

施設のジャンルから探す

「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」などのジャンルを選択して、該当する施設を探します。

お願い
- ハイウェイの施設を検索した場合、検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整してください。

1 MENU ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ ジャンル

3 ジャンルを選択

4 施設のジャンルを選択

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。
ブランド名を指定できます。

— お知らせ —
- 選択したジャンル内に詳細なジャンルがない場合は、施設リスト画面が表示されます。→手順5

5 目的の施設を選択

— MEMO —
- 対象となる施設数が1万件を超えている間は、都道府県や市区町村を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県、市区町村をタッチしてください。

6 案内開始 → P.55

ジャンル名を入力して探す

施設のジャンルに関連した言葉をキーワードとして入力し、施設を探します。

1 MENU ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ ジャンル

3 ジャンル名入力

4 キーワードを入力 ▶ 候補を表示

予測候補：
予測変換候補リストからジャンルや施設を選択する。

— お知らせ —
- キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。

5 目的のジャンルを選択

6 目的の施設を選択

— MEMO —
- 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探すことをおすすめします。
- 対象となる施設数が1万件を超えている間は、都道府県や市区町村を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県、市区町村をタッチしてください。

7 案内開始 → P.55

自宅に戻る

自宅を登録しておくと、自宅をすぐに探し出せます。→ P.26

1 MENU ▶ 目的地

2 自宅

3 案内開始
自宅までのルートが探索され、ルート案内を開始します。

設定した目的地を消去する

— お知らせ —
- 目的地を消去すると、経由地も同時に消去されます。

1 MENU ▶ 目的地

2 目的地を消去 ▶ はい
目的地が消去され、ルート案内が中止されます。

自車位置周辺／目的地周辺から探す

— お知らせ —
- 目的地までのルートが設定されていないと、目的地周辺の検索はできません。

自車位置周辺の施設のジャンルから探す

周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 MENU ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 自車周辺

3 施設のジャンルを選択

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.44

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を自車位置周辺から探す。→ P.46

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 目的の施設を選択

— MEMO —
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 案内開始 → P.55

よく使うジャンルから探す（お好みアイコンキー）

お好みアイコンキーに登録したジャンルから、自車位置周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域にある施設を探せます。（最大100件）

1 MENU ▶ 目的地

2 周辺検索

3 **お好みアイコンキーを選択**

MEMO
- 走行中は操作できる項目が限定されます。

4 **施設を選択**

5 案内開始 → P.55

よく使うジャンルをお好みアイコンキーに登録する

よく使う施設のジャンルを5つまで本機に登録できます。ジャンルを登録しておくと、目的地をジャンルで探すときにすばやく呼び出せます。コンビニやガソリンスタンドなどは、ブランド名まで指定して登録できます。

1 MENU ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ お好み変更

3 **登録したいお好み番号を選択**

お好み消去：
お好みアイコンキーに登録したジャンルを消去する。

MEMO
- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。

4 **ジャンルを選択**

5 **さらにジャンルを選択**

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。ブランド名を指定できます。

MEMO
- 選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。

よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。

自車位置周辺の駐車場を探す

表示先から半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 現在地 ▶ 現在地メニュー

2 周辺駐車場

3 **駐車場を選択**

MEMO
- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 案内開始 → P.55

目的地周辺の施設のジャンルから探す

周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 MENU ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺

3 施設のジャンルを選択

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.44

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を目的地周辺から探す。→ P.46

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 目的の施設を選択

MEMO
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 案内開始 → P.55

目的地周辺の駐車場を探す

目的地の半径800m以内にある駐車場をまとめて探せます。（最大10件）

1 MENU ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺の駐車場

3 駐車場を選択

MEMO
- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 案内開始 → P.55

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。立寄地は目的地までのルート沿いにある施設のことで、経由地とは異なります。
ルート上から80m以内、ルートの距離で30km以内にある施設を探します。（最大100件）

1 MENU ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ ルートサイド

3 ジャンルを選択

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.44

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設をルート沿いで探す。→ P.46

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 目的の施設を選択

MEMO
- ルートサイド検索は自車位置がルート上にあると認識された場合のみ可能です。
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。
- 施設名の左側に、施設がルート上の左右どちら側にあるかを表すアイコンが表示されます。

地図上の立寄地に 立寄地点 というアイコンが表示されます。

お知らせ
- 車両の電源をOFFにしてから再度ONにしたり、ルートを再計算すると、立寄地は消去されます。

検索アイコンを消去する

周辺検索で検索すると、矢印付きのアイコンが表示されます。これを検索アイコンと呼びます。

検索アイコンを消去するには、以下のようにします。

1 現在地 ▶ 現在地メニュー

2 検索アイコンの消去 ▶ はい

Intelligent VOICEを利用する

Intelligent VOICE（インテリジェントボイス）とは、話しかけるだけで行きたい場所を教えてくれる、音声認識技術を活用したサービスです。本機では、スマートフォンのSmart Access 4Carアプリケーションと連携することで、Intelligent VOICEを利用した目的地検索ができます。

当アプリケーションはスマートフォンを経由して検索を行います。

検索結果は、営業時間のほか、口コミからのレビューといった情報も見ることができます。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。**

❗ お願い

- Intelligent VOICE初回起動時から1年間は、無償ですべての機能をご利用いただけます。お買い上げから1年以内にIntelligent VOICEを起動しなかった場合、無償利用の権利は失われますのでご注意ください。
- 通信状況によっては、音声入力までに時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
- はじめてご利用になる場合は、「Smart Access」から必要なデータをダウンロードするため、通信状況に関わらず時間がかかることがあります。
- Intelligent VOICEアプリケーションを利用する場合、スマートフォンの通信料金が発生します。通信料金は、利用されたスマートフォンの契約者のご負担となります。ご利用方法によっては、携帯電話会社からの請求額が高額となる場合があります。事前にご契約の携帯電話会社の料金プランや利用方法をご確認ください。利用頻度により定額データプランなど、最適な料金プランでのご利用をおすすめします。

お知らせ

- リアルタイムで配信される情報コンテンツの提供については、当該権利を有する第三者に帰属します。当該権利を有する第三者の事由によりサービス内容が変更、停止される可能性があります。

スマートフォン側での準備

Intelligent VOICEアプリケーションが利用できるスマートフォンは以下のとおりです。

●対象機種:iPhone 4、iPhone 4s、iPhone 5、iPhone 5s、iPhone 5c、Android搭載機
※上記以外のiPhoneやiPadシリーズには対応しておりません。

●対象OS：iOS 6以降、
Android OS4.0以降
(2014年4月時点)

●対応Bluetoothプロファイル：
SPP(Serial Port Profile)

1．App Store℠やGoogle Play™ ストアから「Smart Access 4Car」アプリケーションを、お手持ちのスマートフォンにインストールする

Smart Access 4Car

App Store　　Google Play ストア

お知らせ

- スマートフォン連携中は、スマートフォン側での操作はできません。
- 本機ではスマートフォンのマルチタッチ機能には対応していません。
- スマートフォン連携中は、スマートフォンをスリープ状態にしないでください。正常に動作しなくなります。
- iPhoneはUSB接続でもご利用になれます。USB接続した場合、Bluetooth接続は必要ありません。

Intelligent VOICEで探す

準備

●付属の外付けマイクの接続が必要です。

1　スマートフォン側でSmart Access 4Carを起動する

2　(スマートフォンがBluetooth未登録の場合)設定メニューの機器登録画面で、車載機と連携させるスマートフォンを選択
→ P.90「Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング)」
機器登録は一度設定するだけでかまいません。
(スマートフォンがBluetooth登録済の場合)スマートフォンをBluetooth接続する
→ P.92「接続するBluetooth対応機器を切り替える」

3　MENU ▶ 目的地 ▶ 🎤

Intelligent VOICEキー

Intelligent VOICEアプリケーションが起動します。

MEMO

- はじめてIntelligent VOICEを利用するときは、「Smart Accessサービスについて」画面が表示されます。内容をご確認のうえ、確認 をタッチしてください。

4　マイクに発話する

履歴：
目的地設定の履歴を表示する。
キャンセル：
音声検索を中止する。
やり直す：
再度発話を実行する。

MEMO
- 音声検索例：
「○○駅周辺の駐車場」、「○○（地名）のおいしい豚骨ラーメン屋」など

検索結果リスト画面が表示されます。

施設の詳細や、目的地・経由地の設定、Intelligent VOICEプレミアムサービスの有効期間などを表示します。

発話した内容や、関連する項目を表示します。

検索モードをローカル検索、履歴から選択します。

音声検索を開始します。

リストを1つ移動します。

Intelligent VOICEアプリケーションの設定を行います。

検索範囲を、目的地周辺、現在地周辺から選択します。

5 **目的の施設を選択**

6 目的地に設定

経由地に設定：
施設を経由地として追加する。（ルート設定時のみ表示）

ルート案内が開始されます。

TVの情報から探す

TV番組で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TVの情報は更新できます。→ P.164

MEMO
- TVで紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組は継続的に施設を紹介している特定のものです。今後は予告なく変更されることがあります。

TV番組の名前で探す

TV番組で紹介された施設を番組名から探せます。

1 MENU ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ TVサーチ ▶ 番組名

3 **目的の番組を選択**

4 **目的の施設を選択**

MEMO
- 画面上部に、紹介された番組と放送日が表示されます。番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。
：食べる・飲む ：遊ぶ・見る
：泊まる ：買う

5 案内開始 → P.55

ジャンルから探す

ジャンルは、「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」、「泊まる」、「買う」の4種類があります。

1 MENU ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ TVサーチ ▶ ジャンル
3 **目的のジャンルを選択**
4 **目的の詳細ジャンルを選択**
5 **目的の施設を選択**
6 案内開始 → P.55

自車位置・目的地周辺から探す

自車位置、または目的地周辺の施設をジャンルで検索できます。周辺100km以内にある施設を探せます。(最大100件)

1 MENU ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ TVサーチ ▶ 周辺検索
3 自車周辺 **または** 目的地周辺
4 **目的のジャンルを選択**

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。
ブランド名を指定できます。

5 **目的の施設を選択**
6 案内開始 → P.55

こんな探しかたもあります

目的地の履歴から探す

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 履歴
2 **目的の地点を選択**
3 案内開始 → P.55

MEMO
- 履歴は最新のものから順に自動で保存されます。(最大100件)
- 目的地は★で表示されます。

目的地の履歴を消去する

1 MENU ▶ 設定
2 ナビゲーション
3 登録データの編集・消去
4 登録の消去
5 目的地履歴の消去
6 **目的の項目を選択**

最近の行き先の全件消去：
すべての目的地履歴を消去する。

最近の行き先の1件消去：
目的地履歴から1件ずつ選択して消去する。

前回出発地の消去：
前回ルート案内した際の出発地点履歴を消去する。

地図表示位置周辺から探す

地図をスクロールして表示した先の周辺にある施設を探します。周辺100km以内にある施設を探せます。(最大100件)

1 **地図をスクロール** ▶ 決定

2 周辺施設を検索

3 **施設のジャンルを選択**

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.44

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を表示先周辺から探す。→ P.46

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

MEMO
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 案内開始 → P.55

MEMO
- 周辺検索で検索すると、矢印付きのアイコンが表示されます。これを検索アイコンと呼びます。検索アイコンは消去できます。→ P.48

地図表示位置周辺の駐車場を探す

地図をスクロールした先の駐車場を目的地として設定できます。表示先から半径800m以内にある駐車場を探します。(最大10件)

1 **地図をスクロール** ▶ 決定

2 周辺駐車場

3 **駐車場を選択**

MEMO
- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 案内開始 → P.55

マップコードで探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから目的地を探します。本機では、標準、高精度どちらのマップコードにも対応しています。

1 MENU ▶ 目的地

2 他の検索方法 ▶ マップコード

3 **マップコードを入力** ▶ 決定

4 案内開始 → P.55

MEMO
- マップコードに関するお問い合わせ先は以下のとおりです。
  Webサイト：
  http://guide2.e-mapcode.com/
  (株式会社デンソーコミュニケーションズ)

SDカード内の登録地点から探す

MEMO
- SDカードに保存できる登録地点の数は、1グループにつき450件、最大10グループ4,500件です。

準備

●SDカードに登録地点を書き出します。→ P.163

1 MENU ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ バックアップ登録地点
3 グループを選択
4 地点を選択
5 案内開始 → P.55

緯度・経度で探す

1 MENU ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ 緯度・経度
3 北緯と東経を入力 ▶ 決定
4 案内開始 → P.55

郵便番号で探す

1 MENU ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ 郵便番号
3 郵便番号を入力 ▶ 決定

MEMO
- 該当するデータが見つからない場合は、メッセージ表示後、郵便番号の入力画面に戻ります。

4 案内開始 → P.55

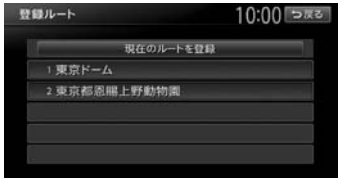
登録ルートから探す

本機に登録してあるルートから、目的地を設定します。

準備

●ルートを登録します。→ P.60

1 MENU ▶ 目的地
2 他の検索方法 ▶ 登録ルート
3 目的の登録ルートを選択



現在のルートを登録：
目的地が設定されている場合に、そのルートを本機のルートリストに登録する。

4 案内開始 → P.55

ピクチャービューから探す

自車付近のグルメスポット、観光スポットを写真で表示して目的地に設定します。→ P.36「ピクチャービューモードで表示する」

1 地図画面の 表示変更
2 ピクチャービュー ▶ 戻る
3 写真を選択

4 ここに行く

目的地までのルートが探索され、案内が開始されます。

internaviドライブ情報を利用する

1 MENU ▶ 目的地

2 internaviドライブ情報

インターナビ情報センターから提供される情報を表示したり、目的地を設定できます。インターナビについて詳しくは、「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。

NaviConアプリケーションを利用する

スマートフォンのNaviConアプリケーションを使用して、地図の操作や、目的地の設定ができます。
NaviConの詳細については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

⚠ 警告

• 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

— お知らせ —

• 本機からNaviConの地図表示を変えることはできません。

準 備

●NaviConアプリケーションをお手持ちのスマートフォンにインストールします。

NaviConで目的地を設定する

NaviConで登録した地点を本機に送信して目的地に設定できます。

1 **スマートフォンを本機にBluetooth接続する→ P.90**

▶ 現在地地図画面の Navi Con **をタッチ**

「NaviConが利用可能です」と画面に表示されることを確認します。

— MEMO —

• 以下の接続方法でもNaviConを利用できます。
  - Dockコネクタ搭載のiPhone
    別売のビデオ対応iPodケーブルを使用して本機に接続
  - Lightning™コネクタ搭載のiPhone
    iPhoneに付属のケーブルを使用して本機に接続
• Bluetooth接続にてNaviConを利用できる状態にある時は、画面に NaviCon が表示されます。

2 **スマートフォンからNaviConを起動する**

3 **NaviConから本機に地点情報を転送する**

転送された地点が本機に表示されます。
転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。

4 **行き先に設定してルート探索する**
→ P.42の手順「 ここに行く **」**

— MEMO —

• NaviCon側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。
  また、NaviCon側で地図を拡大／縮小すると、本機の地図も拡大／縮小されます。その場合、NaviCon側のスケールと本機のスケールは一致しない場合があります。

目的地を設定したら…

目的地を設定すると、以下のような検索結果画面が表示されます。目的地を設定した後は、この画面からルートを設定します。→ P.62

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 案内開始

現在の条件でルート計算がはじまります。ルートに沿って走行すると、ルート案内が開始されます。目的地に到着すると、自動的にルート案内は終了します。
ルート探索結果画面を表示したまま30 秒経過すると、現在の探索条件で自動的にルート案内が開始されます。

— お知らせ —

- 走行中は、表示できる項目が限定されます。
- 地図をスクロールして地点を設定した場合は、表示される画面が異なります。
  → P.42の手順「ここに行く」

— MEMO —

- 画面左上にあらかじめ設定された探索条件が表示されます。ルート案内の条件を変更することもできます。→ P.67

検索結果画面では、以下の操作を行えます。

案内開始：
現在の条件でルートを探索する。

ルートを表示：
現在の条件でルートを探索し、ルートの確認や他のルートの探索をする。→ P.62

位置を修正：
地点の位置を調整する。→ P.63

ルートに追加：
現在のルートに経由地、または目的地として追加する。→ P.63
ルート設定時に表示されます。

ここを登録：
表示している地点を本機の登録リストに登録する。→ P.63

周辺駐車場：
周辺の駐車場情報を表示する。→ P.63

情報：
施設情報を表示する。→ P.63

施設情報を見る

施設情報画面の表示

検索結果画面に 情報 が表示されている施設には、施設情報が登録されています。

情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。

QRコード：
施設情報が含まれたQRコードを表示する。
携帯電話でQRコードを読み取ると、施設の詳細情報が確認できます。

目的地を設定したら…

電話をかける：
情報に電話番号データがある場合、表示中の施設に電話をかける。
Bluetooth対応携帯電話の接続が必要です。

QRコード をタッチすると、QRコードが表示されます。

縮小：
QRコードを縮小表示する。

お知らせ

- 施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。
  必要に応じて、目的地を「位置を修正」で移動して決定してください。→ P.63
  - 目的地としてピンポイントで表示された位置が、案内すべき道路から離れている場合
    「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」
  - 表示されている場所が施設出入口のため、車を駐車するのには適さない場所に誘導される場合（到着地点を示す星マークのほかに、実際の目的地に黄色い旗が表示されます。）
    「施設出入り口の地点を表示します。」
- 複数の出入口を持つ施設、専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に出入口、駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設、または出入口、駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。出入口、駐車場を選択すると到着地点を示す星マークのほかに、実際の目的地に黄色い旗が表示されます。

地点・ルートを登録する

よく行く地点やルートを本機に登録できます。

よく行く地点を登録する…… 58
登録リストに登録する…… 58
登録リストを並べ替える…… 58
地点のデータを編集する…… 58
地点の位置を修正する…… 59
リストから地点を消去する…… 59
よく使うルートを登録する…… 60
現在のルートを登録する…… 60
登録済みのルートを編集する…… 60
リストからルートを消去する…… 60

よく行く地点を登録する

よく行く地点を400件まで登録リストに登録できます。登録した地点は登録リストから呼び出せます。

MEMO
- 本機の登録リストに登録した地点は、1グループにつき450件、最大10グループ4,500件までSDカードに保存できます。

登録リストに登録する

1 **登録したい地点を探す→ P.39**

2 ここを登録

MEMO
- 現在地を登録する場合は、現在地メニュー ▶ ここを登録 をタッチします。
- スクロール先の地点を登録する場合は、地図をスクロール ▶ 決定 ▶ ここを登録 をタッチします。

登録リストを並べ替える

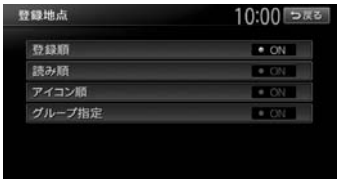
1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地点

3 並べ替える

新規登録：
地点を探して登録する。

4 **並べ替える種類を選択**



登録順：
登録した日付の新しい順に表示する。

読み順：
50音順に表示する。

アイコン順：
登録地点に設定されたアイコンの順に表示する。

グループ指定：
グループ選択画面を表示する。
並べ替えるグループを選択すると、グループ指定順に表示します。

地点のデータを編集する

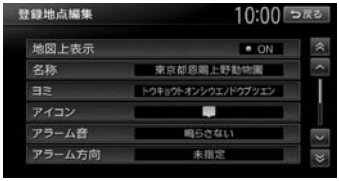
1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地点

3 **登録地点を選択**

4 編集

5 **項目を選択 ▶ 登録地点の内容を編集**



地図上表示：
地図上のアイコン表示（登録地番号など）をON/OFFする。

名称：
名称を設定する。
名称入力後、決定 をタッチしてください。

ヨミ：
読みを設定する。
読みを入力後、決定 をタッチしてください。
アイコン：
登録地点に割り付けるアイコンを設定する。
アラーム音：
車が登録地点に近づいたときに鳴るアラーム音を設定する。
アラーム方向：
車が登録地点に近づいたときにアラームを鳴らすときの進入方向を設定する。
設定した方向から車が近づいたときにアラーム音が鳴ります。方向設定後、決定 をタッチしてください。
アラーム距離：
自車位置とアラームを鳴らす登録地点までの距離を設定する。
車が設定した距離内まで登録地点に近づいたときにアラーム音が鳴ります。
電話番号：
登録地点の電話番号を設定する。
電話番号入力後、決定 をタッチしてください。
グループ：
登録地点を所属させるグループを選択する。
登録番号：
登録番号を表示、または変更する。

地点の位置を修正する

1 MENU ▶ 設定
▶ ナビゲーション
▶ 登録データの編集・消去
2 登録地点
3 **登録地点を選択**
4 位置を修正
5 **地図をスクロールして位置を修正**
微調整：
詳細な位置修正をする。
→ P.32「平面地図のスクロール」
6 決定

リストから地点を消去する

1 MENU ▶ 設定
▶ ナビゲーション
▶ 登録データの編集・消去
2 登録の消去 ▶ 登録地点の消去
3 1件消去
一括消去：
登録地点をすべて消去する。
4 **地点を選択** ▶ はい
選択した地点が登録リストから消去されます。

よく使うルートを登録する

よく使うルートを本機に登録できます。（最大5件）登録したルートは登録ルートから呼び出せます。

MEMO
- 本機能は、探索されたルート自体を登録するものではなく、経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで登録します。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録したときのルートとは異なる場合があります。

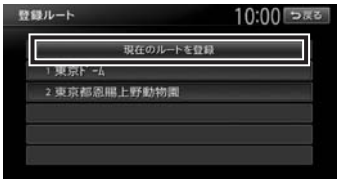
現在のルートを登録する

1 ルートを設定→ P.61

2 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

3 登録ルート

4 現在のルートを登録 ▶ はい



登録済みのルートを編集する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録ルート

3 編集するルートを選択

4 項目を選択 ▶ 登録ルートの内容を編集

名称変更：
登録ルートの名称を設定する。
名称入力後、決定 をタッチします。

現在ルートに入替：
現在設定しているルートを、登録済みのルートに上書きする。

消去：
登録済みのルートを消去する。

終了：
手順2に戻る。

リストからルートを消去する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録ルートの消去

3 1件消去

一括消去：
登録ルートをすべて消去する。

4 登録ルートを選択 ▶ はい

選択したルートが、登録ルートリストから消去されます。

ルートの設定と案内

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内がはじまりますので、ルート案内にしたがって走行してください。

検索した地点を確認・設定する…… 62
現在の条件でルートを探索する…… 62
ルートの確認や設定をする…… 62
検索した地点の位置を修正する…… 63
検索した地点をルート上に追加する…… 63
検索した地点を本機に登録する…… 63
検索した地点周辺の駐車場を探す…… 63
検索した地点の施設情報を表示する…… 63
走行するルートを設定する…… 64
現在の条件でルートを探索する…… 64
異なる条件のルートから選択する…… 64
ルートの確認・登録をする…… 65
行き先を追加する…… 65
internaviルートを選択する …… 65
有料道路の出入口を選択する…… 66
設定済みのルートを再探索する…… 67
設定した条件で再探索する…… 67
探索条件を変更して再探索する…… 67
internaviルートの探索条件を変更する …… 67
迂回ルートを再探索する…… 68
目的地・経由地を編集する…… 68
目的地・経由地設定時のご注意…… 68
経由地を追加する…… 69
目的地・経由地の位置を修正する…… 69
目的地・経由地の順番を並べ替える…… 70
目的地・経由地を消去する…… 70
区間ごとに探索条件を設定する…… 70
有料道路の出入口を変更する…… 71
スマートICとは …… 71
設定したルートを確認する…… 72
ルート上の情報を見る…… 72
ルートをシミュレーション走行する…… 72
現在のルートを登録する…… 72
ルート上の地図をスクロールする…… 73
ルート案内の音量を確認・設定する…… 73
ルート案内時の音声出力を切り替える…… 73
ルート案内を中止する…… 73
ルートを消去する…… 73
ルート案内中の地図画面…… 74
ルート案内中の案内表示…… 75
交差点手前で出る案内表示…… 75
高速道路での案内表示…… 75
ETCレーンガイドでの案内表示 …… 76
細街路での表示…… 77
ルート案内中の音声案内…… 78
運転中の音声案内例…… 78
進行方向の案内について…… 78

検索した地点を確認・設定する

地点検索で地点を探したら、ルートを設定する前に位置を修正したり、地点を登録できます。また、目的地の施設情報などを確認することもできます。
この操作は、検索結果画面から行います。

地点を検索→ P.39 ▶▶

検索結果画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在の条件でルートを探索する

ルート探索の条件は変更できます。
→ P.64、P.67

1 **地点を検索→ P.39 ▶ 案内開始**
そのままの条件でルートが探索されます。

— MEMO —

- 以下の場合、一般道と有料道路(または高速道路)のどちらを現在走行中であるかを確認する画面が表示されます。 有料/高速 または 一般道走行 をタッチしてください。
  この確認画面は、探索条件を指定するものではありません。
  - 有料道路、または高速道路に自車位置がある場合
  - 一般道に自車位置があり、自車位置から約100m以内に有料道路や高速道路がある場合
- 探索したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。
- 緊急施設（病院など）を目的地にした場合、確認画面が表示されます。
  なお、検索方法によっては緊急施設を目的地に設定できないときがあります。
- 検索した地点から最も近い道路が有料道路、または高速道路の場合は、その道路上で案内を終了するかどうか確認する画面が表示されます。
  なお、検索方法によっては、確認画面が表示されない場合があります。

ルートの確認や設定をする

地点を検索してルート案内を開始する前に、ルートの確認をしたり、ほかのルートを探索して選択できます。

1 **地点を検索→ P.39**
▶ ルートを表示

2 **目的の項目を選択**

案内開始：
選択したルートにしたがってルート案内を開始する。→ P.64

他のルートを選ぶ：
異なる条件の5つのルートから、お好みのルートを選択する。→ P.64

ルートの確認・登録：
ルートの各種情報の確認やルートを登録する。→ P.65

行き先を追加：
ルートに行き先を追加する。→ P.65

internaviルート：
インターナビで取得したルートを選択する。→ P.65
インターナビについて詳しくは、「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。

検索した地点の位置を修正する

検索した地点の位置を、地図をスクロールして調整できます。

1 **地点を検索→ P.39 ▶ 位置を修正**

2 **地図をスクロールして位置を修正**
▶ 決定
検索結果画面に戻り、調整した地点を中心とした地図が表示されます。
微調整：
詳細な位置修正をする。
→ P.32「平面地図のスクロール」

検索した地点をルート上に追加する

すでにルートが設定されている場合に、検索した地点をルート上の経由地として追加したり、目的地に再設定できます。

1 **地点を検索→ P.39**
▶ ルートに追加
行き先追加画面が表示されます。

2 **ここに追加**

選択した位置に地点が追加され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.64

検索した地点を本機に登録する

検索した地点を本機の登録リストに登録できます。（最大400件）

— お知らせ
- 地点の検索方法が「登録地点」の場合は、この操作は行えません。

1 **地点を検索→ P.39 ▶ ここを登録**

検索した地点周辺の駐車場を探す

検索結果地点から半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 **地点を検索→ P.39 ▶ 周辺駐車場**

2 **駐車場を選択**

駐車場キーをタッチすると、検索結果画面に戻ります。

検索した地点の施設情報を表示する

— お知らせ
- 検索した施設の種類によって、表示される画面は異なります。
- 施設に情報がない場合、**情報** はタッチできません。

1 **地点を検索→ P.39 ▶ 情報**
施設情報画面が表示されます。→ P.55
SA/PAの場合

SA/PA以外の場合

走行するルートを設定する

目的地を設定したら、走行するルートを決めます。条件の異なるルートを比較したり、経由地を追加することもできます。
この操作はルート探索結果画面から行います。

地点を検索→ P.39 ▶▶
ルートを表示 ▶▶

ルート探索結果画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在の条件でルートを探索する

現在設定されている条件のまま、ルートを探索して案内を開始します。

1 **地点を検索→ P.39**
▶ ルートを表示

2 案内開始
現在の条件でルートが探索されます。

— MEMO —
- ルート探索結果画面を表示したまましばらくすると、現在の条件で自動的にルート案内を開始します。
- 探索したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。

異なる条件のルートから選択する

ルート探索時には、地図上に最大5つのルートが表示されます。
異なる条件で探索された複数のルートから、お好みのルートを選択できます。

— お知らせ —
- 経由地、または高速道路出入口の指定がある場合は、この操作は行えません。
- 探索条件の「internaviルート」を選択している場合は、この操作は行えません。

1 **地点を検索→ P.39**
▶ ルートを表示

2 他のルートを選ぶ
ルート選択画面が表示されます。

3 **お好みのルートを選択**

有料優先：
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

有料優先（別ルート）：
「有料優先」とは異なる有料道路を優先的に使用する。
「有料優先」のルートと同じになる場合もあります。

一般優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般優先（別ルート）：
「一般優先」とは異なる一般道路を優先的に使用する。
「一般優先」のルートと同じになる場合もあります。

距離優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの距離が短くなるルートです。渋滞情報は考慮しませんが、規制情報は考慮します。

4 案内開始

ルートの確認・登録をする

1 **地点を検索→ P.39**
▶ ルートを表示

2 ルートの確認・登録

3 **目的の項目を選択**

ルート情報：
ルート上の情報を表示する。→ P.72

現在のルートを登録：
現在のルートを本機に登録する。
→ P.72

地図スクロール：
地図をスクロールしてルートを確認する。→ P.73

行き先を追加する

追加した地点は、目的地や経由地に設定できます。

— お知らせ —
- 経由地が5つ設定されている場合は追加できません。

1 **地点を検索→ P.39**
▶ ルートを表示

2 行き先を追加

3 **行き先を検索→ P.39**

4 ここに決定する

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.55

ここを登録：
検索した地点を本機に登録する。

5 ここに追加

選択した位置に地点が追加されます。

internaviルートを選択する

インターナビで取得したルートを選択できます。

1 **地点を検索→ P.39**
▶ ルートを表示

2 internaviルート

3 **目的の項目を選択**

スマートルート：
時間、料金、ETC割引をバランス良く考慮したルートを使用する。

最速ルート：
最短時間で目的地に到着できるルートを使用する。

最速無料優先ルート：
一般道、無料の高速道路を優先したルートを使用する。

ETC割引ルート：
ETC割引を積極的に利用し、料金を割安にするルートを使用する。

省燃費ルート：
燃料消費量が最小でCO_2排出量も削減できるルートを使用する。

お知らせ
- 本機能はインターナビへの接続が必要です。インターナビについて詳しくは、「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。
- 選択できるinternaviルートタイプは変更される場合があります。

有料道路の出入口を選択する

使用する有料道路の出入口をリストから選択できます。

1 **地点を検索→ P.39**
▶ ルートを表示

2 **入口施設名称、または出口施設名称を選択**

入口施設名称　出口施設名称

選択した出入口の前後3つまでの出入口と、その間で分岐・合流する有料道が変更対象となります。

お知らせ
- 「有料道入口」、または「有料道出口」と表示されている入口施設名称、出口施設名称はタッチできません。
- internaviルートでの案内中は、この操作は行えません。

3 **変更する出入口の名称を選択**

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。

入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わり、ルートが探索されます。

設定済みのルートを再探索する

ルートメニュー画面では、一度設定したルートを条件を変更するなどして手動で再探索できます。また、渋滞を迂回してルートを探索することもできます。

MENU ▶▶ ルート ▶▶

ルートメニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

— お知らせ

- ルートが未設定の状態では、ルートメニュー画面の探索条件キーをタッチできません。探索条件を変更したい場合は、ルートメニュー画面の 音声案内・探索設定 ▶ 探索条件 をタッチして選択してください。設定された探索条件は、次回のルート探索に引き継がれます。

設定した条件で再探索する

ルート設定時に探索された5つのルートをすべて再探索します。

→ P.64「異なる条件のルートから選択する」

1 MENU ▶ ルート

2 再探索

— お知らせ

- 立寄地設定時にこの操作をすると、立寄地は消去されます。
  → P.47「ルート沿いの施設を探す」
- 経由地、または有料道路の出入口が設定されている場合は、1ルートのみ探索します。

— MEMO

- 有料道路の出入口設定時は、設定を継続するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

探索条件を変更して再探索する

高速道路を走行中に一般道に降りたくなった場合などに便利な機能です。

1 MENU ▶ ルート

2 **希望の探索条件を選択**→ P.155

選択した探索条件で、ルートを再探索します。

internaviルートの探索条件を変更する

1 MENU ▶ ルート

2 internaviルートタイプ選択

3 **目的の項目を選択**

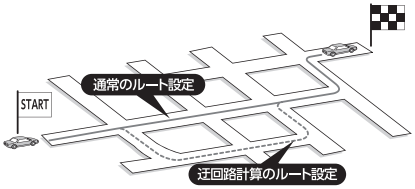
internaviルートについて詳しくは、P.65をご覧ください。

— お知らせ

- 本機能はインターナビへの接続が必要です。インターナビについて詳しくは、「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。
- 選択できるinternaviルートタイプは変更される場合があります。

迂回ルートを再探索する

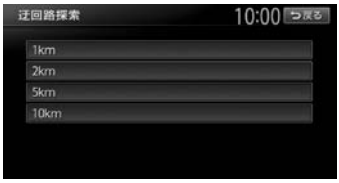
渋滞など、避けたい場所を迂回したルートを再探索できます。



1 MENU ▶ ルート

2 迂回路探索

3 **迂回ルートを探索する、自車位置からの距離を選択**



迂回するルートが再探索されます。

お知らせ

- 迂回ルートが見つからない場合もあります。
- internaviルートでの案内中は、この操作は行えません。

目的地・経由地を編集する

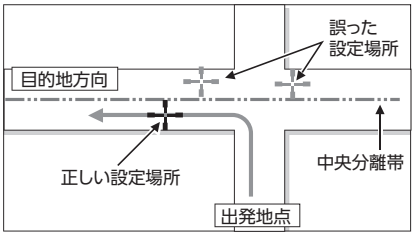
目的地・経由地設定時のご注意

ルートの途中で寄り道をしたいときなどに、ルートに経由地を設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地・経由地の位置を修正することもできます。
ルートを変える際には、以下のことを考慮して目的地・経由地を設定してください。

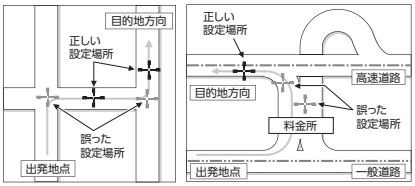
お知らせ

- 高速道路の本線上に目的地・経由地を設定した場合、ルートが見つからないことがあります。その場合は、目的地・経由地を本線以外へ設定し直してください。

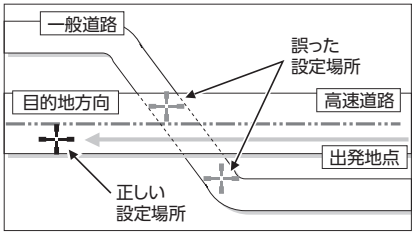
1 上下線や一方通行路に目的地・経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。



2 交差点やインターチェンジなどに目的地・経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に目的地・経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。



3 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、目的地・経由地を設定しないでください。

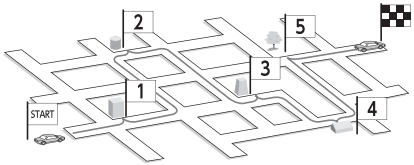


お知らせ

- 設定した目的地・経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった目的地・経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。

経由地を追加する

経由地は最大5つまで設定できます。現在設定されている目的地よりも後ろの位置に地点を追加すると、その場所が目的地として設定されます。



1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 経由地を追加する位置の ここに追加

4 地点を検索→ P.39

5 ここに決定する

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.55

ここを登録：
検索した地点を本機に登録する。

6 探索開始
経由地が追加され、新しいルートが探索されます。

目的地・経由地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経由地の位置を、地図をスクロールして変えられます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 位置を調整したい地点を選択

4 位置を修正

5 位置を修正して 決定

6 探索開始
目的地、または経由地の位置が調整され、ルートが探索されます。

目的地・経由地の順番を並べ替える

1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **順番を変えたい地点を選択**

4 順番を変更

5 **移動する位置を選択**

6 探索開始

目的地、または経由地の順番が入れ替わり、新しいルートが探索されます。

— お知らせ

- 地点の順番を並べ替えると、指定ICは解除されます。

目的地・経由地を消去する

1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **消去したい地点を選択**

4 消去 ▶ はい

5 探索開始

選択した目的地、または経由地が消去され、新しいルートが探索されます。

— お知らせ

- 目的地を消去した場合は、最後の経由地が目的地に変わります。

区間ごとに探索条件を設定する

現在地～経由地～目的地間で、区間ごとに探索条件を設定できます。

1 MENU ▶ ルート

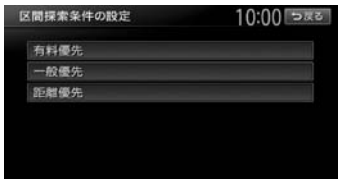
2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **探索条件を設定したい区間の探索条件キー選択**

探索条件キー

4 **希望の探索条件を選択**

→ P.155「探索条件の設定をする」



— MEMO

- 選択した区間の前後に指定ICがある場合は、探索条件を選択後に はい または いいえ をタッチします。

5 探索開始

選択した探索条件で、ルートが探索されます。

— お知らせ

- 探索条件を変更して再探索を行うと、区間ごとに設定した探索条件は解除されます。
- 「internaviルート」とそれ以外の探索条件は、1つのルート内の区間探索条件として、同時に設定できません。
  また、internaviルートのルートタイプを区間ごとに設定できません。

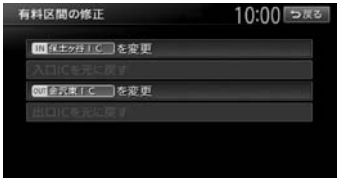
有料道路の出入口を変更する

設定したルート上の有料道路の出入口を、リストから選択して変更できます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 有料区間の修正

3 入口を変更 または 出口を変更



入口ICを元に戻す／出口ICを元に戻す：
指定したICを解除する。

4 変更する出入口の名称を選択

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。

ルート探索結果画面に戻り、入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わります。

5 案内開始

— お知らせ —
- internaviルートでの案内中は、この操作は行えません。

— MEMO —
- 選択した出入口がスマートICの場合は、確認画面が表示されます。 はい をタッチすると、スマートICを考慮したルートが設定され、 いいえ をタッチすると、選択が取り消されます。

スマートICとは

スマートICとは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできるETC専用のインターチェンジです。
本機では、利用できるスマートICを考慮してルート探索を行います。

— お知らせ —
- スマートICは、ETCユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。そのようなスマートICでは、対象車種に制約がありますが、それを考慮したルート探索は行いません。実際の道路状況にしたがって走行してください。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認したり、音声を設定できます。

⚠ 注意

- **走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。**

ルート上の情報を見る

ルート上の道路の種類や走行距離、通行料金、目的地への到着予想時刻などを確認できます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 ルート情報

ルート情報画面が表示されます。

お知らせ

- 現在走行中の道路の情報は表示されません。そのため、各道路の走行距離の合計と、目的地までの走行距離とは一致しません。

ルートをシミュレーション走行する

画面上で、ルートを走行する様子をシミュレーションして確認できます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 ルートシミュレーション

ルートシミュレーションが開始されます。

シミュレーション中は、以下のキーを操作できます。

▶：
ルートシミュレーションを再生する。

⏸：
ルートシミュレーションを一時停止する。

■：
ルートシミュレーションを中止する。

詳細／広域：
地図の縮尺を変更する。

お知らせ

- ルートシミュレーション中に、以下の操作を行うと、シミュレーションは停止します。
  - ハードボタンの操作
  - 電話を着信
  - カメラ画面を表示
  - 走行を開始
- ルート探索結果画面から ルートの確認・登録 をタッチした場合は、ルートシミュレーションは操作できません。

現在のルートを登録する

現在のルートを本機に登録します。（最大5件）

お知らせ

- 本機能は、探索されたルート自体を登録するものではなく、経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで登録します。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録したときのルートとは異なる場合があります。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 現在のルートを登録 ▶ はい

ルート上の地図をスクロールする

地図をスクロールしてルートを確認します。

1 MENU ▶ ルート
2 ルート確認・登録
3 地図スクロール
カーソルの位置を中心にして、全画面地図が表示されます。

ルート案内の音量を確認・設定する

ルート案内時の音量や、音声出力のON/OFFを切り替えられます。

1 MENU ▶ ルート
2 音声案内・探索設定
3 案内音量
4 ＋ ー で音量を調整

通常走行時と高速走行時とに分けて設定できます。

MEMO
• この設定は、「案内音量」と連動しています。→ P.152

ルート案内時の音声出力を切り替える

音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択できます。

1 MENU ▶ ルート
2 音声案内・探索設定
3 案内・メッセージ音声

MEMO
• この設定は、「案内・メッセージ音声」と連動しています。→ P.152

ルート案内を中止する

1 MENU ▶ ルート
2 案内中断

MEMO
• ルート案内を再開したい場合は、MENU ▶ ルート ▶ 案内再開 をタッチしてください。

ルートを消去する

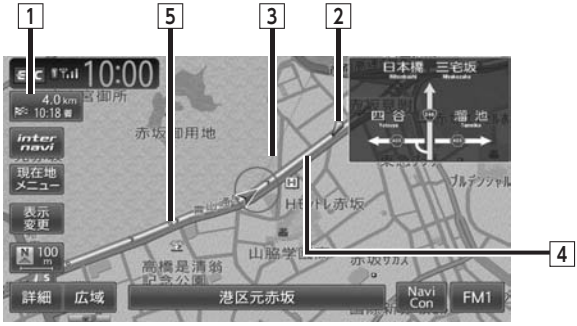
1 MENU ▶ ルート
2 ルート消去 ▶ はい
ルートが消去され、ルート案内が中止されます。

ルート案内中の地図画面

ルート案内中は、地図上に渋滞情報や案内地点、案内ルートなどの情報が表示されます。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。



1 目的地情報キー
自車位置から目的地までのルート距離と到着予想時間※1が表示されます。
ルートを外れて走行している場合は、目的地までの直線距離が表示されます。
タッチすると目的地周辺の地図が表示されます。目的地の位置が正確でない場合は微調整ができます。

2 音声案内地点
音声で案内される地点です。
通常道路・細街路での右左折を案内します。

3 目的地方向表示
目的地までの方向を直線で示しています。目的地方向表示は「目的地方向表示」で表示／非表示を切り替えられます。→ P.38

4 誘導ルート
目的地までの走行道路です。
経路色：黄色（一般道路）、黄緑色（有料道路）、暗い黄色（細街路）

5 軌跡
車が走行した軌跡を軌跡マークで表示します。軌跡マークは「軌跡の表示」で表示／非表示を切り替えられます。→ P.151

※1「自動計算」が「OFF」の場合、到着予想時刻は「到着予想時刻の速度設定」で定めた平均速度で計算されます。→ P.154
渋滞情報は考慮されません。

ルート案内中の案内表示

交差点手前で出る案内表示

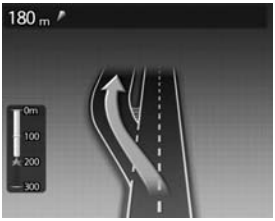
交差点や都市高速道路入口の約300m手前で、交差点が拡大して表示されます。
交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

MEMO
• 一部の交差点では、実際の景色に似たイラストが表示されます。

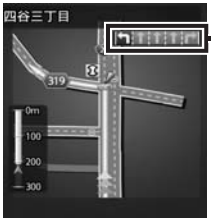
都市高速道路の手前※1

複雑交差点の手前※2

側道分岐点の手前※3



交差点の手前



レーン表示※4

※1「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.152
※2 イラストが表示される地域は、政令指定都市と東京23区内のみです。
※3 表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。
※4 交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

高速道路での案内表示

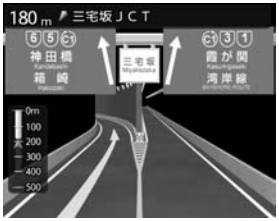
都市高速道路の入口※1

入口の名称と通行車線が表示されます。

都市高速道路の出口※2

出口の名称と通行車線が表示されます。

高速道路の分岐点※2



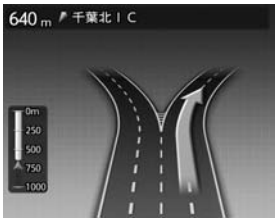
分岐点名、分岐点までの距離、通行車線が表示されます。

高速道路走行中

高速道路内の情報や到着予想時刻、料金が表示されます。

※1「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.152
※2「高速分岐の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.152

■ デフォルメ図



以下の分岐点の手前では、道路形状をデフォルメ化した拡大図が表示されます。
- 側道分岐点
- 高速道路・有料道路の3分岐以内の分岐点
- 画像がない場合の高速道路の分岐点

デフォルメ図には、通行車線が表示されます。

※表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。

ETCレーンガイドでの案内表示

本機と連動する別売のETCユニットが接続状態であり、さらにETCカードが挿入されているとき「黄色矢印」がETCレーン側に表示されます。それ以外の場合は、矢印が一般側に表示されます。また、ETCユニット未接続状態でも「ETCレーンの表示」がONになっている場合は、矢印がETCレーン側に表示されます。→ P.152

	ETC利用不可時	ETC利用可能時※ または「ETCレーンの表示」ON時
料金所付近		
ハイウェイモード		
拡大図		

※ETCユニット接続中で、ETCカードが挿入されているとき

お知らせ

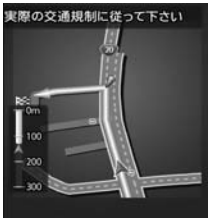
- ETCレーンの整備上実際のレーンと異なる場合があります。実際のレーン状況を確認のうえ走行･通過してください。

細街路での表示

出発ポイントや目的地周辺の道幅が5.5m以下の細街路でも、目的地までルート案内されます。

⚠ 警告

- **出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅3.3 ～ 5.5mの一般道路が暗い黄色の線でルート表示されます。また、これらのルートは交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報がない道路が含まれます。必ず実際の交通規制や道路標識などにしたがって走行してください。**



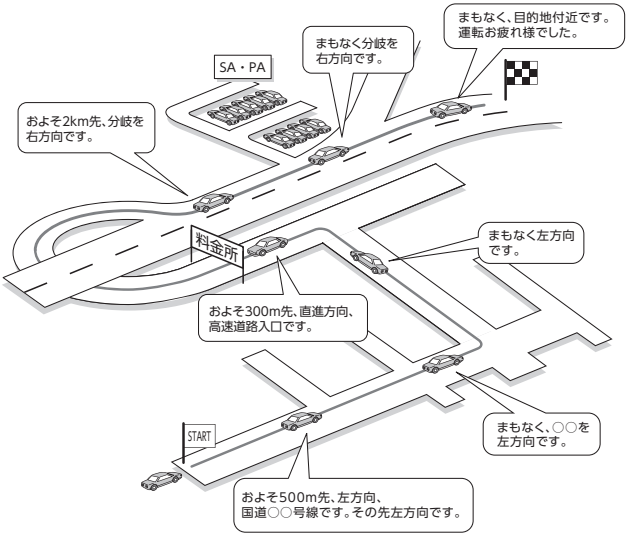
お知らせ

- 200mおよび100mスケールで停止中、細街路走行中は細街路を表示します。200mスケールで表示されるのは一部の細街路のみです。50mスケールでは、細街路以外の道路走行中も細街路が表示されます。走行中に地図をスクロールしているときは、細街路は表示されません。

ルート案内中の音声案内

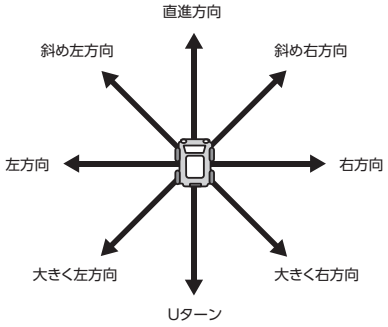
案内地点が近づくと、音声で案内されます。

運転中の音声案内例



進行方向の案内について

進行方向の音声案内は、8方向で案内されます。



情報を利用する

FM VICS情報など、さまざまな交通情報を受信してドライブに役立てられます。ETC履歴の情報などもご活用ください。

情報メニュー画面を表示する…… 80
VICS情報を利用する …… 80
VICSとは …… 80
交通情報の表示について…… 80
地図上に表示されるVICS情報（レベル3）…… 81
FM多重のVICS情報を利用する…… 82
FM多重 VICS情報を見る …… 82
ETC情報を利用する …… 82
ETC情報とは …… 82
ETC情報の画面表示と案内 …… 82
ゲート通過可否の案内…… 82
予告案内…… 82
警告表示…… 82
料金案内…… 83
ETCカード挿入／排出時の案内 …… 83
セットアップ時の案内…… 83
最新の利用履歴を読み上げる…… 83
ETCカードの有効期限を表示する …… 83
ETC情報の履歴を見る …… 83
ETCの車載器情報を表示する …… 84
ETC料金を割り勘にする …… 84
ETCの設定をする …… 84
その他の情報を利用する…… 85
ラジオの交通情報を受信する…… 85
GPSから現在地の情報を取得する…… 85
本機の情報を見る…… 85

情報メニュー画面を表示する

情報メニュー画面では、FM VICS情報を受信して、交通情報などを見られます。また、本機の情報やETC履歴などの情報も見られます。

MENU ▶▶ 情報 ▶▶

情報メニュー画面

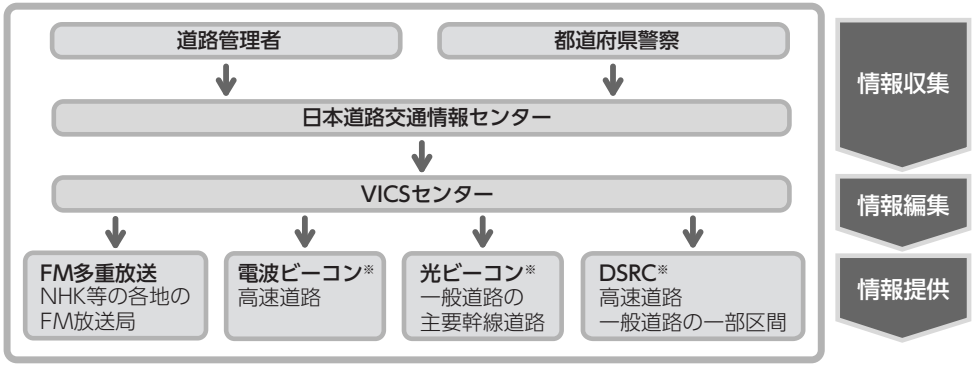
※走行中はタッチできる項目が限定されます。

VICS情報を利用する

VICSとは

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、渋滞や事故などの影響による規制情報や、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

■ VICS情報の流れ



※本機では受信できません。

交通情報の表示について

文字表示（レベル1）

簡易図形表示（レベル2）

地図表示（レベル3）

地図上に表示されるVICS情報（レベル3）

VICS情報を受信すると自動的に地図上に表示され、内容が更新されるごとに情報が書き換わります。
また、ルート情報リストでも、渋滞情報を色で確認できます。→ P.35
ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、それぞれについて音声案内を行います。

受信マーク表示
VICS情報が提供された時刻を表示します。
※受信した時刻ではありません。
※メンテナンス等で休止している時間以外は、24時間VICS情報を提供しています。

VICSアイコン表示（1km以下のスケールで表示）
以下の情報をアイコンで表示します。→ P.232
交通障害情報：
事故、故障車、路上障害物、工事、作業など
交通規制情報：
通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制
駐車場情報：
駐車場、SA/PAの満車・空車情報
「地図上のVICS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.155

カーソルをVICS情報のランドマークに合わせると、VICSアイコン情報が表示されます。（2D地図のみ）

VICSアイコン情報は、「スクロール地点情報表示」で表示／非表示を設定できます。→ P.156

渋滞情報を線で表示
（1km以下のスケールで表示）

赤色	：渋滞
オレンジ色	：混雑
黄色	：規制
水色	：順調

200m以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。
「地図上のVICS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.155

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

FM多重のVICS情報を利用する

本機は、内蔵のFM多重受信機でFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新されます。

緊急情報以外のレベル1情報、およびレベル2情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

お願い

- 表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

お知らせ

- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各FM VICS情報が表示されない場合があります。

MEMO

- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- FM多重放送の受信地域は変更できます。
→ P.155

FM多重 VICS情報を見る

1 MENU ▶ 情報 ▶ FM多重

2 **見たい情報を選択**

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認する。

文字情報：
渋滞情報などを表示する。
※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

所要時間：
各地への所要時間を表示する。

緊急情報：
FM VICS情報から受信した緊急情報を表示する。

3 **見たい項目の番号を選択**
FM VICS情報が表示されます。

ETC情報を利用する

ETC情報とは

ETC情報とは、ETCの料金情報や予告案内、警告情報などです。本機と連動する別売のETCユニットを接続すると表示されます。料金所ゲートを通過するときに、ETC情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。

お知らせ

- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

MEMO

- ETCの車載器管理番号などを表示させることもできます。
→ P.84「ETCの車載器情報を表示する」

準 備

●料金情報の案内や履歴の表示を行うには、ETCユニットにETCカードをセットします。
ETCユニットについて詳しくは、ETCユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

ETC情報の画面表示と案内

ゲート通過可否の案内

●**「ETCがご利用できません」**

MEMO

- ETCが利用可能な場合は、「ポン」というブザー音が鳴ります。

予告案内

料金所に予告アンテナ／ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ案内されます。

●**「ETCがご利用できません」**
●**「ETCカードを確認してください」**

警告表示

●**「ETCカードを確認してください。」**
ETCカードが故障しているときや、ETCカードでないときに表示されます。

●**「ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください」**
ETCユニットの異常により、本機との接続ができないときに表示されます。

●「ETCカードが挿入されていません」
ETCカードの入れ忘れ警告を「ON」に設定した場合、本機起動時に表示されます。→ P.84
●「ETCカードの有効期限が切れています。ETCがご利用できません」
ETCカードの有効期限が切れているとき、起動時とETCカード挿入時に表示されます。
●「ETCカードを確認しました。ETCカードの有効期限は、XXXX年XX月です」
ETCカードの有効期限月の2ヶ月前から有効期限まで、起動時とETCカード挿入時に案内されます。
例：カード有効期限が2014年3月の場合、警告の開始は2014年1月1日からになります。
●「ETCカードの有効期限が読み取れませんでした」
ETCカードから有効期限データが読み出せなかった場合に表示されます。

料金案内

ETCユニットからの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面とも同様です。
ETCゲート通過時に料金が徴収された場合、または料金の払い戻しがあった場合に案内されます。
●ETCがご利用可能です。支払い料金はxxxx円です
●ETCがご利用可能です。払い戻し金額はxxxx円です

ETCカード挿入／排出時の案内

●「ETCカードを確認しました」
ETCカードを挿入して正常に認証されたときに案内されます。
●「ETCカードの有効期限にご注意ください」
カード有効期限案内に対応していないETCユニットを接続している場合に、起動時とETCカード挿入時に案内されます。
●「ETCカードが取り出されました」
ETCカードを排出したときに案内されます。
●「ETCカードを挿入してください」
ETCカード未挿入で「利用履歴」「最新利用日履歴」「精算」をタッチしたときに案内されます。

セットアップ時の案内

●「ETCユニットがセットアップされていません」
ETCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。
●「ETCユニットのセットアップは行われませんでした」
ETCユニットのセットアップが正常に行われなかったときに表示されます。
●「ETCユニットのセットアップが終了しました」
ETCユニットのセットアップが正常に終了したときに表示されます。

最新の利用履歴を読み上げる

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報
2 最新利用履歴の読上げ
最後に課金されたETCの金額が音声で案内されます。

ETCカードの有効期限を表示する

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報
2 カード情報
ETCカードの有効期限（年、月）が表示されます。

ETC情報の履歴を見る

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報
2 利用履歴 または 最新利用日履歴
ETCカードが差し込まれている場合にETC情報が表示されます。
利用履歴：
最新の履歴より、最大100件のETC情報を表示する。
最新利用日履歴：
最新日に利用したETC情報のみ表示する。

MEMO
- 履歴読み出しが正常に行われなかった場合、「すべての情報を取得できませんでした。一部の情報が表示できません」と表示されることがあります。
- 一度も使用したことのない新しいカードの場合は、「情報がありません」と表示されます。

ETCの車載器情報を表示する

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 車載器情報

車載器管理番号、型式登録番号、車載器型式が表示されます。

ETC料金を割り勘にする

ETC情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 精算

3 精算したい履歴を選択 ▶ 決定

日+：
精算する履歴を、1日分ずつさかのぼって追加する。

日−：
精算する履歴を、1日分ずつ解除する。

4 + または − で人数を調整

1人あたりの支払い金額が表示されます。

5 ETC以外にかかった料金がある場合は、駐車料金などを入力

6 金額を入力 ▶ 決定

1人あたりの支払い金額が表示されます。

— お知らせ —

- 計算可能な金額は100万円未満です。100万円以上になると「料金計算の範囲を超えています」と表示されます。

— MEMO —

- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示されます。

ETCの設定をする

別売のETCユニット接続時の設定です。

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 ETC設定

3 各項目を設定

カード挿入アイコン表示：
地図上にETCアイコンの情報を表示させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

本体ブザー音：
ブザータイプのETCユニットのブザー音を鳴らすかどうかを設定する。（初期値：ON）

音声案内：
本機からの音声案内を出力させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

カード入れ忘れ警告：
ETCカードを入れ忘れたときに警告させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

カード有効期限案内：
ETCカードの有効期限が近い場合と期限切れの場合に、カード挿入時に画面表示と音声で通知させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

表示割り込み時間：
ETCに関する情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する。（初期値：5秒）

— お知らせ —

- ETCユニットが「有効期限通知機能」に対応していないモデルでは、ETCカードの有効期限に関する警告は表示されません。

その他の情報を利用する

ラジオの交通情報を受信する

1 ソース選択画面を表示する→ P.103

2 交通情報

交通情報を受信します。

1620kHz/1629kHz：
周波数を切り替える。

解除：
交通情報を聞く前に視聴していたオーディオソースに戻る。

GPSから現在地の情報を取得する

1 MENU ▶ 情報

2 GPS現在地情報

GPSの測位状態、自車位置の緯度・経度、測位衛星・待機衛星の数が表示されます。

本機の情報を見る

1 MENU ▶ 情報 ▶ 本体情報

本体情報画面には、TV サーチ情報データの最終更新日、シリアル番号、地図のバージョン情報が表示されます。

Memo

通信機能を利用する

本機に携帯電話などのBluetooth対応機器を接続すると、ハンズフリーで電話をかけられます。

通信を利用してできること…… 88
Bluetooth対応機器を登録する…… 89
Bluetooth（ブルートゥース）とは…… 89
Bluetoothハンズフリーの
マルチポイント接続でできること…… 89
Bluetooth機器の取り扱いについて…… 90
Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）…… 90
接続するBluetooth対応機器を切り替える…… 92
登録したBluetooth対応機器を消去する…… 92
携帯電話を利用する…… 93
通話中の画面…… 93
番号を入力して電話をかける…… 94
発着信履歴からかける…… 94
発着信履歴を消去する…… 95
電話帳を登録する…… 95
電話帳から電話をかける…… 96
電話帳のデータを消去する…… 96
施設情報から電話をかける…… 96
短縮ダイヤルを登録する…… 96
短縮ダイヤルから電話をかける…… 97
短縮ダイヤルの編集をする…… 97
短縮ダイヤルを消去する…… 97
電話を受ける…… 98
電話の設定をする…… 98
通話音量と着信音の設定をする…… 98
Bluetooth機能のON/OFFを切り替える …… 98
パスキー・デバイス名称を変更する…… 99
電話のメモリをすべて消去する…… 99
Siri Eyes Free機能を使う …… 99
表示画面を切り替える…… 100

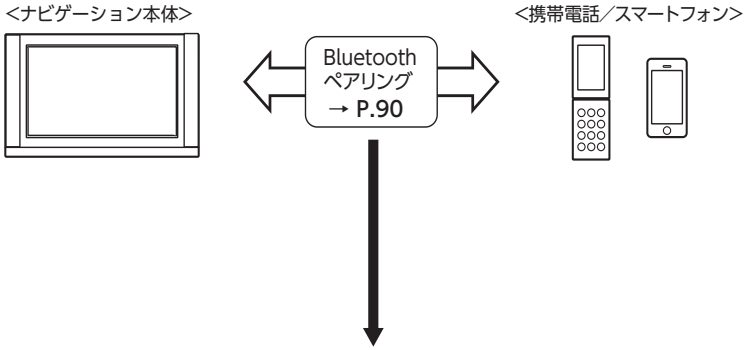
通信を利用してできること

Bluetooth対応携帯電話を利用すると、ハンズフリーで通話するなど、便利な機能を利用できます。

準 備

●以下の設定を行います。

- 携帯電話を本機に登録（ペアリング）→ P.90



電話をする → P.93
Bluetoothオーディオを聴く → P.145
Intelligent VOICEを利用する → P.48
NaviConを利用する → P.54
QQコールを利用する → P.178

Bluetooth対応機器を登録する

準備

●本機のBluetooth機能をONにします。
→ P.98

携帯電話などのBluetooth対応機器を登録して、本機から電話の発着信やオーディオを再生できます。
Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。
この操作は、電話メニュー画面およびBluetooth設定画面から行います。
Bluetooth対応携帯電話の対応機種や設定方法については、以下のインターナビのWebサイトをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/internavi/

MENU ▶▶ 電話 ▶▶

電話メニュー画面

MENU ▶▶ 設定 ▶▶
Bluetooth ▶▶

Bluetooth設定画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。
本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。
Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。→ P.90

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリー通話
HFP（Hands-Free Profile：ハンズフリープロファイル）

電話帳転送
OPP（Object Push Profile：オブジェクトプッシュプロファイル）

電話帳転送および通話履歴等の同期
PBAP（Phone Book Access Profile：フォーンブックアクセスプロファイル）

オーディオ
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile：高度オーディオ配信プロファイル）、AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile：オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル）

Smart Access 4Carアプリ連携
SPP（Serial Port Profile：シリアルポートプロファイル）

※Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetoothハンズフリーのマルチポイント接続でできること

Bluetooth接続の携帯電話を以下のように使用できます。
●携帯電話2台を待ち受けとして使用可能

※携帯電話2台を使用した同時通話は、不可（2台を待ち受けとした場合は、先に発着信した側のみで通話が可能）

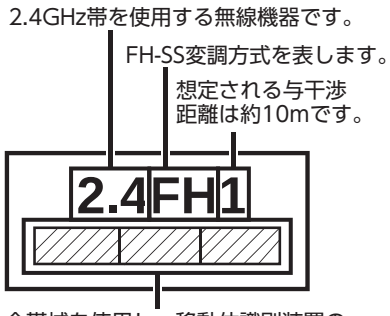
— MEMO
- 本機では、Bluetooth対応携帯電話（ハンズフリー）とBluetoothオーディオ機器を同時に使用できます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth対応機器の収納場所、本機との距離によっては、接続できない場合があります。本機とBluetooth対応機器との間に障害物がないようにして、ご使用ください。
- Bluetooth対応機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器の取り扱いについて

Bluetooth機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い求めのHonda販売店、または（株）ホンダアクセスお客様相談室までご連絡ください。



Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）

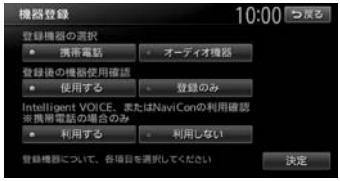
はじめてBluetooth対応機器を利用するときは、本機に登録（ペアリング）してください。

— お知らせ
- 走行中はペアリングを実行できません。
- あらかじめ機器側でもBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器登録

3 各項目を選択



登録機器の選択：
ペアリングするBluetooth対応機器が携帯電話か、オーディオ機器かを選択する。「オーディオ機器」を選択すると、「Intelligent VOICE、またはNaviConの利用確認」は選択できません。

登録後の機器使用確認：
ペアリングしたBluetooth対応機器を使用するかどうかを選択する。「登録のみ」を選択すると、「Intelligent VOICE、またはNaviConの利用確認」は選択できません。

Intelligent VOICE、またはNaviConの利用確認※携帯電話の場合のみ：

ペアリングした携帯電話を使って、Intelligent VOICEやNaviConを利用するかどうかを選択する。

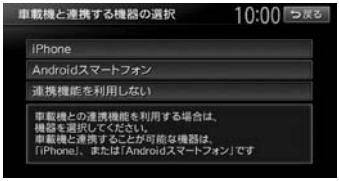
「利用する」を選択すると、ハンズフリー電話、Intelligent VOICEおよびNaviConが利用できます。→ P.48「Intelligent VOICEを利用する」、
→ P.54「NaviConアプリケーションを利用する」

「利用しない」を選択すると、ハンズフリー電話としてのみ利用できます。

4 決定

「Intelligent VOICE、またはNaviConの利用確認」で 利用する を選択した場合は、手順5に進みます。 利用しない を選択した場合は、手順6に進みます。

5 本機と連携する機器を選択



iPhone：

iPhoneを使ったスマートフォンアプリ機能（Intelligent VOICEまたはNaviCon）を利用する場合に選択する。

Androidスマートフォン：

Android搭載機を使ったスマートフォンアプリ機能を利用する場合に選択する。

連携機能を利用しない：

スマートフォンアプリ機能を利用しないときに選択する。

ハンズフリー電話としてのみ利用できます。

6 Bluetooth対応機器から「Gathers」（初期値）を選択し、パスキー「1212」(初期値)を入力

— MEMO —

- Bluetooth対応機器の機種によっては、パスキー入力は不要です。また、機種によっては、本機に入力したパスキーが機器側のパスキーと同一か、確認する画面が表示されます。登録を行う場合は、画面にしたがって操作してください。
- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を登録する場合は、「オーディオ機器」を選択後、決定 をタッチしてからパスキー「例：1212」を入力してください。

Bluetooth対応機器から本機の探索を行い、ペアリングが完了します。

— お知らせ —

- ペアリング完了後、携帯機器の設定画面の「Bluetoothで接続」がONに切り替わります。Bluetooth機能を使用する際は、本設定がONであることを確認してください。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかのBluetooth対応機器の接続(通話、通信)やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetooth対応機器は、5台までペアリングできます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたBluetooth対応機器の情報を消去してください。→ P.92
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- Bluetooth対応機器が「接続待機中」設定時や待ち受け状態のときは、自動的に接続されます。上記以外の場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

— MEMO —

- ペアリング完了後、Bluetooth対応機器上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続するプロファイルの選択が必要な場合は、「ハンズフリー」を選択してください。また、同時にオーディオプレーヤーを使用する場合は、「オーディオ」も選択してください。
- Bluetooth対応機器側の操作について詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- 本機のBluetooth対応機器の受信感度、電池残量の表示は、接続する機器によっては、数値が一致しない場合があります。
- デバイス名、パスキーは変更可能です。
- Bluetooth対応機器と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- Bluetooth対応機器を再起動した場合、機器の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合はBluetooth設定画面の 接続機器の選択 をタッチしてリストから接続したいBluetooth対応機器を選択してください。→ P.92

接続するBluetooth対応機器を切り替える

本機に複数のBluetooth対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

お知らせ
- Bluetooth対応機器は、5台までペアリング可能ですが、接続できるのは2台までです。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 接続機器の選択

3 接続機器1 **または** 接続機器2

接続機器1：
メインのBluetooth対応機器を指定する。ハンズフリー電話、およびBluetoothオーディオとして利用します。また、スマートフォンアプリも利用できます。

接続機器2：
サブのBluetooth対応機器を指定する。ハンズフリー電話のみ、またはBluetoothオーディオとして利用します。
メインのBluetooth対応機器でスマートフォンアプリを利用しながら、サブのBluetooth対応機器でハンズフリー電話やBluetoothオーディオが利用できます。

4 **切り替える機器を選択**

MEMO
- 手順3で 接続機器1 を選択した場合、切り替える機器を選択後、スマートフォン連携で使用する機器の種類を選択する画面が表示されます。→ P.91の手順「本機と連携する機器を選択」

5 決定

MEMO
- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、短縮ダイヤル・発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

登録したBluetooth対応機器を消去する

ペアリング済みのBluetooth対応機器の情報を消去します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器の消去

3 **消去したい機器を選択**

4 消去する

5 はい

お知らせ
- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、短縮ダイヤル、電話帳情報も消去されます。
- Bluetooth対応機器の登録情報を消去している最中に本機の電源を切ると、消去できない場合があります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

携帯電話を利用する

お願い

- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

MEMO

- 同時に2台の携帯電話を接続しているときは、電話メニュー画面に表示されている機器名称をタッチして、使用する電話を切り替えられます。

通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

通話中画面

通話を終了します。

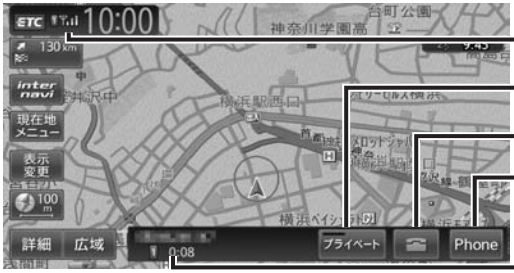
携帯電話本体での通話に切り替わります。ご使用の携帯電話によっては、プライベート動作にならない場合があります。

送話音声がミュート状態になります。

番号入力画面が表示され、通話中にパスワードなどの数字を入力できます。

通話中に 現在地 を押すと、以下のような画面になります。この画面のまま、目的地検索などの操作も行えます。

通話中地図画面



携帯電話の受信感度が表示されます。

携帯電話本体での通話に切り替わります。

電話を切り現在地が表示されます。

電話コントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

通話時間、相手先の名前、または電話番号が表示されます。

お知らせ

- 携帯電話の機種によっては、通話中に第三者から着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- ハンズフリーで通話中は、オーディオソースの選択切り替えができません。
- 携帯電話が待ち受け状態でないと、発着信できない場合があります。

番号を入力して電話をかける

⚠ 注意

- **走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。**

MEMO

- 携帯電話によっては、ダイヤル発信後、発信中の電話を切った場合、すぐに再発信できないことがあります。しばらくしてから、ダイヤル発信を行ってください。

1 MENU ▶ 電話

2 ダイヤル入力

3 **電話番号を市外局番から入力**

4 電話をかける

電話番号が発信され、相手を呼び出します。

電話を切る：
呼び出し途中にタッチして、電話を切る。

5 **通話を終了する場合は** 電話を切る

電話を切り、電話をかける前の画面に戻ります。
発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。同一電話番号の場合、最新の履歴のみが表示されます。

発着信履歴からかける

1 MENU ▶ 電話

2 発着信履歴

3 着信履歴 **または** 発信履歴

4 **ダイヤルしたい相手先を選択**

着信履歴／発信履歴：
リストに表示する履歴を切り替える。

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

お知らせ

- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

MEMO

- 発着信の履歴は、本機に記録された最新の5件が表示されます。
- 同一電話番号を異なる名称で短縮ダイヤルと電話帳に登録している場合、短縮ダイヤルの情報を優先して履歴が表示されます。
- 短縮ダイヤル、または、電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称が表示されます。

発着信履歴を消去する

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ メモリ消去

3 発着信履歴

4 **消去する方法を選択**

一括消去：
すべての発着信履歴を消去する。

履歴ごとに消去：
発信履歴、または着信履歴をすべて消去する。

1件消去：
選択した1件の発着信履歴を消去する。発着信履歴リストから消去したい履歴を選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい
選択した履歴が消去されます。

電話帳を登録する

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、本機から電話をかけられます。
携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。
詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

— MEMO —
- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、電話機選択画面から接続したい携帯電話を選択してください。

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ ハンズフリー電話帳

3 携帯メモリ一括ダウンロード ▶ はい
または
携帯メモリ追加ダウンロード ▶ はい
電話帳転送の待ち受け画面になります。

携帯メモリ一括ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに上書き保存する。
前回ダウンロードしたデータは上書きされるため、利用できなくなります。

携帯メモリ追加ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに追加保存する。
前回ダウンロードしたデータは上書きされずに利用可能です。

ダウンロード済みリスト：
転送後の電話帳のリスト画面を表示する。登録された電話番号は短縮ダイヤルへ登録、または消去できます。→ P.96

4 **携帯電話から電話帳転送**
電話機選択画面で現在選択されている携帯電話の電話帳が本機に転送されます。
追加ダウンロード完了時には、キャンセル をタッチして登録作業を終了してください。

— お知らせ —
- 電話帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を消去してください。

— MEMO —
- 登録可能な電話帳データは、携帯電話1台あたり1000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件の電話番号を表示できます。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  （携帯電話）／（一般電話）／（自宅）／（会社）／（その他）
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えるので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

電話帳から電話をかける

1 MENU ▶ 電話

2 ハンズフリー電話帳

3 名前を選択

4 電話番号を選択

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

MEMO

- 電話帳を登録する方法は、「電話帳を登録する」をご覧ください。→ P.95

電話帳のデータを消去する

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ メモリ消去

3 ハンズフリー電話帳

4 消去する方法を選択

一括消去：
電話帳データを一括消去する。

1件消去：
選択した1件の電話帳データを消去する。
電話帳リストから消去したいデータを選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

選択した電話帳データが消去されます。

施設情報から電話をかける

施設情報画面に 電話をかける が表示されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけられます。

1 施設情報画面で 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルを登録する

本機に短縮ダイヤルを登録すれば、簡単に電話をかけられます。

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集

3 新規登録

4 登録する方法を選択

発着信履歴から登録：
発着信履歴リストから登録したい電話番号を選択する。

ハンズフリー電話帳から登録：
電話帳から登録したい電話番号を選択する。

入力して登録：
登録したい電話番号を直接入力する。
入力後は、決定 をタッチしてください。

5 **登録情報を確認**

短縮ダイヤルの登録番号、名称、電話番号、アイコンの種類は編集できます。それぞれの項目をタッチし、希望の設定値を入力してください。短縮ダイヤル登録後に編集することもできます。

6 決定

短縮ダイヤルが登録されます。

MEMO

- 短縮ダイヤルの最大登録件数は携帯電話1台につき5件です。

短縮ダイヤルから電話をかける

1 MENU ▶ 電話

2 短縮ダイヤル

3 **ダイヤルしたい相手先を選択**

4 電話をかける

登録されている短縮ダイヤルが発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルの編集をする

登録済みの短縮ダイヤルの編集をします。

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集

3 **編集したい短縮ダイヤルを選択**

4 編集する

編集したい項目を選択し、希望の設定値を入力してください。

5 決定

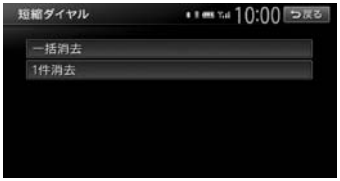
短縮ダイヤルを消去する

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ メモリ消去

3 短縮ダイヤル

4 **消去する方法を選択**



一括消去：
すべての短縮ダイヤルを消去する。

1件消去：
選択した1件の短縮ダイヤルを消去する。短縮ダイヤルリストから消去したい短縮ダイヤルを選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

選択した短縮ダイヤルが消去されます。

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

⚠ 注意

• 走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。

1 電話がかかってきたら 電話に出る

着信拒否する：
着信中にタッチして着信を拒否する。

保留する：
応答を保留する。
保留を解除する場合は、電話に出る をタッチします。
通話を終了したい場合は、電話を切る をタッチします。電話を切り、着信直前の画面に戻ります。

着信した電話番号、名称（短縮ダイヤル、電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

電話の設定をする

通話音量と着信音の設定をする

1 MENU ▶ 設定
2 電話 ▶ 音量調整

3 各項目を設定

着信音量：
着信音量をレベル1 ～ 16に設定する。(初期値：レベル4)

受話音量：
受話音量をレベル1 ～ 16に設定する。(初期値：レベル4)

送話音量：
送話音量をレベル1 ～ 5に設定する。(初期値：レベル3)

自動応答保留：
電話着信時の2秒後に電話をつなぎ、保留状態にする。(初期値：OFF)

車載機の着信音使用：
本機からの着信音を使用するかどうかを選択する。(初期値：OFF)

— お知らせ —

• 車両のスマートパーキングアシストシステム（駐車時に音声で案内する機能）が作動中の場合でも、通話音量および着信音量は調整できます。

— MEMO —

• 着信中、または通話中に、▲ ▼ を操作しても、音量を調整できます。
• 通話中に音量を調整した場合、ほかのオーディオソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときは通話中に調整した音量で通話できます。

Bluetooth機能のON/OFFを切り替える

携帯電話によっては、携帯電話側の問題で通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されないことがあります。その場合は、Bluetooth機能のOFF→ON切り替えを行ってください。(初期値：OFF)

MEMO
- 携帯電話のBluetooth機能をOFF→ONに切り替える際には、本機のBluetooth機能もOFF→ONに切り替えてください。
- Bluetooth機能をOFFにすると、本機でBluetooth機能を操作できません。また、Bluetooth対応携帯電話から本機への接続や操作もできなくなります。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 Bluetoothで接続

パスキー・デバイス名称を変更する

Bluetoothの設定の中で、扱いを別にしたいときなどに、パスキーとデバイス名称を変更できます。(初期値：パスキー「1212」、デバイス名「Gathers」)

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 車載機のBluetooth情報・変更
3 パスキー または デバイス名
4 新しいパスキー、または名称を入力
5 決定

お知らせ
- デバイスアドレスは変更できません。

電話のメモリをすべて消去する

1 MENU ▶ 設定
2 電話 ▶ メモリ消去
3 メモリ全消去
4 はい
短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータが消去されます。

Siri Eyes Free機能を使う

Siri Eyes Freeは、iPhoneと本機をBluetoothで接続し、車載のマイクとスピーカーによって、音声アシスタント機能『Siri®』を利用する機能です。
Siri Eyes Free機能により、iPhoneを手で操作することなく運転中も安全にSiriを利用できます。
Siriとは、iPhoneを音声で操作できる機能です。

お知らせ
- Siri Eyes Free、SiriはiPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4sでご利用になれます。また、iOS®6.1以降をご利用ください。

準備
- ●付属の外付けマイクの接続が必要です。
- ●iPhoneを本機に登録（ペアリング）します。→ P.90
- ●iPhoneのSiri機能をONにします。詳しくはiPhoneの取扱説明書等をご覧ください。

1 AUDIO を長押し、またはオーディオリモコンスイッチ（別売）の MODE を長押し
Smartphone VR画面が表示されます。

MEMO
- 車両によっては、オーディオリモコンスイッチ（別売）の SOURCE を長押ししてください。
- 同時に2台の携帯電話を接続している場合、使用機器として選択したiPhoneのみ、本機の操作によりSiri機能を起動できます。

2 マイクに発話する

iPhoneのSiri機能が動作します。
続けてSiri機能を動作させるには、発話キー、AUDIO、またはオーディオリモコンスイッチ（別売）の MODE を押してから、マイクに発話してください。

Siriを終了するには、以下のいずれかを行います。

- Smartphone VR画面の 終了 をタッチ
- AUDIO を長押し
- オーディオリモコンスイッチ（別売）の MODE を長押し

MEMO

- 走行中などの使用状況によっては、iPhoneが音声を認識できない場合があります。
  例：高速走行時や窓があいている場合、エアコンの風量設定が大きい場合など、周囲の騒音が大きい環境の場合
- 携帯電話の電波が届きにくいところでは、Siriが適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。
- 車両の電源が「OFF」のときにiPhoneでSiri機能を起動し、その後車両の電源を「ACC」、または「ON」にすると、本機のSmartphone VR画面が表示されない場合があります。その場合はSiri機能をいったん終了し、再度起動させてください。
- Siri起動中であっても、iPhone側の動作状態によっては、Siriが適切に機能しなかったり、Siriモードが終了してしまうことがあります。
- Siri起動中は、各種オーディオ機能を操作できません。
- Siri機能を使ってiPhoneのオーディオを再生した場合は、自動的にSiri機能を終了して、本機のBluetoothオーディオモードに切り替わります。
- iPhoneのオーディオ再生中にSiri機能を使って楽曲再生を指示した場合、オーディオモードはBluetoothには切り替わらず、iPodモードで再生します。
- iPhoneをUSB接続した状態でオーディオが「OFF」の場合、Siri機能を使って楽曲再生指示を行っても、オーディオは「OFF」のままで楽曲再生は行いません。
- Bluetoothオーディオ再生開始時、iPhoneが読み上げた楽曲名と再生される楽曲が一致しない場合があります。
- iPodオーディオを聴いている場合は、Siriが適切に機能しなかったり、Siriモードが終了してしまうことがあります。
- iOSのバージョンによっては、Siriの終了に時間がかかる場合があります。

表示画面を切り替える

Siri起動中でも 現在地 や MENU を押すことで、Smartphone VR画面から地図画面やメニュー画面に切り替えることができます。地図画面やメニュー画面でもSiri機能はご利用になれます。
メニュー画面からSmartphone VR画面に戻るには、Smartphone VR をタッチします。

メニュー画面

Smartphone VR画面に戻ります。

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

本機では、ラジオ、テレビ、DVDなど、視聴したい音源や映像を選んでお楽しみいただけます。詳しい操作方法は、各ソースのページをご覧ください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた …… 102
ディスクやSDカードの出し入れ …… 102
ソース選択画面を表示する …… 103
オーディオの音量を調整する …… 103
表示画面を切り替える …… 104
オーディオをON/OFFする …… 104
ラジオを聴く …… 105
ラジオを受信する …… 105
ラジオ受信中の操作 …… 105
ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する …… 106
ラジオの放送局リストを利用する …… 107
ラジオの設定をする …… 108
テレビを見る …… 108
地上デジタル放送とは …… 108
テレビを見る前に …… 109
はじめてテレビを見るときは …… 111
テレビの選局をする …… 111
テレビのプリセットチャンネルリストを利用する …… 113
テレビの便利な機能を利用する …… 115
地上デジタル放送の設定をする …… 116
DVDを見る …… 120
DVDを再生する …… 120
DVD再生時の操作 …… 121
DVDの設定をする …… 123
DVDビデオの初期設定を変更する …… 125
CD、ディスク(MP3・WMA・AAC)の音楽を聴く … 127
CDを再生する …… 127
MP3・WMA・AACのディスクを再生する …… 128
ディスク再生時の操作 …… 128
Music Rackを使う …… 129
Music Rackに録音する …… 129
Music Rackを再生する …… 131
Music Rack再生時の操作 …… 132
アルバム・トラック情報を編集する …… 133
アルバム情報を更新する …… 134
SDカード・USBメモリーの音楽を聴く／ビデオを見る …… 135
SDカードを再生する …… 135
USBメモリーを再生する …… 135
SDカード・USBメモリー再生時の操作 …… 135
SDカード・USBメモリーの設定をする …… 137
iPodミュージックを聴く／iPodビデオを見る …… 139
接続できるiPod …… 140
iPodミュージックを再生する …… 141
iPodビデオを再生する …… 141
iPod再生時の操作 …… 142
iPodの設定をする …… 143
Bluetoothオーディオを聴く …… 145
Bluetoothオーディオを再生する …… 145
Bluetoothオーディオ再生時の操作 …… 145

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ディスクやSDカードの出し入れ

オーディオ・ビジュアルのデータをお楽しみいただくには、ディスク、またはSDカードを本機にセットします。
また、Music Rackを利用するときも、本機にSDカードをセットします。→ P.129

⚠ 警告

- **ディスクやSDカードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するか、または取り出してください。**

❗ お願い

- ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。
- SDカードの端子面には触れないでください。

ディスクの入れかた

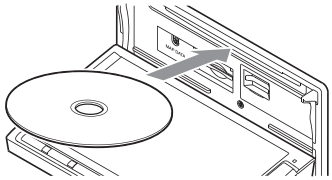
❗ お願い

- ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。重ねて挿入した場合、ディスクをパネルではさみ込んでしまうことがあります。

1 ⏏ ▶ パネル開／閉
操作パネルが開きます。

ディスクがセットされている場合、「DISC IN」部分が明るく表示されます。

2 ディスクのレーベル面を上にして、挿入口に差し込む



ディスクが取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。しばらくすると、ディスクの再生がはじまります。

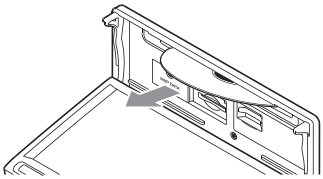
— お知らせ —

- ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。

ディスクの取り出しかた

1 ⏏ ▶ ディスク排出
操作パネルが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す



3 ⏏ または パネル開／閉
操作パネルが閉まります。

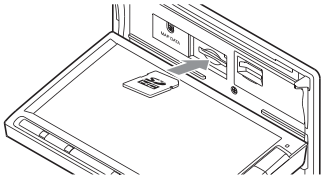
— MEMO —

- ⏏ を長押ししても、ディスクを排出できます。
- ディスクを取り出さないまま、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

SDカードの入れかた

1 ⏏ ▶ パネル開／閉
操作パネルが開きます。

2 **SDカードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む**



お願い
- カチッと音がするまで、SDカードを奥にしっかりと差し込んでください。

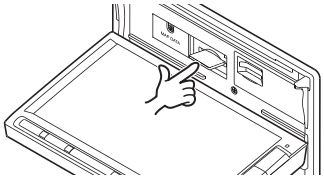
3 ⏏ **または** パネル開／閉
操作パネルが閉まります。

お知らせ
- SDカードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。

SDカードの取り出しかた

1 ⏏ ▶ パネル開／閉
操作パネルが開きます。

2 **SDカードを押す**



SDカードが少し飛び出します。

3 **SDカードを取り出す**

4 ⏏ **または** パネル開／閉
操作パネルが閉まります。

お願い
- SDカードを取り出すときは、指でSDカードをしっかりつまんでください。SDカードが飛び出すおそれがあります。

ソース選択画面を表示する

1 **(オーディオONの場合)**
オーディオ画面で AUDIO
(オーディオ画面以外では AUDIO **を2回押す)**
(オーディオOFFの場合)
AUDIO

2 **お好みのソースを選択**

※別売のVTRコード接続時の画面です。

以降の操作について詳しくは、各ソースのページをご覧ください。

オーディオの音量を調整する

1 ▲ **または** ▼

お知らせ
- 車両のスマートパーキングアシストシステム（駐車時に音声で案内する機能）が作動中の場合、オーディオの音声がミュートされるため、音量は調整できません。

MEMO
- ▲ または ▼ を長押しすると、連続して音量が変化します。

表示画面を切り替える

オーディオ・ビジュアルの画面には、各オーディオ専用の画面と地図画面の2種類の表示があります。オーディオ画面と地図画面は以下の手順で切り替えられます。

オーディオ画面に切り替える

1 AUDIO

選択したソースのオーディオ画面が表示されます。

※画面はラジオの場合です。

地図画面に切り替える

1 現在地

地図画面が表示されます。

※画面はラジオの場合です。

オーディオをON/OFFする

ONにする

1 ⏻、または **AVコントロールバー表示キーをタッチ**

地図画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ機能がONになります。

オーディオ画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ画面に戻り、オーディオ機能がONになります。

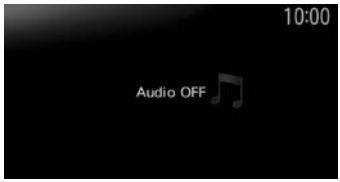
MEMO

- ソース選択画面でソースを選択、またはディスクを挿入しても、オーディオをONにできます。

OFFにする

1 [⏻]、または
ソース選択画面で Audio OFF
地図画面ではAVコントロールバー表示キーの表示が「Audio OFF」になります。

オーディオ画面ではAudio OFF画面になります。



MEMO
- オーディオをOFFにしたときも、ナビゲーションの音声案内は出力されます。

ラジオを聴く

本機では、FMラジオ・AMラジオをお楽しみいただけます。

ラジオを受信する

1 **ソース選択画面で** FM/AM
ラジオが受信されます。

ラジオ受信中の操作

AM/FMを切り替える

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 FM/AM
タッチするたびに、AMラジオとFMラジオが切り替わります。

MEMO
- 自宅モードの場合、「FM1」→「FM2」→「AM」→「FM1」…の順で切り替わります。お出かけモードの場合、「FM（お出かけ）」と「AM（お出かけ）」が交互に切り替わります。

手動でラジオの放送局を選ぶ

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 [⏮] または [⏭]
周波数が切り替わります。

MEMO
- [⏮]、[⏭] を長押しすると、周波数が連続して切り替わります。

リストから選局する

登録した放送局を、リストから選局します。

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 **目的の放送局を選択**
選択した放送局が受信されます。

— MEMO
- AVコントロールバーの 前P.CH または 次P.CH をタッチして、放送局を切り替えられます。

ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルリストは、自宅モードにFM1/FM2/AMの3種類、お出かけモードにFM/AMの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのリストで6局までです。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト

■ リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数内で、異なる放送局名が存在するときは、リストに「重複」と表示されます。
「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、表示されている放送局名を切り替えられます。

受信バンドを活用する

地域別のプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録します。すると、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 お出かけ
プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、お出かけキーがONになります。自宅モード選択時にはお出かけキーがOFFになります。

— MEMO
- 地域によっては、実際とは異なる放送局名がリストに表示される場合があります。

リストに自動で登録する（オートプリセット）

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 メニュー ▶ オートプリセット
受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
キャンセル：
オートプリセットを中止する。

— お知らせ
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- オートプリセットを途中で停止させた場合、それまでに受信した放送局は登録されません。

リストに手動で登録する

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 **登録したい放送局を受信**

3 **プリセットチャンネルリスト内の上書きをするチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し**

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

ラジオの放送局リストを利用する

放送局リストとは

走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を表示できるリストです。受信可能な放送局リストからお好みの放送局を選択して受信できます。
FM/AMそれぞれ最大50局表示できます。
放送局リストは リスト更新 をタッチすることで更新できます。

— お知らせ
- 地域によっては、実際とは異なる放送局名がリストに表示される場合があります。

放送局リストから選局する

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 放送局リスト

3 **目的の項目を選択**
選択した放送局が受信されます。

放送局リストを更新する

— お知らせ
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- リスト更新を途中で停止させた場合、その時点で受信した放送局が表示されます。

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 放送局リスト ▶ リスト更新
地域選択で設定している地域の周波数に合わせた放送局名が表示されます。
キャンセル：
リスト更新を中止する。

■ 放送局リストの自動更新について

他のソースを選択している場合や、オーディオOFFの場合は、放送局リストが自動で更新されます。自動更新はFM局にのみ実行されます。
放送局リストの自動更新設定は、以下の方法で切り替えます。（初期値：ON）

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 メニュー ▶ 放送局リストの自動更新
タッチするたびに放送局リストの自動更新のON/OFFが切り替わります。

— MEMO
- 自動更新中にラジオを受信したり、車両の電源をOFFにした場合は、自動更新は中断され、前回の更新結果に戻ります。

ラジオの設定をする

ラジオの受信地域を選択する

受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。自宅モードとお出かけモードでそれぞれ地域を設定できます。

お知らせ
- 走行中は本操作を行えません。

1 **ソース選択画面で** FM/AM

2 メニュー ▶ 地域選択

3 **地域を選択**

オート：
自車位置に応じた地域の放送局を表示する。

4 戻る
受信地域が切り替わります。

テレビを見る

本機では、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。

⚠ 警告

- **運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

MEMO
- 本機は地上デジタル12セグ放送と1セグ放送の自動切り替えができます。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的に1セグ放送に切り替えられます。→ P.116
- テレビ受信中の音量は、ラジオ、DVDなどに切り替えて音量を変えても、次回テレビを受信したときに元の音量で見られます。
- テレビ受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

準備

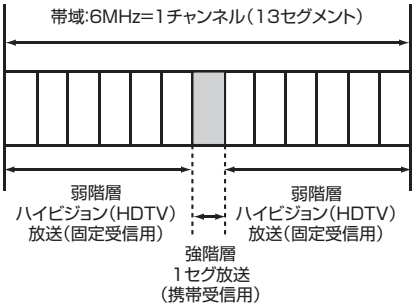
●テレビを受信するには、受信用アンテナが必要です。

地上デジタル放送とは

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。本機では、1セグ／ 12セグの地上デジタル放送を楽しめます。

12セグと1セグについて

日本の地上デジタル放送は、UHF帯域の電波を使用しており、約6MHzの帯域を1つのチャンネルとして13個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の固定受信向けのHDTV放送（弱階層）を行うサービスを12セグと呼びます。1セグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けの簡易動画放送（強階層）を行うサービスです。
1セグは12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は12セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。



マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1つの放送局が図のように周波数帯域を2 ～ 5に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

	A 放送局		
	○○○ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 （デジタルハイビジョン放送）		
7 時	プロ野球 （標準テレビ放送）	ドラマ （標準テレビ放送）	ニュース （標準テレビ放送）
8 時	映画 （デジタルハイビジョン放送）		

上記の例で、6時台は○○○chと△△△chと×××chのすべてを使いプロ野球を放送。7時台は○○○chでプロ野球、△△△chでドラマ、×××chでニュースをそれぞれ放送。8時台は、○○○chと△△△chと×××chのすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。
上記の放送の例では、○○○chをメインチャンネル、△△△chと×××chをサブチャンネルと呼びます。
本機はマルチチャンネルに対応しています。

テレビを見る前に

テレビを視聴するために必要なmini B-CASカードについて説明します。

mini B-CASカードについて

mini B-CASカード（以降、B-CASカード）は、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。
地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。
地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にB-CASカードを入れてください。
地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

⚠ 警告

- **B-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。**

❗ お願い

- B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとカードが故障するおそれがあります。
- B-CASカードの金属端子面は触らないでください。金属端子面に触れるとカードが故障するおそれがあります。
- B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりカードが故障するおそれがあります。
- B-CASカードを磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりカードが故障するおそれがあります。

お知らせ

- B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。
- 試乗車など、不特定、または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
  ※試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

mini B-CASカードを台紙から取る

B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。
B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

お知らせ

- B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記へお問い合わせください。
  株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250
  （AM10：00 ～ PM8：00）（年中無休）
- お問い合わせ時にB-CASカードのID（識別）番号が必要となる場合があります。あらかじめB-CASカードのID番号は控えておいてください。→ P.119

mini B-CASカードのセット

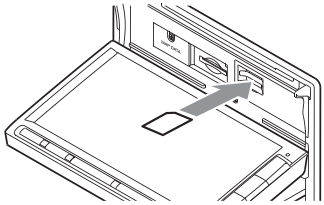
お願い

- B-CASカードの抜き差しは、必ず車両の電源をOFFにした状態で行ってください。
- カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因となります。
- 車から離れるときは、必ず操作パネルを閉じてください。

1 **車両の電源をOFFにする**

2 ⏏ ▶ **パネル開／閉**
操作パネルが開きます。

3 **印字面を上にして、mini B-CASカードをカード挿入口に挿入する**



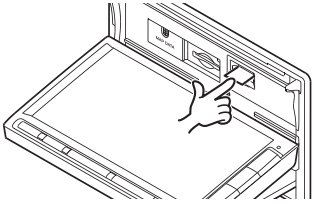
4 ⏏ **または** **パネル開／閉**

お知らせ

- mini B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。

印字面を上にして差し込む

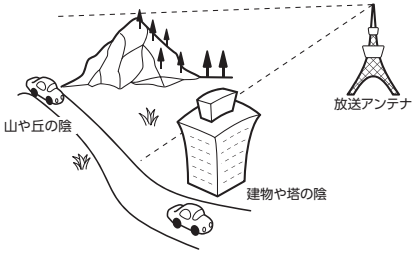
- mini B-CASカードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。奥まで差し込まれていないと、操作パネルが閉じなくなり、受信できません。（カチッと音がするまで差し込みます。）
- mini B-CASカードを抜く場合は、カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。（指先でカチッと音がするまで押して離します。その後、指先でカードをしっかりつまんで手前に抜き取ります。）



テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- ●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- ●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- ●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



はじめてテレビを見るときは

はじめてテレビを見るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶（オートプリセット）させます。

1 **ソース選択画面で** Digital TV

2 設定

設定しない：

テレビ画面に切り替わる。
この場合､放送局のリスト(プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。

3 **テレビを受信する地域を選択**

4 **テレビを受信する地域の郵便番号を入力 ▶** 決定

5 はい

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートプリセットが終了するまで、しばらくお待ちください。

オートプリセットが終了すると、テレビ画面に切り替わります。
画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

戻る：

手動でメニューキーを非表示にする。

何も操作しないまま約8秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

MEMO

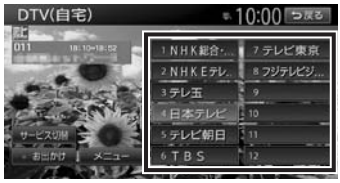
- 手順3、手順4で「設定しない」を選択しても、オートプリセットを実行できます。
- 手順5で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます。
  → P.118「優先エリアを切り替える」

テレビの選局をする

テレビ画面から選局する

1 **ソース選択画面で** Digital TV

2 **画面をタッチ ▶ 放送局を選択**



選択した放送局に切り替わります。

MEMO

- ⏮、⏭ を押すと、チャンネルを切り替えられます。

自動で選局する

1 ソース選択画面で Digital TV

2 ⏮ または ⏭ を長押し
受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

MEMO
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.116

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えられます。
はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 系列局サーチ
走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信できます。→ P.118

MEMO
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.116
- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表（EPG）から選局する

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 番組表

4 ▲、▼、◀、▶ で番組を選択 ▶ 決定

選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：
番組表の表示を1セグ／ 12セグに切り替える。
※「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合のみ→ P.116

更新：
番組表の内容を更新する。

前日：
翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示する。

翌日：
翌日の番組表を表示する。

表示切替：
番組表の表示を、メインチャンネルのみ／全チャンネルに切り替える。

拡大縮小：
4パターンの拡大縮小画面を表示する。

MEMO
- 番組表は、ほかのソース選択時やオーディオパワー OFF時などに、15分ごとに自動で更新されます。
- 現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます。→ P.115

チャンネル番号を入力して選局する

12セグおよび1セグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局できます。

1 **ソース選択画面で** Digital TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 チャンネル番号入力

5 **チャンネル番号を入力 ▶** 決定

お知らせ
- 3桁に満たない番号を入力した場合は、決定 はタッチできません。

MEMO
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、1セグ／ 12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。→ P.116
「1セグ固定」の場合は1セグ3桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は12セグ3桁チャンネル番号のみ選局されます。

テレビのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルリストは、自宅モードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

お知らせ
- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。
- 1セグと12セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。→ P.116

受信バンドを活用する

地域別のプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録します。すると、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
サブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

1 **ソース選択画面で** Digital TV

2 **画面をタッチ**

3 お出かけ
プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、お出かけキーがONになります。自宅モード選択時にはお出かけキーがOFFになります。

リストに自動で登録する（オートプリセット）

1 **ソース選択画面で** Digital TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ オートプリセット
受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

— お知らせ
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートプリセットした結果が全部は登録できない場合があります。

— MEMO
- お出かけモード中で、お出かけ地域を設定している場合は、手順3の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか？」と表示されます。→ P.118「優先エリアを切り替える」
  はい または いいえ をタッチして、オートプリセットを行います。
- オートプリセット中は、キャンセル をタッチして取り消せます。
- オートプリセットを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
  以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートプリセットを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わりません。オートプリセット前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。→ P.118
- 県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートプリセットしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.116
  「1セグ固定」、または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手動で登録する

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 登録したい放送局を受信

4 プリセットチャンネルリスト内の上書きするチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン／サブチャンネルを選局する

受信中のチャンネルにサブチャンネルがある場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えられます。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 プリセットチャンネルリスト内のサブチャンネルに切り替えたいチャンネルを選択

4 サービス切替

サブチャンネルに切り替わります。

— MEMO
- サブチャンネルからメインチャンネルに切り替える場合も、サービス切替 をタッチします。
- 以下の場合、メイン／サブチャンネルの切替はできません。
  - サブチャンネルが放送されていないチャンネル
  - プリセットチャンネルリストに登録されていないチャンネル

テレビの便利な機能を利用する

テレビの番組内容を見る（12セグ放送のみ）

お知らせ
- 走行中は、本操作を行えません。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 番組内容

MEMO
- 番組表（EPG）画面で現在放送中ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。→ P.112
  この場合は、番組内容の概要が表示されます。番組内容の概要は、1セグ選択中でも表示できます。

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかにデータ放送があります。データ放送では、自車位置周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせします。

MEMO
- データ放送がない番組の場合、データ放送画面は表示されません。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ データ放送操作キー呼出

4 d をタッチ
データ放送画面が表示されます。

5 ✥ をタッチ

d：
データ放送の表示／非表示を切り替える。

終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

画面上に操作キーが表示されます。

6 データ放送操作キーを選択

◀ ▲ ▶ ▼：
選択項目を切り替える。

青 赤 緑 黄：
画面に表示されている説明の動作を行う。

戻る：
1つ前の画面に戻る。

決定：
選択している項目を決定する。

0-9：
数字入力メニューに切り替わる。

d：
データ放送の表示／非表示を切り替える。

移動：
操作キーの位置を画面の左右に移動する。

終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

消す：
操作キーの表示を消す。

お知らせ
- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- データ放送取得中は、画面下に「データ取得中」と表示されます。表示が消えてから d をタッチしてください。

緊急放送を見る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に、いち早く視聴者に情報を知らせる放送システムです。
テレビを視聴中に緊急放送がはじまると、画面に「EWS」(Emergency Warning System)、または「緊急放送を受信しました」と表示されます。その後、自動で緊急放送に切り替わります。

放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

MEMO
- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動配信されるメッセージがある場合は、その内容が画面上に表示されます。
テレビ画面で メッセージ消 をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグと1セグ共通の各種設定・編集ができます。

1セグ／12セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送から1セグ放送へ自動的に切り替える設定ができます。
「自動」に設定中は、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルの1セグ放送に自動的に切り替わります。(初期値:自動)
また、1セグ／12セグのみ受信することもできます。

MEMO
- 以下の場合は自動的に切り替わりません。
  - 1セグ放送の受信感度が悪い場合
  - 12セグ放送で視聴していたチャンネルに1セグ放送がない場合

  ただし放送局によっては、1セグ放送を行っていなくても、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12セグ放送と1セグ放送とで番組が異なる場合があります。

1 ソース選択画面で Digital TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 設定

4 [1セグ/地デジ切替] の ◀、▶ で項目を選択

自動：
12セグ放送と1セグ放送を自動で切り替える。
手動で1セグ放送に切り替えても、12セグ放送の受信電波が強くなった場合は12セグ放送に切り替わります。

地デジ固定：
12セグ放送を受信する。
電波が弱くなっても1セグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。

1セグ固定：
1セグ放送を受信する。

MEMO
- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときに1セグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

音声言語を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 [音声]の ◀、▶ で音声を選択
受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。12セグ放送は最大16音声まで、1セグ放送は2音声まで切り替えられます。

MEMO
- 音声を切り替えた後、ほかのチャンネルに切り替えると第1音声に戻ります。同じチャンネルのまま12セグと1セグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 [主/副] の ◀、▶ で音声を選択
「主音声」「副音声」「主/副 音声」から選択します。(初期値：主音声)

MEMO
- 副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

字幕表示を切り替える

字幕の付いた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 [字幕] の ◀、▶ で項目を選択
「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択します。(初期値：非表示)

放送局を自動で切り替える

高校野球中継など、時間内に放送が終わらなかったとき局が変更される番組は、放送局の切り替えを自動で行えます。(初期値：ON)

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 イベントリレー

系列局／中継局を自動で探す

走行中に電波状態が悪化し、受信レベルが回復しない場合、放送局を自動でサーチするように設定できます。(初期値:中継局＋系列局サーチ)

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 放送局自動サーチ設定

5 目的の項目を選択

OFF：
放送局の自動サーチを行わない。

中継局＋系列局サーチ：
走行している地域が変わった場合、その地域の中継局／系列局を自動でサーチする。電波が弱くなり、15秒間受信できなくなると、自動サーチを開始します。

優先エリアを切り替える

県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。(初期値：未設定)
優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 自宅エリア・郵便番号設定
(自宅モード中)、または
お出かけエリア・郵便番号設定
(お出かけモード中)

5 優先させたい地域を選択

設定しない：
エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合に選択する。

6 郵便番号を入力 ▶ 決定

7 はい

いいえ：
オートプリセットを行わず、テレビ画面に戻る。

オートプリセットが開始されます。
→ P.113

放送メールを表示する

お知らせ
- 放送メールの受信が1通もない場合、放送メール はタッチできません。

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 放送メール

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

5 メールを選択 ▶ 決定

選択した放送メールの内容が表示されます。

消去：
放送メールを選択して消去する。
また、すべての放送メールを一括で消去できます。→ P.119「テレビの設定情報を初期化する」

MEMO
- 受信した放送メールは最大8件まで保存されます。8件以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に消去されます。一番古いメールが未読状態でも消去されます。

mini B-CASカード情報を確認する

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 B-CASカード情報

mini B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

テスト：
mini B-CASカードの通信テストを行う。
通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。

テレビの設定情報を初期化する

1 ソース選択画面で Digital TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 設定情報初期化

5 初期化したい設定情報を選択

受信メール消去：
放送メールをすべて消去する。

自宅エリア設定消去：
自宅モードの地域と郵便番号設定を消去する。

お出かけエリア設定消去：
お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去する。

各種設定項目の初期化：
設定メニューで設定した項目を初期化する。プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化、放送メールの消去は行いません。

全データの消去・初期化：
設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化する。また、放送メールをすべて消去する。
画質調整の設定は初期化されません。

消去の確認画面が表示されます。

6 はい

選択した各設定が初期化されます。

お願い
- 初期化メッセージ表示中には、車両の電源をOFFにしないでください。初期化中に車両の電源をOFFにした場合、初期化できないことがあります。

映像／音声のずれを補正する

12セグ／ 1セグ自動切替時の映像／音声のずれを軽減します。(初期値：ON)

1 ソース選択画面で Digital TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 設定
4 遅延補正

テレビの画質を調整する

1 ソース選択画面で Digital TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 設定
4 画質調整
5 調整する項目を選択

6 − または ＋ をタッチ
画面の映像を見ながら画質を調整します。
7 戻る
調整した画質に設定されます。

MEMO
• 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

DVDを見る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。

⚠ 警告

- **運転者がDVDの映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

お知らせ
• 市販のDVD（DVDビデオ）とご家庭で録画されたDVD（DVD-VR）では、画面や操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

DVDを再生する

1 DVDをセットする、または
ソース選択画面で DVD/CD
本機にセットされたDVDが再生されます。

DVDビデオ再生画面

DVD-VR再生画面

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

戻る：
手動でメニューキーを非表示にする。

何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

DVD再生時の操作

再生を停止する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II を長押し

DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。(レジューム停止)
レジューム停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
レジューム停止中に ▶/II を長押しすると、再生が完全に停止します。(完全停止)
次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

お知らせ
- DVDビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、メニュー操作をタッチして、DVDメニューの操作キーから操作を行ってください。

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II をタッチ

DVDの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。
一時停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
一時停止中に ▶/II を長押しすると、DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。(レジューム停止)

MEMO
- 一時停止中に交通情報を聞くと、一時停止が解除され、再生がはじまります。

前／次のチャプターを再生する

1 ⏮ または ⏭

MEMO
- ⏮ を押すとチャプターの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のチャプターに移動します。

早戻し／早送りする

1 再生中に ⏮ (早戻し)、または ⏭ (早送り) を長押し

MEMO
- ⏮ 、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II をタッチ
2 ⏭ を長押し

MEMO
- ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「スロー再生 1/4」と表示されます。

リピート再生をする

お知らせ
- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生できません。

1 ソース選択画面で DVD/CD
2 画面をタッチ
3 リピート

MEMO
- 通常再生に戻す場合は、リピートを再度タッチします。

メニューから再生する（DVDビデオ）

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、見たい映像をすぐに再生できます。

お知らせ
- 表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

1 **ソース選択画面で** DVD/CD

— MEMO —

• DVDメニュー再生中にメニュートップ画面に戻るとタイトルやチャプターなどを直接タッチできます。
[◆] をタッチすると、手順5の画面に切り替わります。

2 **画面をタッチ**

3 メニュー操作

4 トップメニュー **または** メニュー

トップメニュー、または再生中のチャプターのメニューが表示されます。

— お知らせ —

• 「現在その操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

5 ▲、◀、▶、▼ **でメニューを選択** ▶ 決定

選択したメニュー項目が再生されます。

戻る：
1つ前の画面に戻る。

10キー：
メニュー番号を直接入力して、メニュー項目を選択する。

左へ、右へ：
タッチキーを画面の左右に移動する。

クリア：
10キー入力した番号を消去する。

タイトルリストから再生する（DVD-VR）

1 **ソース選択画面で** DVD/CD

2 **画面をタッチ**

3 リスト

4 **見たいタイトルを選択**

選択した項目が再生されます。

番号指定：
タイトルリスト番号を入力する。
入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

5 戻る

プレイリストから再生する（DVD-VR）

プレイリストとは、DVD映像をお好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルです。

1 **ソース選択画面で** DVD/CD

2 **画面をタッチ**

3 プレイリスト **（ONになっていることを確認）**

— MEMO —

• 「プレイリスト」がONのときは、プレイリストが表示されます。「プレイリスト」がOFFのときは、タイトルリストが表示されます。

4 リスト

5 **見たい項目を選択**

選択した項目が再生されます。

番号指定：
プレイリスト番号を入力する。
入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

6 戻る

静止画の切り替えをする（DVD-VR）

— MEMO
• 本機能は、音声の入っていない静止画再生時のみ使用できます。

1 **ソース選択画面で** DVD/CD
2 **画面をタッチ**
3 静止画切替
タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。

— お知らせ
• 静止画切替 をタッチしてもほかのチャプターの静止画は再生されません。ほかのチャプターは ⏮ 、⏭ を押して再生してください。

— MEMO
• チャプター内に静止画が 1 枚しか収録されていない場合などは、「現在その操作はできません」と表示されます。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVDビデオ）

1 **ソース選択画面で** DVD/CD
2 **画面をタッチ**
3 設定 ▶ 10キーダイレクト入力
4 タイトル **または** チャプター
5 **番号を入力**

6 決定 ▶ 戻る ▶ 戻る
入力したタイトル、またはチャプターが再生されます。

DVDの設定をする

字幕言語・音声言語・アングルを切り替える（DVDビデオ）

— お知らせ
• DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

1 **ソース選択画面で** DVD/CD
2 **画面をタッチ**
3 設定 ▶ 音声・字幕・アングル
4 音声 、字幕 、アングル
タッチするたびに音声言語、字幕言語、アングルの設定が切り替わります。

— お知らせ
• 設定できる言語はディスクによって異なります。

— MEMO
• 初期設定で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
•「OFF」で字幕を非表示にできます。

5 戻る

字幕表示・音声を切り替える（DVD-VR）

— お知らせ
• DVDに字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

1 **ソース選択画面で** DVD/CD
2 **画面をタッチ**
3 設定 ▶ 音声・字幕
4 音声 **または** 字幕
タッチするたびに音声、または字幕の設定が切り替わります。

— お知らせ
• 設定できる音声はディスクによって異なります。

5 戻る

画面サイズを切り替える

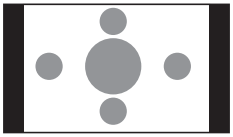
1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 画面切替

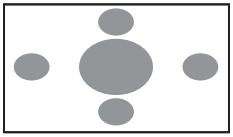
4 画面サイズを選択

ノーマル：



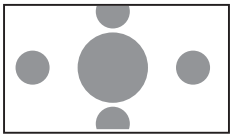
映像を縦横の比率を変えずに中央に表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：



シネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

5 戻る

DVDの画質を調整する

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 画質調整

4 調整する項目を選択

5 − または ＋ をタッチ
画面の映像を見ながら画質を調整します。

6 戻る
調整した画質に設定されます。

MEMO
• 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

DVDの状態表示を設定する

再生画面に、常にチャプター番号と再生時間を表示できます。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 (DVDビデオの場合)
設定 ▶ 初期設定
(DVD-VRの場合)
設定

4 常に状態を表示する
再生状態の表示が設定されます。

MEMO
• 再生状態の表示を解除する場合は、常に状態を表示する を再度タッチします。

DVDビデオの初期設定を変更する

MEMO
- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生がはじまりますが、設定内容によって再生がはじまる位置が異なります。(DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生がはじまることもあります)
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生がはじまります。

DVDのモニターサイズを設定する

1 ソース選択画面で DVD/CD

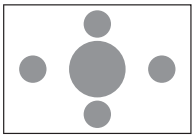
2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 モニターサイズ設定

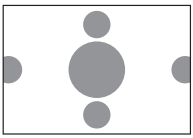
5 モニターサイズを選択

ワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：



画面の上下と映像の高さを合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：

画面の横幅と映像の幅を合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

お知らせ
- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」、または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

優先する言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。

お知らせ
- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 メニュー言語 、音声言語 、字幕言語

いずれかのキーをタッチすると、言語のリストが表示され、再生時に優先する言語を選択できます。

— MEMO —

- 各言語は、英語、日本語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語から選択できます。字幕言語では「OFF」を選択すると、字幕を非表示にできます。

5 言語を選択

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。→ P.126

■ 視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。レベルは1 ～ 8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できない場合があります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル3 ～ 8」の場合のみ、再生できます。
「レベル1 ～ 2」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。
また、パレンタルレベルは国によって異なります。カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。
→ P.211

— お知らせ —

- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルの記載がないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

— MEMO —

- 視聴制限をかけない場合は、本設定は必要ありません。
- パレンタルレベルの初期値は「パレンタルレベルOFF」です。すべてのDVDビデオに対して視聴制限のない状態になっています。

■ パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。（初期値：未設定）

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 パスワード

5 パスワードを入力 ▶ 決定

入力されたパスワードは、「＊＊＊＊」と表示されます。
新規パスワード設定の場合→手順8

6 パスワードの変更

パスワードの消去：
パスワードを消去する。

7 新しいパスワードを入力 ▶ 決定

8 再度同じパスワードを入力 ▶ 決定

新しいパスワードが設定されます。

— MEMO —

- パレンタルレベルを頻繁に変更する場合は、パスワードを消去して「未設定」にしておくと、パスワード入力の手間を省けます。

■ パレンタルレベルを設定する

準備

●パレンタルレベルを設定する場合は、パスワードの設定が必要です。

1 **ソース選択画面で** DVD/CD

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 初期設定

4 視聴制限（パレンタルレベル）

5 **パスワードを入力** ▶ 決定

6 **パレンタルレベルを選択**
パレンタルレベルが設定されます。
OFF：
すべてのDVDビデオに対して視聴制限が解除される。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定してください。（初期値：7480（JAPAN））カントリーコードは、国を識別するためのコードです。→ P.211

1 **ソース選択画面で** DVD/CD

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 初期設定

4 カントリーコード

5 **DVDに記録してある国、または地域のカントリーコードを入力** ▶ 決定

CD、ディスク (MP3・WMA・AAC)の音楽を聴く

本機では、音楽CDのほかに、MP3・WMA・AAC形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

— お知らせ
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

— MEMO
- 以下のディスクを再生すると、アーティスト名、曲名などの情報が表示されます。
  - 本機内蔵、またはオンライン上のデータベース「Gracenote Music Recognition Service℠」から情報が取得できる音楽CD → P.214
  - CD-TEXTの入ったディスク
  - ID3タグ、WMAタグ、AACタグの入ったディスク

  上記以外のディスクを再生した場合は、「Track01」などの番号のみ表示されます。
- ノンストップCD（曲と曲がつながっているCD）を再生した場合、曲間に2 ～ 3秒の無音部分が発生します。

CDを再生する

1 **CDをセットする、または**
ソース選択画面で DVD/CD
本機にセットされたCDが再生されます。

Music Rackの録音に関する設定を行います。→ P.130

— お知らせ
- 本機にSDカードがセットされている場合、操作パネルが完全に閉じるまで再生ははじまりません。

MP3・WMA・AACのディスクを再生する

1 **MP3・WMA・AACディスクをセットする、または**
ソース選択画面で DVD/CD
本機にセットされたディスクが再生されます。

ディスク再生時の操作

早戻し／早送りする

1 **再生中に** ⏮ **(早戻し)、または** ⏭ **(早送り) を長押し**

MEMO
- ⏮、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

1 **再生中に** ⏮ **または** ⏭

MEMO
- ⏮ を押すと曲の先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前の曲に移動します。

前／次のフォルダを再生する (MP3・WMA・AAC再生時)

1 **再生中に** 前フォルダ **または** 次フォルダ
前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。

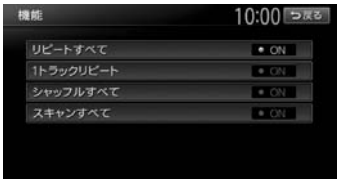
リピート・シャッフル・スキャン再生をする

1 **ソース選択画面で** DVD/CD

2 機能

3 **目的の項目を選択**

(CDの場合)



リピートすべて：
ディスク内の全曲をリピート再生する。
1トラックリピート：
現在再生中の曲のみをリピート再生する。
シャッフルすべて：
現在再生中のCDの全曲をランダムに再生する。
スキャンすべて：
現在再生中のCDの全曲の出だしを10秒間ずつ再生する。

(MP3・WMA・AACの場合)

リピートすべて：
ディスク内の全曲をリピート再生する。
リピートフォルダ：
現在再生中のフォルダ全体をリピート再生する。
1トラックリピート：
現在再生中の曲のみをリピート再生する。
シャッフルすべて：
ディスク内の全曲をランダムに再生する。
シャッフルフォルダ：
現在再生中のフォルダの全曲をランダムに再生する。
スキャンすべて：
ディスク内の全曲の出だしを10秒間ずつ再生する。

タイトルリストから再生する

MEMO
- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 **ソース選択画面で** DVD/CD

2 **(CDの場合)**
トラックリストが表示されます。
(MP3・WMA・AACの場合)
再生中のフォルダを選択
再生中のトラックリストが表示されます。

MEMO
- 再生中以外のフォルダを選択した場合は、トラックリストには切り替わりません。フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭の曲から再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

3 **曲を選択**

CD画面

MP3/WMA/AAC画面

選択した曲から再生がはじまります。

Music Rackを使う

Music Rackに録音する

Music Rackとは、CDの曲をSDカードに録音し、再生する機能のことです。CDを本機にセットしなくても、Music Rackに録音してあれば、そのCDの曲を聴けます。

録音する前にお読みください

Music Rackを使用するにはSDカードが必要です。
録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
万一、本機の故障や誤作動および不具合により録音に支障が生じた場合でも、録音内容および消失した録音データについては補償いたしかねますので、ご容赦願います。
録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。
ノンストップCD（曲と曲がつながっているCD）を録音に使用された場合、曲間に2 ～ 3秒の無音部分をはさんで録音します。

録音についてのご注意

■ 録音時の状態について

以下のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。
●録音中にCDの音が飛んだ
●傷があるなどCDの状態が悪い
●録音中に振動の激しい悪路を走行した

■ 録音中の操作について

録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。
● REC をタッチする
●リピート／スキャン／シャッフル再生
●SDカードを使用した操作（データの取り込み／書き出しなど）

お知らせ
- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。
- 録音中は操作パネルを開閉することはできません。録音中に ▲ ▶ パネル開／閉 をタッチすると、「SDメモリーカードにアクセス中のためオープンできません」というメッセージが表示されます。操作を継続する場合はその指示にしたがってください。

録音中に車両の電源をOFFにすると、処理が中断されます。
次回車両の電源を「ACC」、または「ON」にすると、前回録音していた曲の先頭から録音がはじまります。

手動で録音する

1 **CD再生中に** REC

2 **希望の録音方法を選択**

全曲録音：
再生中のCDのすべての曲を録音する。
アルバムの先頭から録音されていない曲の録音がはじまります。

現在の曲を録音：
再生中の曲を録音する。
曲の先頭に戻り、録音がはじまります。

曲を指定して録音：
録音したい曲をリストから複数選択して録音する。
リストから曲を選択して 録音開始 をタッチすると、先頭に近い曲から順に録音がはじまります。

MEMO
- 録音モード選択画面にディスクの情報やSDカードの情報が表示されます。SDカードの空き容量が1MB未満の場合、空き容量に「1MB未満です」と表示されます。

自動で録音する

1 メニュー ▶ 設定

2 オーディオ ▶ その他設定 ▶ 録音設定

3 CD挿入時に自動録音

4 **SDカードを本機にセット**

5 **CDを再生する**
自動的に録音がはじまります。
次回からCDを本機にセットすれば、自動的に録音がはじまります。

お知らせ
- すでにCD全曲の録音が済んでいる場合は、録音は行いません。
- 自動録音を解除するには、CD挿入時に自動録音 を再度タッチしてOFFにします。

Music Rackについて

Music Rackの仕様は、以下のとおりです。

録音可能曲数
最大4000曲（アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できる曲数：最大99曲）
※ただし、SDカードの容量により録音できる曲数は異なります。(4GBのSDカードはおよそ1000曲です。)

録音できる音源音楽
音楽CDのみ

音質
AACという音声圧縮技術を採用しています。CDの音質を損なわず、容量を約1/20に圧縮できます。

本機は、SCMS（Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号どうしのコピーを〈1世代まで〉と規制しています。
したがって、以下の操作を本機で行えません。
- 本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDをMusic Rackに録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service℠のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。

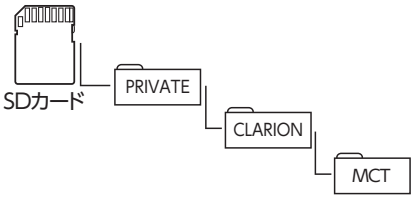
お知らせ
- 情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

MEMO
- Gracenote Music Recognition Service℠のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。
→ P.134「アルバム情報を更新する」

録音した音楽データについて

■ 録音した音楽データのバックアップ

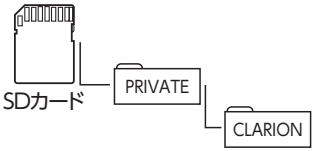
録音した音楽データはSDカード内の以下のフォルダに保存されます。



お使いのパソコンに、このフォルダをそのまま保存することでバックアップできます。

■ バックアップした音楽データの復元

バックアップした音楽データフォルダ「MCT」をSDカード内の下記フォルダに書き戻すことで復元できます。



すでに上記フォルダ内に「MCT」フォルダが存在する場合は、バックアップ、または消去してください。

お願い
- 「MCT」フォルダ内に存在するファイルおよびフォルダの消去や変更は絶対に行わないでください。Music Rackが正常に動作しなくなる可能性があります。
- SCMSでは、デジタル信号どうしのコピーを〈1世代まで〉と規制しています。→ P.130
これらの操作は、録音データ保存以外の目的では行わないでください。

Music Rackを再生する

お知らせ
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。
- 再生中に操作パネルを開くと、再生が停止します。
- 再生時間は、録音元のCDとは異なります。

1 **SDカードを本機にセット**

2 **ソース選択画面で** Music Rack

Music Rack内の曲が再生されます。

Music Rack再生時の操作

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）を長押し**

MEMO
- ⏮、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**

MEMO
- ⏮ を押すと曲の先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前の曲に移動します。

前／次のアルバムを再生する

1 **再生中に 前アルバム または 次アルバム**

前／次のアルバムに移動し、アルバム内の先頭の曲が再生されます。

リピート・シャッフル・スキャン再生をする

1 **ソース選択画面で Music Rack**

2 **機能**

3 **目的の項目を選択**

選択した動作での再生がはじまります。

リピートすべて：
全アルバムの全曲をリピート再生する。

リピートアルバム：
現在再生中のアルバム全体をリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中の曲のみをリピート再生する。

シャッフルすべて：
全アルバムの全曲をランダムに再生する。

シャッフルアルバム：
現在再生中のアルバムの全曲をランダムに再生する。

スキャンすべて：
全アルバムの各曲の出だしを10秒間ずつ再生する。

リストから再生する

1 **ソース選択画面で Music Rack**

2 **再生中のアルバム名を選択**

トラックリストが表示されます。

MEMO
- 再生中以外のアルバムを選択した場合は、アルバムリストが表示されたまま先頭の曲から再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じアルバムを選択します。

3 **曲を選択**

選択した曲が再生されます。

アーティスト名から再生する

1 **ソース選択画面で Music Rack**

2 **設定 ▶ アーティスト検索**

3 **アーティスト名を選択**

4 **アルバムを選択**

選択したアルバムの先頭から再生がはじまります。

MEMO
- 選択演奏中は、選択演奏の対象となっているアーティスト、またはアルバムのみが検索対象となります。→ P.133

条件から複数のアルバムを選んで再生する

以下の方法から、複数のアルバムを指定して再生できます。
●アルバムリストからアルバムを指定する
●アーティストのすべてのアルバムを指定する

1 **ソース選択画面で** Music Rack
2 設定 ▶ 選択演奏
3 アルバム選択 **または** アーティスト選択
選択演奏解除：
選択演奏を中止する。
4 **アルバム、またはアーティスト名を選択** ▶ 決定
選択した項目が再生されます。

お知らせ
- 決定 をタッチした直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できない場合があります。

アルバム・トラック情報を編集する

お知らせ
- 選択演奏中および録音中は、タイトル編集 および アルバム並べ替え は操作できません。
- アルバム・トラック情報の編集中や操作直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できない場合があります。

アルバム名、アーティスト名を編集する

1 **ソース選択画面で** Music Rack
2 設定 ▶ タイトル編集
3 **アルバムを選択**
4 アルバム **または** アーティスト
5 **アルバム名、またはアーティスト名を入力** ▶ 決定

MEMO
- アルバム名、アーティスト名は全角・半角で32文字まで入力できます。
- 文字入力について詳しくは、「文字パネルを操作する」をご覧ください。→ P.20

アルバムを消去する

お知らせ
- 一度消去したアルバムは元に戻せません。

1 **ソース選択画面で** Music Rack
2 設定 ▶ 曲の消去
3 **消去するアルバムをすべて選択** ▶ 決定
4 はい

アルバムの再生順序を並べ替える

1 **ソース選択画面で** Music Rack
2 設定 ▶ アルバム並べ替え
3 **移動させたいアルバムを選択**
4 **移動先を選択**
選択した位置にアルバムが移動します。
確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生がはじまります。

曲名を編集する

1 **ソース選択画面で** Music Rack
2 設定 ▶ タイトル編集
3 **編集する曲を含むアルバムの** 詳細
トラックリストが表示されます。
4 **曲を選択**
5 **曲名を入力** ▶ 決定

MEMO
- 曲名は全角・半角で32文字まで入力できます。
- 文字入力について詳しくは、「文字パネルを操作する」をご覧ください。→ P.20

曲を消去する

お知らせ
- 一度消去した曲は元に戻せません。

1 **ソース選択画面で** Music Rack
2 設定 ▶ 曲の消去
3 **消去する曲を含むアルバムの** 詳細
トラックリストが表示されます。
4 **消去する曲をすべて選択** ▶ 決定
5 はい

アルバム情報を更新する

新譜など、本機に内蔵のデータベースにアルバム情報が含まれていない場合は、曲名などが正しく表示されないことがあります。
その際は、SDカードとパソコンを使用してGracenoteサーバーから最新のアルバム情報を取得してください。
本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのPC用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります。→ P.163
SDカードを使用して、以下の流れでアルバム情報を取得します。

1 **ソース選択画面で** Music Rack
2 設定 ▶ タイトル編集
▶ 未取得タイトル情報書き出し
3 **アルバムを選択** ▶ 決定
4 はい
選択したアルバム情報がSDカードに書き出されます。

ここからはお手持ちのパソコンでの操作です。

5 **お使いのパソコンにて、「ナビマスター S」のCDタイトルキャッチャー機能を使用し、SDカードへアルバム情報を保存する**
アルバム情報が更新されます。

MEMO
- CDタイトルキャッチャー画面上のヘルプボタンをクリックすると、CDタイトルキャッチャー機能の取扱説明書を参照できます。

ここからは本機での操作です。

6 **ソース選択画面で** Music Rack
7 設定 ▶ タイトル編集
▶ タイトル取得
8 SDメモリーカード
SDカード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

SDカード・USBメモリーの音楽を聴く／ビデオを見る

本機では、お手持ちのSDカードやUSBメモリーに保存した音楽やビデオを視聴できます。
SDカードやUSBメモリーを使用して再生できるファイルは、以下のとおりです。
●MP3/WMA/AAC形式のミュージックファイル
●MPEG4/WMV/H.264形式のビデオファイル

⚠ 警告

- **運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

❗ お願い

- USBメモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のUSBメモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- 本機にiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。

MEMO

- SDカードおよびUSBメモリー内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。

SDカードを再生する

1 **SDカードをセット**

2 **ソース選択画面で** SDメモリーカード
SDカードのファイルが再生されます。

USBメモリーを再生する

1 **USBメモリーを接続する**

2 **ソース選択画面で** USB/iPod
USBメモリーのファイルが再生されます。

SDカード・USBメモリー再生時の操作

ミュージックモードとビデオモードを切り替える

1 **ソース選択画面で** SDメモリーカード **または** USB/iPod

2 モード切替

3 ミュージック **または** ビデオ
選択した再生モードに切り替わります。

ビデオ画面

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

戻る：
手動でメニューキーを非表示にする。

何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

再生を停止する（ビデオ）

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II を長押し**

ビデオの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）
レジューム停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

一時停止する（ビデオ）

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II をタッチ**

ビデオの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。
一時停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
一時停止中に ▶/II を長押しすると、ビデオの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮ （早戻し）、または ⏭ （早送り）を長押し**

— MEMO —
- ⏮ 、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**

— MEMO —
- ⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。

フォルダリスト／トラックリストから再生する

— MEMO —
- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 **ソース選択画面で SDメモリーカード または USB/iPod**

2 **（ミュージックの場合）再生中のフォルダを選択**

— MEMO —
- 再生中以外のフォルダを選択した場合は、トラックリストには切り替わりません。フォルダリストが表示されたまま、先頭の曲から再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

（ビデオの場合）画面をタッチ ▶ フォルダリスト ▶ 再生中のフォルダを選択

トラックリストが表示されます。

— MEMO —
- 手順2の画面で トラックリスト をタッチすると、再生中のフォルダのトラックリストが表示されます。

3 **曲またはビデオを選択**

選択した曲またはビデオから再生がはじまります。

前／次のフォルダを再生する（ミュージック）

1 **再生中に** 前フォルダ **または** 次フォルダ
前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。

リピート・シャッフル・スキャン再生をする

1 **ソース選択画面で** SDメモリーカード **または** USB/iPod

2 機能

3 プレイモード切替

4 **目的の項目を選択**

※画面はミュージックの場合です。

リピートすべて：
すべての曲またはビデオをリピート再生する。

リピートフォルダ：
現在再生中のフォルダ内のすべての曲またはビデオをリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中の曲またはビデオのみをリピート再生する。

シャッフルすべて：
全フォルダからランダムにフォルダを選択する。さらにそのフォルダ内からランダムに選択した曲を再生する。（ミュージックのみ）

シャッフルフォルダ：
現在再生中のフォルダの全曲をランダムに再生する。（ミュージックのみ）

スキャンすべて：
全曲の出だしを10秒間ずつ再生する。（ミュージックのみ）

SDカード・USBメモリーの設定をする

SDカード・USBメモリーの画面サイズを切り替える（ビデオ）

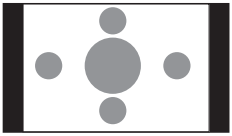
1 **ソース選択画面で** SDメモリーカード **または** USB/iPod

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 画面切替

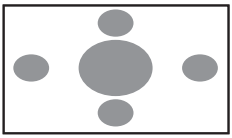
4 **画面サイズを選択**

オリジナル：



映像をサイズを変えずに中央に表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

5 戻る

SDカード・USBメモリーの画質を調整する（ビデオ）

1 **ソース選択画面で** SDメモリーカード **または** USB/iPod

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 画質調整

4 **調整する項目を選択**

5 **－ または ＋ をタッチ**
画面の映像を見ながら画質を調整します。

6 戻る
調整した画質に設定されます。

MEMO
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

状態表示を設定する（ビデオ）

ビデオの再生画面に、常に再生状態（フォルダ番号、トラック番号）を表示できます。

1 **ソース選択画面で** SDメモリーカード **または** USB/iPod

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 初期設定

4 常に状態を表示する
再生状態の表示が設定されます。

MEMO
- 再生状態の表示を解除する場合は、常に状態を表示する を再度タッチします。

アルバムアートワークを表示する（ミュージック）

SDカード、またはUSBメモリーに取り込まれているアルバムアートワーク（ジャケット写真）を表示できます。

1 **ソース選択画面で** SDメモリーカード **または** USB/iPod

2 機能 ▶ アルバムアートワークの表示

MEMO
- アルバムアートワークの取得には、数秒かかることがあります。

iPodミュージックを聴く／ iPodビデオを見る

本機では、iPodを接続してiPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。
接続方法については、クイックガイドをご覧ください。

⚠ 注意

- **走行中は、iPod本体の操作はしないでください。**
- **iPodは、安全な場所に置いてご使用ください。**

❗ お願い

- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のiPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- 万一iPodが操作不能になったときはiPodをリセットし、再接続してください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。
  リセット方法の例
  - iPodの場合：
    「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に長押しします。
  - iPod touchの場合：
    「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に長押しします。
    ※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。

お知らせ

- iOS 6.1以降のiPod touch、iPhoneと本機を接続した場合、iPod側から操作できます。
  上記以外はiPod側からの操作はできません。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

MEMO

- ミュージックファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ対応iPodにおいてビデオ再生中に接続した場合は、iPodにより再生位置が異なることがあります。ビデオを見る場合、再度ビデオファイルを選択してください。

接続できるiPod

Made for iPod iPhone

本機は第5世代iPod®、iPod classic®、iPod nano®、iPod touch®、iPhone® 3G、iPhone 3GS、iPhone 4、iPhone 4s、iPhone 5、iPhone 5s、iPhone 5cに対応しています。
詳しくは以下の表をご覧ください。なお、iPodは本機に付属していません。お手持ちのiPodをお使いください。Dockコネクタ搭載のiPodを再生するには、別売のビデオ対応iPodケーブルが必要です。Lightningコネクタ搭載のiPodを再生するには、iPod/iPhoneに付属のケーブルを使用します。別売のUSB接続ジャックの差込部は、車両ごとに取付位置が異なります。

接続可能なiPod	備考
iPod（第5世代）	ビデオ再生可
iPod classic（80GB、120GB、160GB）※1	ビデオ再生可
iPod nano（第1世代、第2世代）	
iPod nano（第3世代、第4世代※1、第5世代）	ビデオ再生可
iPod nano（第6世代）	
iPod nano（第7世代）	ビデオ再生不可
iPod touch（第1世代※2,※3）	ビデオ再生不可
iPod touch（第2世代、第3世代、第4世代）	ビデオ再生可
iPod touch（第5世代）	ビデオ再生不可
iPhone 3G/iPhone 3GS/iPhone 4/iPhone 4s	ビデオ再生可
iPhone 5、iPhone 5s、iPhone 5c	ビデオ再生不可

※1 ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。1つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。
※2 ソフトウェア2.0以降では、ビデオを再生することができます。ソフトウェアが2.0より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。
※3「On-The-Go」は再生できません。iTunes®と同期後はプレイリストとして再生できます。

お願い

- 車両の電源をOFFにした後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗するおそれがあります。

お知らせ

- iPad®シリーズには対応しておりません。
- iPodの動作についてはすべてを保証するものではありません。
- iPodの接続対象機種一覧に記載があっても、iPodの機種やソフトウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。
- 接続可能な機種の情報については、以下をご覧ください。
  http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist

MEMO
- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することで操作可能になるときがあります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しないことがあります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- iPodの機種によっては再生対象の曲やビデオの数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPod touch、またはiPhoneをBluetooth接続している状態で、Bluetoothオーディオ再生、またはハンズフリー通話を行うと、iPodモードで音声が出力されないことがあります。iPod touch、iPhone本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（Gathers）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- Podcastなどを再生するとき、データのダウンロードが正常に完了していないと再生できないことがあります。

iPodミュージックを再生する

準 備

●Dockコネクタ搭載のiPodは、別売のビデオ対応iPodケーブルを別売のUSB接続ジャックに接続します。
●Lightningコネクタ搭載のiPodは、iPod/ iPhoneに付属のケーブルを別売のUSB接続ジャックに接続します。

1 iPodを接続する

2 ソース選択画面で USB/iPod

iPod内の曲が再生されます。

MEMO
- ビデオモードで再生された場合は、条件を指定して再生するとiPodミュージックに切り替えられます。→ P.143

iPodビデオを再生する

⚠ 警告

- **運転者がiPodビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみiPodビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

❗ お願い

- iPod接続の際は、ビデオ対応iPodケーブル以外は使用しないでください。

MEMO
- iOSのバージョンによっては、iPodビデオ再生時に映像が表示されない場合があります。その際は、iPod側でミュージックアプリケーションをフォアグランドにすることで症状が改善される場合があります。

準 備

●別売のビデオ対応iPodケーブルを別売のUSB接続ジャックに接続します。
●別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子と音声端子を、別売のVTRコードに接続します。
●iPodの接続方法を「USB+VTR接続（アナログ音声）」に設定します。→ P.144

1 **iPodを接続する**

2 **ソース選択画面で** USB/iPod

iPodビデオが再生されます。
画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

戻る：
手動でメニューキーを非表示にする。

何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

MEMO
- ミュージックモードで再生された場合は、条件を指定して再生するとiPodビデオの映像に切り替えられます。→ P.143

iPod再生時の操作

一時停止する

1 **(ミュージックの場合)**
▶/II をタッチ
(ビデオの場合)
再生中に画面をタッチ ▶
▶/II をタッチ
ミュージック、またはビデオの再生が一時停止します。
ビデオモードでは、映像が表示された状態で一時停止します。
一時停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮ (早戻し)、または ⏭ (早送り) を長押し**

MEMO
- ⏮ 、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラック・チャプターを再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**
チャプターのあるビデオを再生中は、前、または次のチャプターの先頭から再生されます。

MEMO
- ⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。

リピート・シャッフル再生をする

1 **ソース選択画面で** USB/iPod

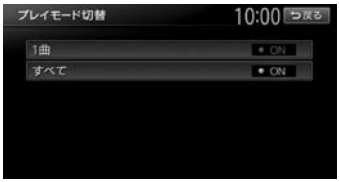
2 機能

3 シャッフル **または** リピート

4 **目的の項目を選択**
(シャッフルの場合（ミュージックのみ))

オフ：
シャッフル再生を解除する。
曲：
現在再生中のアルバム内の全曲をランダムに再生する。
アルバム：
全アルバムをランダムに再生する。
アルバム内の曲は順番に再生されます。

（リピートの場合）



1曲：
現在再生中の曲またはビデオのみをリピート再生する。

すべて：
iPod内のすべての曲またはビデオをリピート再生する。

選択した動作での再生がはじまります。

— お知らせ
- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。

— MEMO
- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

タイトルリストから再生する（ミュージック）

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 曲を選択

条件を指定して再生する

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 メニュー

— MEMO
- メニュー をタッチすると、最後に表示したリスト画面が表示されるため、手順4 ～ 5の画面に進む場合があります。手順3の画面を表示させるには メニュー を長押ししてください。

3 ミュージック または ビデオ

4 目的の項目を選択

— MEMO
- 選択できる項目例：

（ミュージックの場合）
- プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

（ビデオの場合）
- ビデオプレイリスト／ムービー／ミュージックビデオ／テレビ番組／ビデオPodcast ／レンタルした映画など

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。
リスト表示中に何も操作しないまま約10秒が過ぎると、iPod再生画面に戻ります。

5 曲またはビデオを選択

— MEMO
- 手順3 ～ 5で 再生画面 をタッチすると、iPod再生画面に切り替わります。
- 手順4 ～ 5で メニュー をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。押し続けると、手順3の画面に戻ります。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

iPodの設定をする

iPodビデオの画質を調整する

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 画質調整

3 調整する項目を選択

4 − または ＋ をタッチ
画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

— MEMO
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

iPodの接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USB接続」または「USB＋VTR接続（アナログ音声）」から選択します。（初期値：USB接続）

準 備

- 別売のビデオ対応iPodケーブルを別売のUSB接続ジャックに接続します。
- 別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子と音声端子を、別売のVTRコードに接続します。

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 機能 ▶ 接続方法

3 接続方法を選択

USB接続：
iPodではミュージックモードのみの対応にする。
iPodビデオモードへの切り替えはできません。

USB＋VTR接続（アナログ音声）：
VTR端子をiPodの映像、音声入力として使用する。
iPodでは、ミュージックモードとビデオモードの切り替えができます。
この設定を行うとソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR機器はご利用できません。
「USB＋VTR接続（アナログ音声）」に設定している場合は、別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子と音声端子を、別売のVTRコードに接続する必要があります。

4 iPodの接続を一度解除し、再度接続する

アルバムアートワークを表示する（ミュージック）

iPodに取り込まれているアルバムアートワーク（ジャケット写真）を表示できます。

1 ソース選択画面で USB/iPod

2 機能 ▶ アルバムアートワークの表示

MEMO

- アルバムアートワークの取得には、数秒かかることがあります。

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

お願い

- ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

お知らせ

- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオ機器（例 iPod/iPhoneなど）によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetoothオーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- Bluetoothオーディオは、本機からの自動接続を行いません。接続したいオーディオ機器を操作し、接続を行ってください。

MEMO

- Bluetoothオーディオ機器は、ハンズフリー機器とあわせて5台までペアリングできます。すでに5台ペアリングしている場合は、ペアリングの情報を1台分消去してから、新しく登録してください。
- iPhoneをBluetoothオーディオとして再生中、iPhone側でBluetooth画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断し、再度接続してください。

準備

●オーディオ機器を本機に登録（ペアリング）します。→ P.90

Bluetoothオーディオを再生する

お知らせ

- Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオ機器側から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

Bluetoothオーディオが再生されます。

MEMO

- Bluetoothオーディオ機器によっては、自動で再生が開始されないことがあります。その場合は、▶/II をタッチするか、またはBluetoothオーディオ機器側で再生させてください。
- 再生を一時停止、または再開するには ▶/II をタッチします。
- Bluetoothオーディオ機器によっては、メニュー および トラックリスト が表示されない場合があります。

Bluetoothオーディオ再生時の操作

早戻し／早送りする

1 再生中に ⏮ （早戻し）、または ⏭ （早送り）を長押し

MEMO

- ⏮ 、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

1 再生中に ⏮ または ⏭

— MEMO
- ⏮ を押すと曲の先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前の曲に移動します。

トラックリストから再生する

— お知らせ
- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

— MEMO
- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動しているかどうかを確認してください。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

2 トラックリスト

3 曲を選択

選択した曲の再生がはじまります。

条件を指定して再生する

フォルダやカテゴリーから、再生したい曲を探して再生できます。

— お知らせ
- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

— MEMO
- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動しているかどうかを確認してください。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

2 メニュー

3 目的の項目を選択

— MEMO
- 選択できる項目は、Bluetoothオーディオ機器によって異なります。

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。
リスト表示中に何もタッチしないで10秒が過ぎると、Bluetoothオーディオ再生画面に戻ります。

4 曲を選択

— MEMO
- 手順3、4で 再生画面 をタッチすると、Bluetoothオーディオ再生画面に切り替わります。
- 手順3、4で メニュー をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。長押しすると、手順2の画面に戻ります。

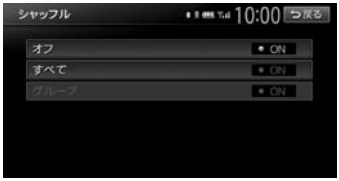
リピート・シャッフル再生をする

お知らせ
- この機能は、AVRCP Ver1.3以上に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

2 機能 ▶ シャッフル または リピート

3 目的の項目を選択



※画面はシャッフルの場合です。

(シャッフルの場合)

オフ：
全曲シャッフル、またはグループシャッフルを解除する。

すべて：
Bluetoothオーディオ内の全曲をランダムに再生する。

グループ：
現在再生中のグループ内の全曲をランダムに再生する。

(リピートの場合)

1曲：
現在再生中の曲のみをリピート再生する。

すべて：
Bluetoothオーディオ内の全曲をリピート再生する。

グループ：
現在再生中のグループ内の全曲をリピート再生する。

接続するBluetoothオーディオ機器を切り替える

本機に複数のBluetoothオーディオ機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

2 接続機器の選択

3 接続したい機器を選択→ P.92

MEMO
- Bluetoothオーディオ再生画面の「使用機器1」、または「使用機器2」をタッチしても、接続する機器を切り替えられます。

Memo

各種設定

ナビゲーションに関するさまざまな操作、オーディオの音質、画面表示などをお好みで設定できます。

設定メニュー画面から各種設定を行う…… 150
ナビゲーションの設定をする…… 150
地図上のアイコンの設定をする…… 151
走行軌跡の設定をする…… 151
ルート案内の設定をする…… 152
交差点ガイドの設定をする…… 153
案内音声の設定をする…… 153
到着予想時刻の計算基準速度を設定する…… 154
オートリルートについて…… 154
VICS情報の設定をする …… 154
ルート探索条件の設定をする…… 155
探索条件の設定をする…… 155
ルートの学習の設定をする…… 155
その他の探索条件を設定する…… 156
その他のナビゲーション設定をする…… 156
自車位置を修正する…… 157
言語の選択をする…… 157
その他の設定をする…… 157
オーディオの音質を設定する…… 158
ヴォーカルの音量バランスと
サラウンドサウンドを調整する…… 159
スピーカーの音量バランスを調整する…… 159
音質効果メモリーを選んで設定する…… 159
お好みの音質効果を設定する…… 160
Volume Smootherを調整する …… 160
オーディオ設定を初期値に戻す…… 161
画面の設定をする…… 161
昼画面と夜画面を切り替える…… 161
ナビゲーション画面の画質を調整する…… 161
目的地メニュー画面の表示項目を入れ替える…… 161
オープニング画面の設定をする…… 162
ナビゲーションの音量を調整する…… 162
SDカードのデータを編集する …… 162
ナビマスター Sについて …… 163
登録地点を書き出す…… 163
登録地点を取り込む…… 163
登録地点のグループ名を変更する…… 163
登録地点を消去する…… 163
オープニング画面の取り込み…… 164
TVサーチ情報の取り込み …… 164
OPTIONボタンの操作方法 …… 165
OPTIONボタンに機能を割り付ける …… 165

設定メニュー画面から各種設定を行う

設定メニュー画面では、ナビゲーションやオーディオなどに関するさまざまな設定ができます。
この操作は、設定メニュー画面から行います。

MENU ▶▶ 設定 ▶▶

設定メニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

ナビゲーションの設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 目的の項目を選択

登録データの編集・消去：
自宅、登録地点、登録ルートの編集・消去を行う。
- 自宅→ P.26
- 登録地点→ P.58
- 登録ルート→ P.60
- 登録の消去
  → P.51「目的地の履歴を消去する」、
  → P.59「リストから地点を消去する」、
  → P.60「リストからルートを消去する」
- SDメモリーカードに登録地点をバックアップ→ P.163
- バックアップデータの取り込み
  → P.163
- SDメモリーカード内バックアップデータの消去→ P.163

地図表示変更：
地図表示モードの切り替えを行う。
→ P.33

アイコンの表示：
地図上に表示されるアイコンに関する設定を行う。→ P.151

軌跡の設定：
地図上に表示される軌跡（車の走行跡）に関する設定を行う。→ P.151

ルート案内の設定：
ルート案内時の案内表示、音声案内に関する設定を行う。→ P.152

VICSの設定：
VICS情報に関する設定を行う。
→ P.154

ルート探索条件の設定：
ルート探索条件に関する設定を行う。
→ P.155

その他の設定：
その他、ナビゲーションの便利な設定を行う。→ P.156

地図上のアイコンの設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 アイコンの表示

3 目的の項目を選択

施設アイコンの表示：
地図上に表示される施設を示すアイコンの種類を選択する。（初期値：カーディーラー（Honda Carsのみ）、中古車販売（ホンダオートテラス店のみ）がON）
・複数のジャンルを選択できます。
・詳細 をタッチすると、ジャンル内のブランドまで指定できます。

検索アイコンの表示：
周辺検索で探した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える。（初期値：ON）→ P.45「自車位置周辺／目的地周辺から探す」

検索アイコンの消去：
検索アイコンの表示を地図上から消去する。→ P.48

交通事故多発地点の表示：
交通事故多発地点アイコン を地図上に表示するかどうかを選択する。（初期値：OFF）
200m以下のスケールで表示されます。市街地図、立体地図では表示されません。

走行軌跡の設定をする

車が走行すると、設定された間隔でポイントが置かれます。これを走行の軌跡情報といいます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 軌跡の設定

3 目的の項目を選択

軌跡の表示：
地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える。（初期値：ON）
→ P.74「ルート案内中の地図画面」

軌跡の間隔：
走行軌跡のポイントを置く間隔を設定する。（初期値：200m）
選択した間隔ごとにポイントが置かれます。走行軌跡のポイントは、3,000を超えると古いものから順に消去されます。
軌跡の間隔を長く設定すると、長い距離の軌跡を表示できるようになります。

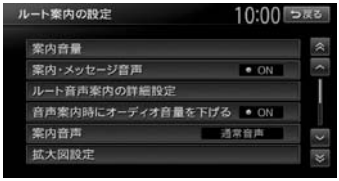
軌跡の消去：
走行軌跡の記録（本機への保存情報）を消去する。
一度消した走行軌跡は再度表示できません。

ルート案内の設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート案内の設定

3 目的の項目を選択



案内音量：
音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。（初期値：レベル6）

お知らせ
- 走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。

案内・メッセージ音声：
音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択する。（初期値：ON）

ルート音声案内の詳細設定：
音声案内や案内表示に関する詳細設定を行う。
- 交差点ガイド設定→ P.153
  交差点での音声案内および案内表示を設定する。
- レーンガイド
  ルート案内中の通過交差点に対して、レーン規制に注意が必要な場合に音声で案内をする。（初期値：ON）
- 料金ガイド（初期値：ON）
- 合流ガイド（初期値：ON）
- 踏み切りガイド
  踏み切りでの音声案内および案内表示を設定する。（初期値：案内中に表示する）

音声案内時にオーディオ音量を下げる：
音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる。（初期値：ON）

案内音声：
音声案内の言語を選択する。（初期値：通常音声）→ P.153

拡大図設定：
高速入口と高速分岐において、拡大図を表示するかどうかを、それぞれ選択する。
- 高速入口の画像表示（初期値：ON）
  → P.75
- 高速分岐の画像表示（初期値：ON）
  → P.76

到着予想時刻の表示切替：
到着予想時刻を表示する地点を設定する。（初期値：目的地）

AV画面での割り込み：
オーディオ画面表示中の、交差点案内の割り込み表示／非表示を切り替える。（初期値：ON）
「ON」に設定すると、オーディオOFFの画面の状態でも、交差点案内は表示されます。

到着予想時刻の速度設定：
到着予想時間を計算するための基準となる速度を設定する。→ P.154

その他の設定：
ルート案内に関するその他の設定をする。
- 一般道の方面看板表示／通過交差点の情報表示
  一般道の方面看板表示と通過交差点の情報表示をするかどうかを、それぞれ選択する。（初期値：常時表示する）
- オートリルート
  ルート案内中、ルートを外れてしまったときに、自動的に元のルートに戻るように再設定する。（初期値：ON）
  → P.154
- ETCレーンの表示
  本機に接続しないETCユニットをお車に装着した場合に使用する。（初期値：ON）
  設定がONの場合は、ETCレーンガイドにてETCレーン側を案内します。また、設定がOFFの場合は、一般レーン側を案内します。

お知らせ
- ETCユニットがナビに接続されているときは、「ETCレーンの表示」の項目は表示されません。

交差点ガイドの設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート案内の設定

3 ルート音声案内の詳細設定

4 交差点ガイド設定

交差点ガイド設定画面が表示されます。
現在の設定状態が、画面右側の「ジャストガイド」「交差点ガイド」「事前ガイド」に表示されます。

5 **目的の項目を選択**

ジャストガイド：
交差点直前で音声案内を行う。（初期値：ON）

ランドマークガイド：
交差点でのランドマーク表示と、ランドマークを含めた音声案内を行う。（初期値：ON）
例：「ON」の場合
まもなく、○○○（施設名）の手前を右方向です。
「OFF」の場合
まもなく、右方向です。

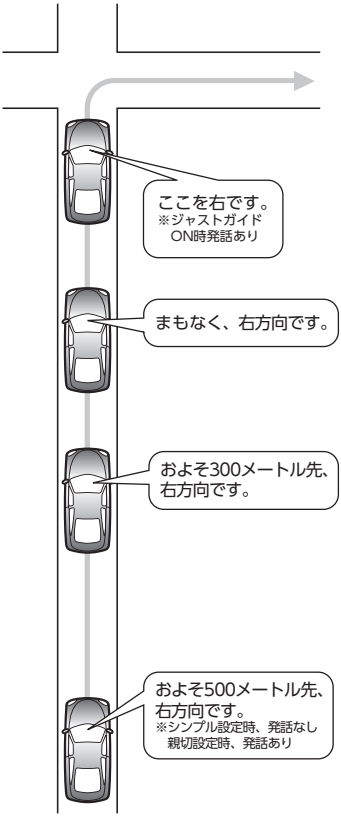
親切設定：
交差点の500m手前と300m手前で、事前に音声案内を行う。

シンプル設定：
交差点の300m手前で音声案内を行う。

■ ガイド設定と音声案内回数

	シンプル設定 ON	親切設定 ON
ジャストガイド ON	音声案内3回	音声案内4回
ジャストガイド OFF	音声案内2回	音声案内3回

■ 一般道でのガイド位置と発話内容



案内音声の設定をする

音声案内の声を選択できます。

お知らせ

- 案内音声使用時は、現在地 を長押ししても音声案内を行いません。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート案内の設定

3 案内音声

4 **音声を選択**

選択した音声が設定されます。

到着予想時刻の計算基準速度を設定する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート案内の設定

3 到着予想時刻の速度設定

4 各設定の ＋ または － をタッチ

到着予想時刻の計算基準となる速度が設定されます。（初期値：自動計算）

自動計算：
統計交通情報などを考慮して、自動で速度を設定する。
この設定がONのときは、下記、道路の種類ごとの速度設定は考慮されません。

高速道路：
高速道路走行時の速度を5 ～ 120km/hに設定する。

その他有料道路：
有料道路走行時の速度を5 ～ 100km/hに設定する。

国道・都道府県道・主要道：
国道・都道府県道・主要道走行時の速度を5 ～ 80km/hに設定する。

細街路：
細街路走行時の速度を5 ～ 30km/hに設定する。

設定を初期状態に戻す：
それぞれの設定速度を初期値に戻す。

オートリルートについて

オートリルートは、自動的に新しいルートに切り替えて案内を再開する機能です。オートリルート機能を利用しない場合は、「オートリルート」をOFFに設定してください。
→ P.152「その他の設定」
オートリルートは、以下の場合に行われます。

お車がルートを外れている場合
お車がルートから外れて一定距離以上走行しているときに、自車位置から目的地までのルートを自動的に再設定します。

ルート上を走行中に最適なルートが探索された場合
渋滞や規制など、ルート上の交通情報の変化に対して自動的に最適なルートを設定します。
この探索には以下の設定が必要な場合があります。
- 「リアルタイム交通情報を考慮」が「ON」→ P.156
- 「時間規制道路」が「規制に従う（推奨）」→ P.156

VICS情報の設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 VICSの設定

3 目的の項目を選択

VICS表示の対象道路：
VICS情報表示の対象となる道路を選択する。（初期値：すべての道路）

地図上のVICS表示設定：
表示するVICS情報の項目を選択する。
- 渋滞・混雑（初期値：ON）
- 順調（初期値：OFF）
- 事故・規制情報（初期値：ON）
- 駐車場情報（初期値：ON）
- SA・PAの駐車場情報（初期値：ON）

FM多重情報の受信地域選択：
FM多重情報の受信地域の設定を行う。
（初期値：オート選局）
・ オート選局 をタッチすると、自車位置から最も適した地域を自動的に受信します。
・ 都道府県選択 をタッチすると、都道府県を選択できます。

ルート探索条件の設定をする

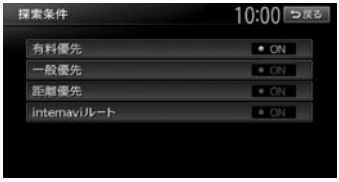
1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 ルート探索条件の設定
3 目的の項目を選択

探索条件：
目的地を設定してから、ルート探索の優先路を選択する。→ P.155
ルートの学習：
ルートの学習に関する設定を行う。
→ P.155
その他の条件：
その他の探索条件を設定する。→ P.156

探索条件の設定をする

ルート探索時の優先路を設定します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 ルート探索条件の設定
3 探索条件
4 目的の項目を選択



有料優先：
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。
一般優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。
距離優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの距離が短くなるルートです。
internaviルート：
インターナビで取得した目的地探索ルートで案内する。

ルートが設定されているときは、選択した道路を優先して、ルートを再探索します。

ルートの学習の設定をする

自宅から一定範囲（半径約3km）の走行履歴を考慮するかどうかを設定します。何度も走行した道路ほどルートに採用されやすくなります。

準備

●自宅を登録する→ P.26

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 ルート探索条件の設定
3 ルートの学習 ▶ 学習したルートを考慮

学習したルートをリセット：
ルートの学習をリセットする。
地図データを更新した場合も、学習内容はいったんリセットされ、再び学習が行われます。

お知らせ
- ルートの学習は、走行履歴を使用していますが、お客様が想定される結果と合わない場合があります。
- internaviルートには学習結果は反映されません。

その他の探索条件を設定する

ルート案内に関するいろいろな探索条件が選択できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

3 その他の条件

4 目的の項目を選択

時間規制道路：
時間規制道路の時間規制を考慮するかどうかを選択する。(初期値:規制に従う(推奨))

冬季通行止め：
冬季通行規制を考慮するかどうかを選択する。(初期値：規制に従う（推奨))

フェリー航路を使う：
フェリー航路を使用するかどうかを選択する。(初期値：OFF)

統計交通情報を考慮：
統計交通情報を考慮するかどうかを選択する。(初期値：ON)
統計交通情報とは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

リアルタイム交通情報を考慮：
FM VICS情報などの交通情報を考慮するかどうかを選択する。(初期値：ON)

スマートICを考慮：
スマートICを出入口として考慮するかどうかを選択する。(初期値：OFF)
- 設定をONにすると、ETCユニットの接続、ETCカードの挿入の有無にかかわらず、スマートICを利用する経路を設定します。

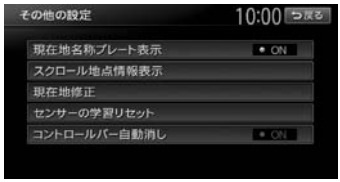
お知らせ
- internaviルートには、「スマートICを考慮」以外の設定内容は反映されません。
選択されたinternaviルートタイプの内容に基づいて、インターナビ情報センターで探索したルートが案内されます。

その他のナビゲーション設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 その他の設定

3 目的の項目を選択



現在地名称プレート表示：
地図画面で、マルチインフォメーションキーを表示するかどうかを選択する。(初期値：ON) → P.29

スクロール地点情報表示：
スクロール先の緯度・経度、マップコードの表示／非表示、また、スクロール中にカーソルをアイコンに合わせた場合の情報の表示／非表示を切り替える。(初期値：すべてON)
- 登録地点アイコン情報
- VICSアイコン情報（2D地図のみ）
- 行き先アイコン情報
- 緯度・経度情報
- マップコード

現在地修正：
自車位置を修正する。→ P.157

センサーの学習リセット：
距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する。

— MEMO —
- タイヤ交換時や、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。
→ P.9「自車位置の精度について」

コントロールバー自動消し：
地図上のコントロールバーの表示を自動的に非表示にするかどうかを選択する。（初期値：OFF）

自車位置を修正する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 その他の設定
3 現在地修正
4 正しい自車位置に移動→ P.39
5 場所を確認 ▶ 決定
6 または をタッチ ▶ 決定

自車位置が修正され、現在地地図画面に戻ります。

言語の選択をする

画面を選択した言語で表示したり、選択した言語で音声案内を行います。

1 MENU ▶ 設定
2 言語選択
3 目的の項目を選択

Text：
画面を選択した言語で表示する。（初期値：Japanese）

— お知らせ —
- 地図画面表示、目的地検索の施設リスト、オーディオ画面の情報表示など一部の表示は言語切り替えの対象となりません。

Voice：
音声案内の言語を選択する。（初期値：Japanese）

— MEMO —
- この設定は、「案内音声」と連動しています。→ P.153

その他の設定をする

車両設定など、各種の設定を行います。

1 MENU ▶ 設定
2 その他設定
3 目的の項目を選択

時計：
時計の表示方法を設定する。→ P.20

車両設定：
本機を使用する車両を設定する。（初期値：小型車両（5/7ナンバー））

VTR接続設定※1**：**
VTR機器接続の設定を切り替える。

リアカメラ次回表示ビュー設定※2**：**
次回リアカメラを表示するときのビューを設定する。

フロントカメラ設定／
コーナーカメラ設定※3：
別売のフロントカメラ／コーナーカメラの設定をする。

ETC設定※4：
ETCの設定をする。→ P.84

セキュリティイルミ：
車両の電源がOFFのときに操作パネルのイルミを点滅させて、盗難を抑制する。（初期値：ON）
バッテリーまたは本機を一度車から取り外した場合は、セキュリティコードを入力してセキュリティロックを解除するまで操作パネルのイルミは点滅します。

販売店：
一部の機能が正常に動かなくなるため使用しないでください。

※1 VTR接続コード接続時のみ設定できます。
※2 別売のリアワイドカメラ接続時のみ設定できます。
※3 別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時のみ設定できます。
※4 別売のETCユニット接続時のみ設定できます。

MEMO
- 車両設定が正しく設定されていないと、高速道路料金が正しく表示されない場合があります。

オーディオの音質を設定する

準備
●オーディオをONにします。→ P.104

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 目的の項目を選択

Virtual Stage Enhancer（バーチャルステージエンハンサー）：
ヴォーカル成分とサラウンド成分を抽出し調整することで、臨場感のあるサラウンドサウンドを実現する。（初期値：LOW）→ P.159
・Vocal Image Control（ヴォーカルイメージコントロール）
ヴォーカルの音量バランスを調整することで、ヴォーカルの音像を前後左右に移動する。（初期値：0）→ P.159

Balance/Fader（バランス/フェーダー）：
前後左右のスピーカーの音量バランスを調整する。（初期値：0）→ P.159

グラフィックEQ：
あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する。（初期値：Flat）→ P.159
音質効果メモリーを調整することもできます。

〈ユーザーカスタマイズ〉：
音質効果メモリーを作成して保存する。→ P.160「お好みの音質効果を設定する」

Loudness（ラウドネス）：
音量の大きさに合わせて、高音と低音を強調する。（初期値：3）

Sound Restorer（サウンドリストアラー）：
圧縮オーディオに対して高音域を補完することで、圧縮前の原音に音質を近づける。（初期値：LOW）

車速連動音量：
加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する。（初期値：MID）
レベルの数値が大きいほど、音量の上がる幅が大きくなります。

Virtual Bass（バーチャルバス）：
低音域の倍音成分を付加することで重低音を増強し、豊かな低音再生を可能とする。（初期値：LOW）

Volume Smoother（ボリュームスムーサー）：
再生ソースによる音量レベル差や、テレビの番組とCMの音量レベル差、映画のシーンごとの音量レベル差などを検知し、音量レベルを自動調整する。（初期値：OFF）→ P.160

Intelligent Tune（インテリジェントチューン）：
Virtual Stage Enhancer、Vocal Image Control、Sound Restorer、Virtual Bass、Volume Smoootherを設定する。（初期値：OFF）
ONにするとそれぞれ設定を変更できます。

その他設定：
以下の設定を行う。
・オーディオ設定の初期化→ P.161

ヴォーカルの音量バランスとサラウンドサウンドを調整する

Virtual Stage Enhancerは、ステレオ音源からヴォーカル成分とサラウンド成分を抽出し、フロント・リアスピーカーにバランス良く振り分けることで、臨場感のあるサラウンドサウンドになるよう調整します。
Vocal Image Controlは、ステレオ音源の中央に定位するヴォーカルや主要な楽器などの成分の音量バランスを調整します。スピーカーの構成や乗車人数などに応じて、ヴォーカルの左右のバランスや奥行き感を調整してください。

お知らせ
- Virtual Stage EnhancerがOFF以外の場合は、Vocal Image ControlのF/R設定値（ヴォーカル音像の前後位置）は「0」になり変更できません。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 Intelligent Tune（ONになっていることを確認）
3 Virtual Stage Enhancer
4 ＋、－ をタッチして設定

Vocal Image Control：
ヴォーカルの音量バランスを調整する。
初期値に戻す をタッチすると、Vocal Image Controlが初期値に戻ります。

スピーカーの音量バランスを調整する

Balance/Faderは、全体の音量バランスを調整します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 Balance/Fader
3 ▲、▼、◀、▶ をタッチして設定

初期値に戻す：
音量バランスを初期値に戻す。

音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 グラフィックEQ

3 音質を選択

Bass.B：重低音の増強
High.B：中高域の増強
Acoustic：中域（人の声）の増強
Impact：低域と高域の増強
Smooth：しっとりと落ち着いた感じ
Flat：原音、EQをOFF

お好みの音質効果を設定する

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 グラフィックEQ
3 User 1 、User 2 、または User 3
4 調整する
5 音質効果を設定

▲、▼：
低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整する。
Flat：
各帯域の設定を「0」に戻す。

MEMO
• 次回からは手順3で同じ設定を呼び出せます。

Volume Smootherを調整する

■ Volume Smootherとは

Volume Smootherは、あらゆる音楽ソースやシーンにおける音量レベル差を自動調整し、音量補正を行う機能です。Volume SmootherをONにすると、オーディオ信号の聴感上の音量レベルを常時モニター、調整します。その結果、音量レベル差を一定の範囲に抑えて視聴できます。音量レベル差は以下のようなケースで起こります。

●CDを聴いているときとラジオを聴いているときの音量レベル差
●TVを見ているときの番組とCMの音量レベル差、または番組ごとの音量レベル差
●DVDなどで映画を見ているときの爆発シーンなど大きな音量のシーンと、静かなシーンとの音量レベル差

Volume SmootherをONにすると、これらのケースでも音量操作をする必要がありません。各ソースを聴こえやすい音量レベルで視聴できます。

■ Volume Smootherのレベルを調整する

Volume Smootherのレベルを調整することで、「音量補正」の効果を変えられます。「LOW」→「MID」→「HIGH」の順で、音量補正の効果が高くなります。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 Intelligent Tune **（ONになっていることを確認）**
3 Volume Smoother
4 ＋ 、－ **をタッチして設定**
Volume Smootherのレベルが調整されます。

MEMO
• テレビやDVDなど、音量レベル差のあるソースを視聴するときは、「MID」または「HIGH」の設定をおすすめします。
• Volume Smootherは、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定できます。ソースを切り替えると、Volume Smootherも各設定値に切り替わります。

オーディオ設定を初期値に戻す

すべてのオーディオ設定値のほか、ガイド音量、電話の音量、各オーディオソースの音量を初期値に戻します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ
2 その他設定
3 オーディオ設定の初期化
4 はい

画面の設定をする

昼画面と夜画面を切り替える

昼間にヘッドライトを点灯させていて、画面が見づらい場合などは、手動で昼画面に切り替えると画面が見やすくなります。

— MEMO —
- スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替わります。

1 MENU
2 ☼
タッチするたびに、昼画面と夜画面が切り替わります。

ナビゲーション画面の画質を調整する

1 MENU ▶ 設定 ▶ 画質調整
2 明るさ または コントラスト
3 ＋ または －
4 戻る
調整した画質に設定されます。

— MEMO —
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
- オーディオ映像画面（映像ソース間で共通）、カメラ画面の画質調整については、各ページの説明をご覧ください。

目的地メニュー画面の表示項目を入れ替える

目的地メニュー画面のキーの順序を変更できます。選択した項目を、目的地メニューの左側に割り当てます。

— お知らせ —
- メニュー表示を日本語以外の言語に設定しているときは、本操作は行えません。

1 MENU ▶ 目的地
2 ⇄ をタッチ

3 選択解除
4 項目を3箇所選択

初期に戻す：
初期設定値（名称、電話番号、住所）に戻す。

3項目を選択しないと、決定 は表示されません。

5 決定
選択した項目が、目的地メニュー画面の左側に表示されます。

オープニング画面の設定をする

本機を起動したときに表示されるオープニング画面を設定します。

お知らせ
• 走行中は本操作を行えません。

準備

●SDカードを使って、オープニング画面を本機に取り込んでおきます。→ P.164

1 MENU ▶ 設定

2 オープニング画面

3 オープニング画面を選択 ▶ 決定

消去：
SDカードから取り込んだオープニング画面データを消去する。

オリジナル：
工場出荷時の画像に戻す。

4 はい

選択したオープニング画面が設定されます。

ナビゲーションの音量を調整する

1 MENU ▶ 設定

2 音量調整

3 目的の項目を選択

案内音量※1：
音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。（初期値：レベル6）

案内・メッセージ音声※1：
音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択する。（初期値：ON）

着信音量※2：
電話の着信音量を調整する。（初期値：レベル4）

受話音量※2：
電話の受話音量を調整する。（初期値：レベル4）

送話音量※2：
電話の送話音量を調整する。（初期値：レベル3）

操作音：
ボタンやタッチキーを操作したときに、ビープ音を鳴らすかどうか、または操作音の種類を選択する。（初期値：操作音1）

Intelligent VOIICE応答音量：
Intelligent VOICEアプリケーション利用時の応答音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。（初期値：レベル6）

※1「ルート案内の設定」と連動しています。→ P.152

※2 電話設定画面の「音量調整」と連動しています。→ P.98

お知らせ
• ガイド音量とIntelligent VOICE応答音量の場合、走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。
• 車両のスマートパーキングアシストシステム（駐車時に音声で案内する機能）が作動中の場合でも、当項目の音量は調整できます。

SDカードのデータを編集する

お願い
• 操作中は電源を切らないでください。
• SDカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。

準備

●SDカードを本機に挿入します。
本機にデータの取り込みを行う場合は、あらかじめパソコンを使用してSDカードにファイルを保存してください。

ナビマスター Sについて

本機に取り込む画像のサイズ調整や、TVサーチ情報の更新には、弊社で提供しておりますPC用アプリケーション「ナビマスター S」が必要です。「ナビマスター S」は、以下の弊社Webサイトからダウンロードできます。
http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-152vfi/
「ナビマスター S」の操作方法は、アプリケーションの提供とあわせてご案内します。

登録地点を書き出す

本機の登録リストから登録地点を選択して、SDカードに書き出せます。SDカードに保存できる登録地点の数は、1グループにつき450件、最大10グループ4500件です。
登録地点の登録は、「登録リストに登録する」をご覧ください。→ P.58

1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 バックアップ
4 登録地点を選択 ▶ 決定
5 グループを選択 ▶ はい

MEMO
- 登録地点の書き出しはバックアップデータとして保存されます。

登録地点を取り込む

SDカード内の登録地点を、本機の登録リストに取り込めます。(最大400件)

1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 バックアップデータの取り込み
4 グループを選択
5 登録地点を選択 ▶ 決定

登録地点のグループ名を変更する

1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 SDメモリカード内グループフォルダ名の編集
4 グループを選択
5 名称を入力 ▶ 決定

登録地点を消去する

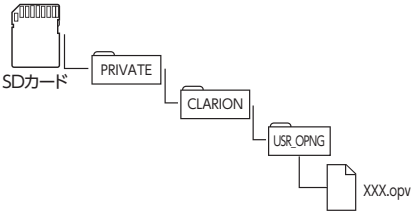
1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 SDメモリーカード内バックアップデータの消去
4 登録地点が所属するグループを選択
5 登録地点を選択 ▶ 決定
6 はい

オープニング画面の取り込み

オープニング画面とは、本機起動時に画面に表示される画像のことです。デジタルカメラなどで撮影したお好みの画像ファイルをオープニング画面としてお使いいただけます。→ P.162
本機では、SDカード内のオープニング画面データを取り込めます。(最大20個)

お知らせ
- オープニング画面として取り込んだ画像は、ほかの用途には使えません。

オープニング画面は、以下の条件をすべて満たす必要があります。
- PC用アプリケーション「ナビマスター S」で作成した画像データを「opv」形式で保存したもの
- 以下のフォルダ構成でファイルが保存されていること



1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 オープニング画面の取り込み
3 オープニング画面を選択 ▶ 決定

TVサーチ情報の取り込み

SDカードとパソコンを使用してTVサーチ情報を更新できます。
TVサーチ情報とは、テレビで紹介された情報で、本機で目的地を検索する際に使用できます。
継続的に施設を紹介する特定の番組から、クラリオン株式会社オリジナルデータとして過去3年分の情報を抽出・本機に収録しています。

お願い
- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TVの情報から探す」機能が正しく動作しなくなるおそれがあります。→ P.50

準備

以下が必要です。
- インターネットに接続できるパソコン
- PC用アプリケーション「ナビマスター S」→ P.163

1 **「ナビマスター S」のTV情報機能を使用し、SDカードへTVサーチ情報を保存**
(「ナビマスター S」画面上の「?」マークをクリックすると、TV情報機能の取扱説明書を参照できます。)
2 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
3 TVサーチ情報の更新 ▶ はい
本機のTVサーチ情報が更新されます。

お知らせ
- TVサーチ情報は最長で過去3年分を収録しています。データを更新すると、古いデータは消去され、過去3年以内の情報のみになります。消去したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

OPTIONボタンの操作方法

[⚙] によく使う機能を割り付けられます。[⚙] を押すと、設定の変更や切り替えをすばやく行えます。

OPTIONボタンに機能を割り付ける

お知らせ

- 別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時は、自動的に「カメラ映像ON/OFF」が割り付けられています。→ P.177

1 [⚙] を長押し

はじめて操作するときは、[⚙] を短く押してもOPTIONボタン割り付け画面を表示できます。

2 割り付けたい機能を選択

選択した機能が [⚙] に割り付けられます。

自宅：
自宅を目的地として設定する。
あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。→ P.26「自宅を登録する」

現在地点登録
自車位置を登録リストに登録する。
→ P.58

軌跡表示（する／しない）：
地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える。→ P.151

オーディオ音量ミュート（する／しない）：
オーディオ音量ミュートのON/OFFを切り替える。

時計画面表示（する／しない）：
時計画面の表示／非表示を切り替える。
→ P.20「時計の表示を設定する」

フロントカメラ（ON/OFF）／コーナーカメラ（ON/OFF）：
フロントカメラ映像またはコーナーカメラ映像のON/OFFを切り替える。（初期値：ON）→ P.177
別売のカメラ接続時のみ設定できます。

次回から [⚙] を押すと、割り付けた機能が実行されます。

Memo

便利な機能（アクセサリー）を使う

さまざまなアクセサリー機器の使いかたについて説明しています。

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）…… 168
スイッチの使いかた…… 168
ボタンの名称とはたらき…… 168
接続したビデオを見る（別売）…… 170
VTR機器を接続する …… 170
VTR画面のサイズを切り替える …… 171
VTRの画質を調整する …… 171
VTR機器の接続方法を切り替える …… 172
リア席モニターを使う（別売）…… 172
リア席モニターに表示できる映像…… 172
HDMI対応機器の音声を入力する …… 172
カメラを使う（別売）…… 173
リアカメラを使う（別売）…… 173
リアカメラの映像について…… 173
リアカメラの映像を表示する…… 174
モニターの画質を調整する（リアカメラ）…… 174
ガイドラインを表示する…… 175
表示ビューを切り替える
（リアワイドカメラ接続時のみ）…… 175
フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）
…… 176
カメラ映像について…… 176
カメラ映像を自動で表示する…… 177
地点通過時にカメラ映像を自動表示する…… 177
カメラ映像を手動で表示させる…… 177
コーナーカメラのガイドを表示する…… 178
表示ビューを切り替える
（コーナーカメラ（2ビュー）接続時のみ）…… 178
ナビゲーションからQQコールを利用する
…… 178
QQコールの主なサービス …… 178
ナビゲーションからQQコールを利用するには … 179
QQコールに電話をする …… 179

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）

スイッチの使いかた

⚠ 注意

- **操作パネル以外にも、ステアリング（ハンドル）パッドのリモコンで操作することができます。**
- **車種により対応していない場合があります。**

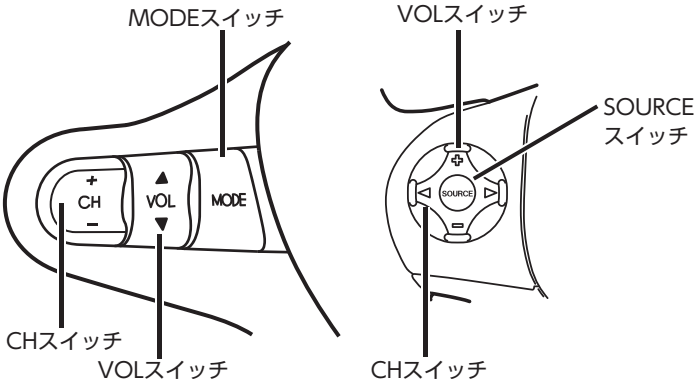
❗ お願い

- 走行中はお車の純正オーディオリモコンスイッチ以外操作しないでください。

MEMO

- 走行中運転の妨げにならないように十分注意してください。
- 車両によってオーディオリモコンスイッチが装備できない場合があります。
- 車両標準装備または別売の場合があります。

ボタンの名称とはたらき



■ MODEスイッチ／ SOURCEスイッチ

短押し：

オーディオソースを切り替えるときに使用します。ソースは次の順番で切り替わります。

FM1※▶FM2※▶AM※▶DVD/CD▶Music Rack▶USB/iPod▶SDカード▶Bluetoothオーディオ▶地上デジタル放送▶VTR/リアモニタHDMI▶FM1

※お出かけモード選択時には、「FM（お出かけ）▶AM（お出かけ）」となります。

●機器の接続状態や本機の設定により切り替えられない場合は、次のソースへスキップします。

長押し：

Siri Eyes Free機能を実行します。→ P.99

■ VOLスイッチ

オーディオ、テレビの音量を調整します。スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。
▲／✙：音量が大きくなります。
▼／▭：音量が小さくなります。

■ CHスイッチ

オーディオ、テレビの機能操作に使用します。それぞれ選択したソースによって機能が異なります。
詳しくは、本取扱説明書各項をご覧ください。

ソース名	＋－／◁▷短押し	＋－／◁▷長押し
FM/AM	P.CH（プリセット選局）	SEEK（自動選局）
Music Rack	曲を選択	ALBUM UP ／ DOWN
SDカード	曲またはビデオを選択	FOLDER UP ／ DOWN
Bluetoothオーディオ	曲を選択	無効
CD	曲を選択	無効
DVD/DVD-VR	チャプターを進める／戻す	無効
TV	P.CH（プリセット選局）	SEEK（自動選局）
iPod	曲またはビデオを選択	無効
USB	曲またはビデオを選択	FOLDER UP ／ DOWN

接続したビデオを見る（別売）

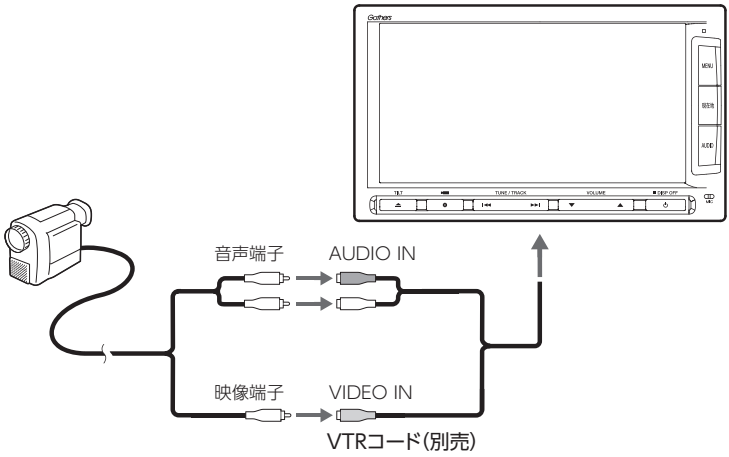
別売のVTRコード接続時のみVTR機器の視聴ができます。

⚠ 警告

- **運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を見られます。走行中は、音声だけ聴けます。**

⚠ 注意

- **接続するVTR機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**



VTR機器を接続する

1 別売のVTRコードで、本機とお手持ちのVTR機器を接続する

❗ お願い

- 映像入力端子と音声入力端子を正しく確実に接続してください。

MEMO

- 接続したVTR機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 ソース選択画面で VTR

お知らせ

- 別売のVTRコードを接続していない場合、またはiPodの接続方法を「USB+VTR接続（アナログ音声）」に設定している場合、VTR は表示されません。→ P.144

3 VTR機器を操作する

VTR映像が再生されます。

VTR画面のサイズを切り替える

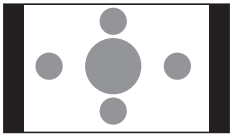
MEMO
- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたが異なる場合があります。

1 ソース選択画面で VTR

2 画面をタッチ ▶ 画面切替

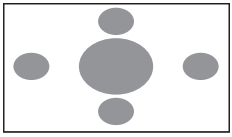
3 画面の表示サイズを選択

ノーマル：



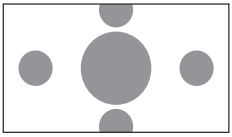
映像を縦横の比率を変えずに中央に表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：



通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

4 戻る

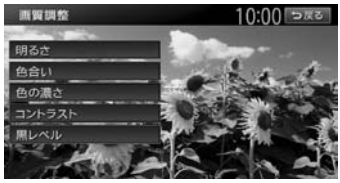
選択したサイズで画面が表示されます。

VTRの画質を調整する

1 ソース選択画面で VTR

2 画面をタッチ ▶ 画質調整

3 調整する項目を選択



4 ＋ または － をタッチ

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

MEMO
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

VTR機器の接続方法を切り替える

VTR機器の接続方法を、「VTR機器接続」または「iPod Video接続」から選択します。（初期値：VTR機器接続）

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定

2 VTR接続設定

3 **VTRの接続方法を選択**

VTR機器接続：
iPodでオーディオファイルのみ聴く場合、VTR機器を接続するときに選択する。

iPod Video接続：
iPodでビデオファイルを見る場合に選択する。
本設定を行うとソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR機器は使用できません。

— MEMO —
- 本設定は、iPod機能内の接続方法設定と連動しています。→ P.144

— MEMO —
- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除してから再度接続してください。

リア席モニターを使う（別売）

車の後席に別売のリア席モニターを増設すれば、後席で映像をお楽しみいただけます。

お願い
- リア席モニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

準備
- リア席モニターを本機に接続するには、リア席モニターとリア席モニター取付アタッチメントが必要です。

リア席モニターに表示できる映像

リア席モニターに表示できる映像は、以下のとおりです。走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。
- DVDビデオ、DVD-VR
- テレビ
- VTR
- iPodビデオ

— お知らせ —
- リア席モニターにコントロールバーなどは表示されません。
- DVD、テレビ、VTR、iPodビデオ以外のソースを選択しても、リア席モニターには何も表示されません。
- 本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、リア席モニターには、再生中の映像が表示されます。

HDMI対応機器の音声を入力する

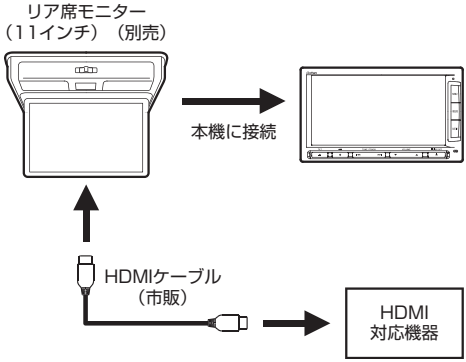
別売のリア席モニター（11インチ）のHDMI端子に接続された、HDMI対応機器からの音声を車両のスピーカーで再生できます。
接続した機器の音声を聴きながら本機で地図を見たり、ナビゲーションの操作ができます。

⚠ 注意
- **接続するHDMI対応機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**

お知らせ
- HDMI入力対応のリア席モニターにHDMI対応機器を接続した場合のみ動作します。
- 本機能はリア席モニターに接続されたHDMI対応機器の音声を出力します。映像は出力しません。

準備

●リア席モニターにHDMI対応機器を接続するには、市販のHDMIケーブルが必要です。



1 市販のHDMIケーブルで、リア席モニターとお手持ちのHDMI対応機器を接続する

MEMO
- 接続したHDMI対応機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 ソース選択画面で リアモニタHDMI

接続した機器の音声が再生されます。

MEMO
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットで充電しながら使用すると、雑音が出ることがあります。

カメラを使う（別売）

リアカメラを使う（別売）

リアカメラ標準装備車、または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車両の後方をモニターで見ることができます。リアワイドカメラ標準装備車、または本機に別売のリアワイドカメラを接続している場合は、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

⚠ 警告

• モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

⚠ 注意

• リアカメラが映し出す範囲には限界があります。また、リアカメラの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
• リアカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
• 表示ビューの切り替えや画質の調整、ガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

リアカメラの映像について

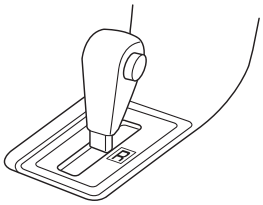
●カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
●リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
●夜間、または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
●カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
●カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。

●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこすするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

リアカメラの映像を表示する

1 車両の電源をONにする

2 セレクトレバーを R（リバース）にする



リアカメラの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。

MEMO

- 、 、 は、リアワイドカメラ接続時のみ表示されます。
- カメラ表示中に操作できるボタンは以下のとおりです。
  - 操作パネルの 、 、 、 、 、
- セレクトレバーを R（リバース）にしているときのみ、ガイドの表示ができます。
- 別売のオプションカメラを同時に接続できます。

モニターの画質を調整する（リアカメラ）

1 リアカメラ映像表示中に画面をタッチ

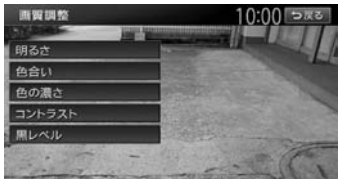
2 画質調整

コーション：
メニューの表示位置を画面上部または下部に切り替える。

MEMO

- 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画質調整 は非表示になります。

3 調整する項目を選択



4 ＋ または － をタッチ
画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る
調整した画質に設定されます。

MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

ガイドラインを表示する

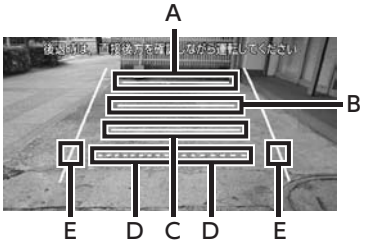
1 リアカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 ガイドライン表示

コーション：
メニューの表示位置を画面上部または下部に切り替える。

MEMO
- 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、ガイドライン表示 は非表示になります。

ガイドラインが表示されます。
ガイドラインの表示は、設定した車両、ビューによって異なります。以下はノーマルビュー表示時を例にとって説明します。



A：車両後端から約3mの位置を示します。
B：車両後端から約2mの位置を示します。
C：車両後端から約50cmまたは1mの位置を示します。
D：テールゲートまたはトランクが開閉可能な位置の目安を示します。
E：車幅＋約25cmの目安を示します。

お知らせ
- トップダウンビュー表示時は、A、Bは表示されません。（リアワイドカメラ接続時のみ）
- ガイドラインのCは車両またはガイドラインの設定によって、表示される目安位置が変わります。

表示ビューを切り替える（リアワイドカメラ接続時のみ）

⚠ 注意

• 表示ビューの切り替えは低速走行中でも可能ですが、十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

1 ビュー選択

（ノーマルビュー）：
車両の後方を確認する。

（ワイドビュー）：
ノーマルビューよりも広い範囲で車両の後方を確認する。

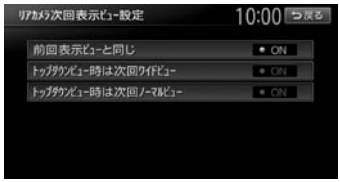
（トップダウンビュー）：
車両の後方を上から見下ろしたように確認する。

■ 次回表示時の表示ビューを設定する

トップダウンビューでリアカメラ表示を終了した場合の次回リアカメラ表示ビューを設定できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定 ▶ リアカメラ次回表示ビュー設定

2 表示ビューを選択



前回表示ビューと同じ：
前回と同じ表示ビューで、車両の後方を表示する。

トップダウンビュー時は次回ワイドビュー：
次回リアカメラ表示時に、自動的にワイドビューに切り替えて表示する。

トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー：
次回リアカメラ表示時に、自動的にノーマルビューに切り替えて表示する。

お知らせ

- ワイドビューまたはノーマルビューでリアカメラ表示を終了した場合、次回のリアカメラ表示は本設定によらず前回表示ビューと同じになります。

フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）

ここでは、コーナーカメラを例にあげて説明しています。

⚠ 警告

- **フロントカメラ／コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。安全のためカメラ使用時も目視による安全確認を行いながら運転してください。**

⚠ 注意

- **雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

車速判定機能により、停車が予測されると自動的にカメラ映像が映し出されます。また、動作する地点を登録しておいても、低速時に自動的にカメラ映像を映し出すことができます。

カメラ映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- フロントカメラ／コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

カメラ映像を自動で表示する

自動表示停車が予測されたとき、カメラ映像が自動で表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定

2 フロントカメラ設定 または コーナーカメラ設定

3 フロントカメラ自動表示設定 または コーナーカメラ自動表示設定

MEMO
- OPTIONボタンを押すことでカメラ映像を手動で表示することもできます。

地点通過時にカメラ映像を自動表示する

■ 登録地ごとのカメラ映像自動表示を設定する

自動表示設定された登録地点通過時に停車が予測されたとき、カメラ映像を自動で表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定

2 フロントカメラ設定 または コーナーカメラ設定

3 登録地点検知

■ 登録地にカメラ映像自動表示を設定する

登録地ごとに、カメラ映像を自動的に映し出すよう設定することができます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 登録データの編集・消去 ▶ 登録地点 ▶ 地点選択 ▶ 編集

3 アイコン ▶ をタッチ

MEMO
- 現在地メニューから、現在地をカメラ地点として登録できます。→ P.30
- 地点メニューから、スクロール先の地点をカメラ地点として登録できます。→ P.42

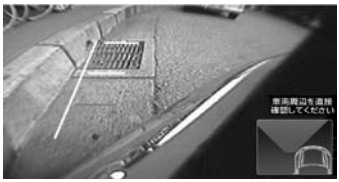
カメラ映像を手動で表示させる

準備

●OPTIONボタンにフロントカメラ／コーナーカメラ表示機能を設定します。→ P.165

1 [⚙]

カメラの映像が表示されます。



MEMO
- 再度 [⚙] を押すか車を加速すると、直前に表示していた画面に戻ります。
- 「パネル異状停止コーション」が表示された場合は、[⚙] ボタンを押してもフロントカメラ／コーナーカメラは表示されません。
- 「フロントカメラ自動表示設定」または「コーナーカメラ自動表示設定」をONに設定し、OPTIONボタンにフロント／コーナーカメラ表示を設定している場合に、画面に が表示されます。

コーナーカメラのガイドを表示する

1 **カメラ映像表示中に画面にタッチ**

2 ガイドライン表示
ガイドラインが表示されます。

モニターの画質を調整できます。→ P.174

表示ビューを切り替える（コーナーカメラ（2ビュー）接続時のみ）

1 **ビュー選択**

（ノーマルビュー）：

車両の右側後方を確認する。

（トップダウンビュー）：

車両の左側前方を上から見下ろしたように確認する。

ナビゲーションからQQコールを利用する

QQコールは、ドライブの出発前から到着後まで、安全・安心なドライブをサポートするHonda車専用のロードサービスです。路上救援だけでなく、代替交通費の補償や、修理後の車両搬送など充実のアフターフォローでカーライフをサポートします。

QQコールの主なサービス

■ 路上救援

- 落輪、乗り上げ
- 雪道、泥道などでのスタック
- パンク（スペアタイヤ）交換
- 故障応急処理（キー閉じ込み、バッテリー上がり含む）
- 燃料切れ（ガソリン、軽油）10L無料（年1回）

■ アフターフォロー

- 走行不能時の牽引：最寄りのHonda販売店まで無料（距離制限30km）
- 帰宅、旅行など予定継続手段の手配：1名につき最大5万円（総額10万円まで）
- 修理が必要で最寄りのHonda販売店が閉店時には車両を保管
- ドライブ中の急病やけがに際し、最寄りの病院を紹介。救急車の手配も。
- 事故の際、加入されている保険会社への連絡が必要な場合、連絡を代行（※）
- 修理後、自宅近くのHonda販売店まで無償搬送（全国距離無制限）
- ご要望に応じ、ご家族、ご友人、会社などへメッセージ

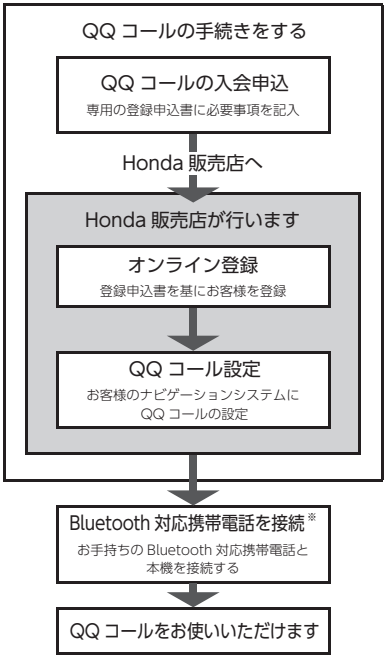
※保険会社に連絡した内容に関しての責任は負いかねますので、ご了承ください。制度上、警察への連絡は、お客様から行っていただく必要があります。

⚠ 注意

- **「QQコール」は有料ロードサービスです。別途Honda販売店でのお申し込みが必要です。お申し込み、お問い合わせはお近くのHonda販売店までご連絡ください。詳しくは、QQコールホームページをご覧ください。**
  http://www.honda.co.jp/qqcall/

ナビゲーションからQQコールを利用するには

ナビゲーションからQQコールを利用するには、以下の手続き、操作が必要となります。



※本機に接続できる携帯電話をお持ちでない場合は、画面にQQコールセンターの電話番号が表示されますので、お手持ちの携帯電話などを使ってQQコールに電話をかけられます。携帯電話の接続方法について詳しくは、「通信機能を利用する」をご覧ください。→ P.87

QQコールに電話をする

ハンズフリー機能を利用して、QQコールに連絡します。

お知らせ

- QQコール表示中は、以下の機能のみ操作できます。
  - 北方向上地図／進行方法上地図の切り替え
  - 地図の拡大／縮小
  - 地図スクロール
  - 音量調整
  - 現在地地図画面表示
- QQコール は、入会手続きと設定を行わないと表示されません。
  入会手続きと設定はHonda販売店にて行います。詳しくは、Honda販売店にお問い合わせください。
- QQコールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話の通話可能区域内です。
- 発信 をタッチしてもつながらない場合や、バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は、携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。
- 走行中はQQコールの電話番号およびマップコードは表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。

準 備

●Bluetooth対応携帯電話を本機に登録します。→ P.90

1 MENU ▶ QQコール

2 発信

QQコールのコールセンターに電話がかかります。本機に表示されるマップコードをアシスタンスコーディネーターに伝え、指示にしたがってください。

困ったときに…

ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

故障かなと思ったら…… 182
ナビゲーション関連…… 182
オーディオ関連…… 183
リアカメラ…… 187
オプションカメラ…… 187
その他…… 187
よくある質問について…… 189
ナビゲーション編…… 189
オーディオ編…… 191
その他編…… 193

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

症　状		処　置
表示関連	GPS受信の表示が出ない。	アンテナケーブルを接続してください。
		障害物などがなくなれば受信できます。
		衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		走行することにより表示されるようになります。
	画面が表示されない。	画面消しの状態になっている場合は、MENU や 現在地 を押すと解除されます。 → P.20「画面を非表示にする」
		ヒューズが切れている場合があります。お買い上げのHonda販売店にご相談ください。
	地図画面に表示されるアイコンをOFFまたは削除したい。	↓が付いているアイコンは検索アイコンです。表示をOFFにしてください。→ P.151
		表示は交通事故多発地点のアイコンです。表示をOFFにしてください。→ P.151
	電源投入後、画面が見づらい。	液晶の特性によるもので、故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。
	地図スクロールが遅い。目的地までのルート表示が遅い。	動画再生を行っている場合、再生を終了してください。
	マルチメーターの情報が実際の走行状態と異なる。	故障ではありません。表示された情報をリセットしてください。→ P.29
ルート案内音声関連	ルート誘導の音声が小さい。（または大きい）	音量を調整してください。→ P.162
	音声案内が出ない。	案内・メッセージ音声を「ON」にしてください。 → P.162
	ルート案内の音声が、交差点に入ってから聞こえる。（発声タイミングが遅い）	「ジャストガイド」設定をOFFにしてください。 → P.153
		動画再生を行っている場合、再生を終了してください。
操作関連	メニューが操作できない。	安全な場所に停車させ、サイドブレーキをかけてください。

	症　　状	処　　置
自車位置精度関連	自車位置が正しく表示されない。 GPSマークが表示されない。	自車位置を正しく表示するのに時間がかかる場合があります。 GPS受信可能な状態で見通しの良い道路をしばらく走行すると自車位置が修正されます。
		「センサーの学習リセット」を行ってください。 → P.157
		電装品を本機およびGPSアンテナから十分離してご使用ください。
VICS関連	FM VICSが受信されない。	オート選局の設定を「ON」にしてください。→ P.155
		手動で放送局を選んでください。→ P.155
ETC関連	情報メニューに ETC情報 が表示されない。	別売のETCユニットを接続してください。
	画面に（コード：XX）と表示される。 (XXは01から07、および09、10)	詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。
Intelligent VOICE	発話した内容が正しく認識されない。	ハンズフリー用マイクを話し手の口元に向けて取り付けてください。
		電波環境の良いところに移動してください。
		できるだけはっきりとお話しください。また、話し手以外の方は話しかけないでください。

オーディオ関連

	症　　状	処　　置
ラジオ	雑音が多い。	正しい周波数に合わせてください。→ P.105
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。
		ディスクをファイナライズしてから使用してください。
		MIX MODE CDは再生できませんのでディスクを取り出してください。
		8cmディスクは再生できませんのでディスクを取り出してください。
	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	Honda販売店にご相談ください。
	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VRで記録した静止画の切り替えには時間がかかります。

症　　状		処　　置
●オーディオ関連		
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	音が飛ぶ。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをやわらかい布で拭いてください。
		ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が悪い。	内部のレンズに水滴が付いている可能性があります。電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	すでにセットされているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください。→ P.102
	MP3/WMA/AACの音が飛ぶ。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3/WMA/AACの音切れがする／音が飛ぶ。	ほかのエンコードソフトをお試しください。
	MP3/WMA/AACの音が悪い。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。 → P.206「本機で再生可能な音声ファイルについて」
	再生できないファイルやフォルダがある。	音楽データ以外のデータ部分を消去してファイルを作ってください。 以下の場合は音楽データの再生はできません。 • 8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合 • フォルダが最大255（ルート含む）、ファイルが最大512（1フォルダは最大255ファイルまで）を超えた場合 また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合があります。
	正しく表示されない。	ISO9660-LV1、またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3/WMA/AACが再生できない。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMA/AACファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	「ディスクが読めません」の画面が表示される。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
iPod	リストが表示されない。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
	iPodの操作ができない。	USB接続を解除し、iPod本体を再生状態にし、再度接続を行ってください。
		USB接続を解除し、iPod本体のリセットを行ったのち、再度接続を行ってください。
	iPodの音声が出力されない。	iPod本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（Gathers）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。

	症　　状	処　　置
Music Rack	タイトルが表示されない。	PC用アプリケーション「ナビマスター S」を使った最新のアルバム情報をSDカードに保存し、アルバム情報を最新のものにしてください。→ P.134 ナビマスター Sについて→ P.163 アルバム名、アーティスト名の編集方法について → P.133 曲名の編集方法について→ P.134
	表示されたタイトル（アーティスト／アルバム／曲の各タイトル）が間違っている。	
	「情報更新中です。しばらくお待ちください」と表示され再生しない。	ファイルの復旧処理が終わるまでお待ちください。録音されているアルバム数により時間がかかる場合があります。
	音が飛ぶ。	振動やディスクの傷により音飛びした可能性があります。ディスクに傷がないか確認して、再度録音してください。
	再生ができない。	本機で録音したSDカードを使用して、再生してください。
	録音ができない。	SDカードの容量が不足している可能性があります。録音済みの曲や、他のファイルを消してください。 → P.133「アルバムを消去する」、 → P.134「曲を消去する」
		コピー可能ディスクを使って、録音してください。
		SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFにしてください。
		SDカードの対応フォーマット種別は、FAT32、FAT16です。お使いのパソコンでフォーマットしてください。
	音楽CDを挿入時に録音ができない。	「CD挿入時に自動録音」をONに設定してください。 → P.130「自動で録音する」
	「CD挿入時に自動録音」をONに設定している場合に、録音ができない。また、CD再生時にCDの曲名が表示されない。	何らかの事情でSDカードを認識できない場合が考えられます。ご使用のSDカードに問題がないかを確認してください。
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「設定」の「選択演奏」の「アルバム選択」でアルバムを選択してください。→ P.133
SDカード／USBメモリー	SDカードから再生できない。	本機で使えるSDカードを確認してください。→ P.18
	SDカードが挿入できない。	SDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。	一度USBメモリーを取り外して再度挿入してください。
	音が飛ぶ。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。→ P.206
	再生できないファイルやフォルダがある。	パソコンを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。 以下の場合は音楽データの再生はできません。 • 8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合 • フォルダが最大512（ルート含む）、ファイルが最大8000（1フォルダは最大255ファイルまで）を超えた場合
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。

症　　状		処　　置
●オーディオ関連		
SDカード／USBメモリー	MP3/WMA/AACファイルの数が違う。	MP3/WMA/AAC以外のファイルを消去してください。
	ビデオファイルが再生できない。または、映像が乱れたり音が切れる。	本機で再生可能な動画ファイルを確認してください。 → P.210
	ビデオ再生で映像がカクカクする。音が飛ぶ。	
	音声再生は継続しているが、再生時間が停止している。	ファイルサイズが1GBを超えているファイルを再生中の場合、再生時間の表示が停止することがあります。 故障ではありません。
TV	放送局名が表示されない。	以下のいずれかの作業を行ってください。 ・受信できる放送局の設定をする(オートプリセット) → P.113 ・優先エリアの切り替え→ P.118
		放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境の良いところに移動してください。
	映りが悪い。	フロントガラスからフィルム（アンテナ）がはがれている可能性があります。フィルムは貼り直しができませんので、Honda販売店で新しいアンテナと交換してください。
	12セグ放送が受信できない。	mini B-CASカードを読み取れない場合があります。操作パネルを開き、mini B-CASカードを入れ直してください。
Bluetoothオーディオ	接続できない。	Bluetooth対応機器を正しく接続してください。 → P.90
		オーディオ機器の電源を入れてください。
		Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置いてください。
	再生されない。	AVRCP対応のオーディオ機器をご利用ください。
		接続を解除し、再度接続してください。
		接続オーディオ機器のプレーヤーを起動してください。
	曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。	AVRCP1.3に対応しているオーディオ機器をご使用ください。 Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーを起動し直してください。
	接続オーディオ機器から音が出なくなった。	Bluetooth設定画面から、再度Bluetoothオーディオ機器を指定してください。

リアカメラ

症　　状	処　　置
カメラ映像が表示されない。	セレクトレバーがRの位置になっているか確認してください。
	暗いところ、または明るいところ（太陽光に反射したヘッドライトの光、蛍光灯などに照らされた場所など）を映していると、画面が見えにくいことがあります。故障ではありません。
カメラ映像の映りが悪い。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCDカメラ特有の現象で故障ではありません。直接状況を確認しながら運転してください。
リアカメラのガイドラインが表示されない。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。
リアカメラのガイドラインが正しく合っていない。	平らな場所や荷物を降ろした状態でご確認ください。ガイドラインの調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。

オプションカメラ

症　　状	処　　置
カメラ映像が表示されない。	接続を確認してください。
	本機または接続した機器のヒューズが切れている場合があります。確認の際はHonda販売店にご相談ください。
カメラ映像の映りが悪い。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
「パネル異状停止コーション」が表示された。	⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして異物を取り除き、操作パネルを正常な位置に戻してお使いください。

その他

症　　状	処　　置
画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（携帯電話、無線機マイナスイオン発生器など）は、本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
本機使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	いったんお車を安全な場所に停車して車両の電源をOFFにし、再度「ACC」または「ON」にしてください。 その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられます。お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	しばらく待ってから操作を行ってください。

症　　状	処　　置
●その他	
「パネルをオープンしてください」の画面が表示され、地図画面が表示されない。	⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開いてください。その後も同じ症状が発生する場合は、お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
「Check Map SD Memory Card.」の画面が表示される。	以下の操作を行ってください。 ① ⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開く ② 車両の電源をOFFにする ③ 「MAP DATA」のフタを開ける ④ 地図SDカードを入れ直す ⑤ 「MAP DATA」のフタを閉める
「地図データが読めません（＊）」の画面が表示される。	同梱の地図SDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

よくある質問について

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路探索結果で、最適ではない経路を案内されました。

A: ナビゲーションは道路種別などを考慮して経路探索します。そのため、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり探索条件を変えて探索を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、探索方法を変えても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをおすすめします。

Q: 探索条件が有料優先に設定されていて、他の設定に変更できません。

A: 探索条件は、前回設定した探索条件が引き継がれる仕様となっています。下記のいずれかの方法から、探索条件を変更してください。

1. 目的地を検索し、ルートを表示 ▶ 他のルートを選ぶ ▶ 複数ルートから、ご希望の探索条件を選択する
2. 目的地を検索し、案内開始 ▶ MENU ▶ ルート ▶ 画面下に表示される探索条件から、ご希望の探索条件を選択する
3. 目的地を検索し、案内開始 ▶ MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ ルート探索条件の設定 ▶ 探索条件 ▶ご希望の探索条件を選択する

Q: 複数ルート表示で5ルート表示されません。

A: 必ずしも5ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、ほかのルートが探索できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート探索をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: あらかじめ設定された探索条件のルートのほうの距離が短い場合は、あらかじめ設定された探索条件のルートを優先することがあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。
対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。また、本機に収録されている高速道路・有料道路料金データは、2013年12月現在のデータを採用しております。そのため、2013年12月以降に開通した高速道路・有料道路を通るルートを探索した場合、本機に表示される料金および、本機の音声による料金ガイドは、実際の料金と異なる場合があります。このような場合には、実際の料金をお支払いください。

Q: 個人宅検索をしたが、自宅がヒットせず、探せません。

A: ハローページに電話番号と住所が掲載されていないと、対象となりません。

Q: ナビゲーション画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1) 情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。
(2) FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。
(3) 新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 画面上にタッチキーが表示されたり、されなかったりすることがあります。

A: 画面上に表示されるタッチキーはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないタッチキーは非表示となったり、タッチできないようになっています。

Q: 到着予想時刻の計算基準は何ですか？

A: VICS情報、または統計交通情報をもとに計算しています。統計交通情報とは、過去1年分のVICS情報を、曜日や時間帯によって分類し統計処理したデータのことです。
なお、「到着予想時刻の速度設定」で「自動計算」OFFに設定した場合は、上記の情報は使用せず、道路の種別ごとにお客様が設定された速度を適用して計算します。
internaviルートでの案内中は、インターナビ情報センターで計算した所要時間に基づいて表示します。

Q: 一般道優先で探索したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道路を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使うことがあります。これは、あくまでも一般道路「優先」であり、「使わない」とはしていないからです。また、無料で通行可能な高速道路の一部については、一般道優先でもルートが設定されることがあります。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカーよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制にしたがって走行してください。

Q: ルート情報モード（高速道路）に自動で切り替わらない。

A: 高速道路／有料道路は、データ整備上、ルート情報モード（高速道路）に切り替わらない道路を含みます。

Q: ルート情報モードが自動的に解除されます。

A: ルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、探索が終了するまで通常地図に戻ります。探索終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

Q:「○○のある交差点を・・・」という案内をされたが、そのような施設が見当たらなかった。

A: 地図データ上の情報をもとに案内していますが、発売後の移転や閉店などにより、当該施設がなくなっている場合があります。
さらに、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともあります。また、交差点の見やすさを考慮し表示を行っているので、場所によっては施設アイコンが表示されないことがあります。案内は、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いします。

Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されます。

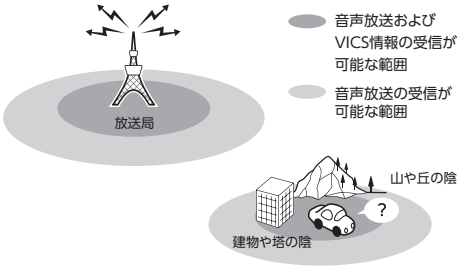
A: マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。
またマルチメーターの表示は、目的地消去や目的地設定で初期化（リセット）されます。

Q: 有料道路の料金が表示されない。

A: 無料区間のみの場合、または高速道路上からルートを探索した場合などには料金が表示されないことがあります。

Q: FM VICS情報が取得できません。

A: FM VICS情報は音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でFM VICS情報を放送しているわけではありません。放送状況を確認してください。



Q: ルート情報モード時にパーキングエリア（PA）にある施設情報は表示できますか？

A: ルート情報モードで表示される施設リストのPAをタッチすると、そのPAにあるガソリンスタンドやトイレなどの施設情報（施設マーク）が表示可能です。

Q: 地図上に通行止めの表示が出ている道路にルートが設定された。

A:「リアルタイム交通情報を考慮」設定がOFFになっている場合は、通行止めなどの規制についても無視してルートを探索します。
また、上記設定がONであっても、遠隔地の通行止めについてはルートに反映しない場合があります。この場合は、通行止め区間にある程度まで近づいた時点で、自動的に再探索を行い、通行止め区間を回避したルートに切り替わるようになっています。

Q: ルート案内中、インターチェンジを通過するたびに、高速道路を降りるよう案内されてしまう。

A: ナビゲーションの探索条件を「有料優先」にして、再度ルート設定をお試しください。

Q: 地図データを更新したら、ルート学習が反映されなくなった。

A: 地図データを更新すると、それまでの学習内容がリセットされます。申し訳ありませんが、再度学習させていただくようお願いします。

Q: 地図上に表示される、丸いビックリマーク（！）のアイコンは何ですか？

A: ビックリマークのアイコンは、交通事故多発地点を表します。このアイコンは200m以下のスケールで表示されます。市街地図、立体地図では表示されません。このアイコンは、MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ アイコンの表示 ▶ 交通事故多発地点の表示 をタッチして、表示／非表示を切り替えられます。

オーディオ編

■ 地上デジタル放送

Q: 地上デジタル放送受信時に表示される［系列局］キーとは何ですか？

A: 走行中に受信状態が悪くなったり現在受信中の放送局のエリアから外れた場合などに、視聴中の放送局の中継局／系列局を自動で探してそのまま視聴できるようにチャンネルを切り替えるキーです。はじめに中継局をサーチし、中継局がなければ次に系列局をサーチします。

Q: 1セグのサブチャンネルの番組は視聴できますか？

A: 視聴可能です。チャンネル番号を入力して選局、または番組表（EPG）から選局してください。
1セグのメインチャンネル受信中に サービス切替 をタッチしてサブチャンネルに切り替えることをもできます。

Q: 走行中、TVを見ることはできますか？

A: 安全運転のため、走行中に前席でTVを見ることは禁止されています。後部座席用モニターではテレビ・ビデオを見ることが可能です。

Q: 放送メールとは何ですか？

A: 放送メールとは、地上デジタルTV放送を利用して、ナビゲーションにメールを送るシステムです。放送局側でメール配信していれば、TVの設定メニューからメール内容をご覧いただけます。受信した放送メールは8個まで保存され、8個を超えた場合は、古いメールから自動的に消去されます。

Q: 画面が横長に見えるが直せますか？

A: 本機のTV画面は、縦横比率が家庭用のTVと違い、やや横長になっています。ナビゲーションの設定で変更はできません。

■ DVD

Q: 地上デジタル放送の番組を録画したDVD-R/RWは再生できますか？

A: 可能です。ただし、VRモードで録画されたCPRM対応のDVD-R/RWに限ります。ハイビジョン画質で録画されている場合は再生できません。通常画質のVRモードで録画し、ファイナライズしてご利用ください。

■ CD

Q: CD-Rが再生できません。

A: CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に影響されます。ディスク上に凹凸のデジタル信号を書き込みますが、書き込みの深さ、幅（面積）などの規格が合わないと再生できない場合があります。書き込み速度を遅くすると、安定して書き込めます。そのため、一番遅い速度での書き込みをおすすめいたします。

■ SDカード／ USBメモリー

Q: SDカードに音楽を保存するときの注意点を教えてください。

A: 使用できるメモリーカードは、SDメモリーカードとSDHCメモリーカードとなります。また、対応可能な圧縮オーディオはMP3、WMA、AACのみとなります。
※ iTunes Storeで購入した著作権保護された音楽は再生できません。
※ SDオーディオには対応していません。
※ 著作権保護された音楽は再生できません。

Q: USBメモリーのMP3ファイルを再生中、曲が途中で停止したり、次の曲が再生されないことがあります。

A: VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルの場合、USBメモリーの転送速度性能との関係で、このような症状が出ることがあります。ビットレートが一定の値で決まっているCBR（コンスタントビットレート）で記録すると安定します。CBRで記録したファイルの再生をお試しください。

■ Music Rack

Q: 気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。

A: 「選択演奏」メニューより、条件を指定してお好みのアルバムを再生できます。→ P.133

Q: 録音したアルバムのタイトルが表示されず、録音した日時が表示されます。

A: Gracenote のデータベースに該当するアルバムの情報がありません。PC用アプリケーション「ナビマスター S」を使用して最新の情報に更新してください。→ P.163

Q: 実際の曲名と表示される曲名が違う。

A: SDカードにトラック情報を書き出し、PC用アプリケーション「ナビマスター S」を使用してGracenoteサーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択し、SDカードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。
この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各曲の情報を入力してください。

Q: 「ナビマスター S」のCDタイトルキャッチャー機能で書き出しを行ったSDカードを使っても、アルバム情報の更新ができない。

A: 更新に必要なアルバム情報が正しくSDカードに記録されていない可能性があります。詳しくは、CDタイトルキャッチャー機能の取扱説明書をご覧ください。

Q: アーティスト／アルバム／曲などのタイトルが間違っている。

A: パソコンで複製したディスクを使った場合は、正しくタイトル表示されないことがあります。

Q: シャッフルおよびリピート再生は、車両の電源をOFFにしたら解除されますか？

A: 車両の電源をOFFにしても保持されます。

Q: CD再生時は途切れがないのに、Music Rackに録音すると曲が途切れて聞こえる。

A: ノンストップCD（曲と曲がつながっているCD）を録音する場合、仕様上、曲間に2 ～ 3秒の無音部分が発生します。このため、曲が途切れたように聞こえます。

Q: CD再生はできるのに、録音できない。

A: 傷があるなどディスクの状態によっては、録音できない場合があります。

■ iPod/iPhone

Q: iPodのバッテリーは充電はできますか？

A: iPodを別売のUSB接続ジャックにつなぐと、iPodを再生しながら充電が可能です。バッテリーがなくなることはありません。

Q: iPodをUSB接続し再生すると、カウンターは進むが音と映像が出ない。

A: iPodのビデオを再生する場合は、ビデオ対応iPodケーブル（別売）とVTRコード（別売）を使用して接続してください。

Q: iPhoneのビデオを再生すると画面が流れて映る。

A: iPhoneのビデオ出力が日本方式の「NTSC方式」ではなく、「PAL方式」に設定されていることが考えられます。iPhoneのメニューから「設定」→「iPod」→テレビ出力の「テレビ信号」→「NTSC」を選択し、設定を変更してください。

Q: iPhoneをUSBケーブルで接続しているがナビゲーション側で操作ができない。

A: iPhone側の設定で音声出力先をBluetooth（Gathers）にしていると、iPhone側の操作で音楽再生は可能です。本機ではiPhoneの操作はできず、リストも表示されません。音声出力先を「Dockコネクタ」に変更してください。本機での操作およびリスト表示が可能となります。

■ Bluetoothオーディオ

Q: Bluetoothオーディオ再生時、画面に曲名が表示されない。

A: 本機は曲名表示するためのプロファイルAVRCP1.3に対応しています。Bluetooth対応機器側のプロファイルAVRCPが1.3以上でないと曲名表示はできません。Bluetooth対応機器のAVRCPバージョンをご確認ください。

■ VTR

Q: VTRの操作ができない。
A: iPodの接続方法を「USB+VTR接続」に設定している場合、VTR機器はご利用できません。VTRを操作したい場合はiPod/iPhoneを取り外してください。

その他編

■ Bluetooth接続

Q: ペアリングができない。
A: お使いのBluetooth対応機器によっては、あらかじめ機器側のBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q: 「5台のBluetooth機器が既に登録されています。」とメッセージが表示されました。どうすれば良いですか？
A: 本機に登録できるBluetooth対応機器は5台までです。さらに登録したい場合は、すでに登録された機器の設定を消し、再度登録を行ってください。

Q: 電話がかかってきたら、自動的に電話に出ることはできますか？
A: 「自動応答保留」の設定をONにすると、応答保留状態で電話に出られます。ただし、携帯電話によっては、保留機能が動作しない場合があります。

Q: 操作が正常にできない。表示されない。
A: Bluetooth対応機器により、機器側の問題で通信異常が発生する場合があります。本機とBluetooth対応機器側のBluetooth機能を、それぞれOFFからONにしてください。

Q: 電話はつながったが相手の声が聞こえない。
A: 電話画面でプライベート設定を確認してください。プライベートONの場合、プライベートOFFにしてください。

Q: 通話相手から聞こえづらいといわれた。
A: 「送話音量」の設定を調整してください。

Q: 発着信・通話中、スピーカーから異常な音が出力される。
A: 携帯電話の充電が少ないと、異常な音が出力される場合があります。携帯電話を充電してください。

Q: Bluetooth対応機器が自動で接続されません。
A: Bluetooth対応機器がBluetooth接続可能な状態に設定されているか確認してください。また、Bluetoothオーディオ再生中は、機器の自動接続を行いません。手動で接続してください。

Q: パスキーとデバイス名称を変更したい。
A: 本機に設定されているパスキーとデバイス名称は変更できます。→ P.99

Q: 走行中に電話をかけることはできますか？
A: 走行中は短縮ダイヤル、発着信履歴からのみ発信できます。安全上の配慮より、登録電話番号の名称は表示しますが、電話番号は表示しません。また、ダイヤル、電話帳からは電話をかけることはできません。なお、「自動応答保留」をONに設定しておくと、着信から2秒後に自動で保留状態となります。保留状態から通話への切り替えは可能です。

Q: Bluetooth対応携帯電話は、登録した携帯電話全部を同時に使用できますか？
A: ペアリング可能な携帯電話の登録は5台ですが、使用できる電話は2台までとなります。また、2台同時の通話はできません。通話はどちらか一方となります。ほかの携帯電話を使用する場合には、電話機選択画面から使用したい電話に切り替えてご使用ください。

Q: Bluetoothオーディオ再生中に、ハンズフリー通話を行うと、終話後に自動でオーディオが再生しない。
A: 接続している携帯電話によっては、終話後、自動再生しない場合があります。本機、または携帯電話で再生操作を行ってください。

Q: Bluetoothオーディオ機器を接続したが、スピーカーから音声が出ない。
A: 接続機器の音声出力をBluetooth側へ切り替える操作が必要な場合があります。接続しているBluetooth対応機器を操作し、設定変更を行ってください。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q: 何もしていないのに、携帯電話のペアリングが外れる。転送して使っていた電話帳が消えている。

A: 携帯電話側の自動バージョンアップ、ご使用時の通信状況・電波状況、携帯電話の接続切り替えなど、さまざまな条件により事象が発生していると考えられます。お手数ですが、再度お試しください。

Q: 携帯電話をBluetooth接続しているが、着信音が小さい。

A: 電話設定メニューの 音量調整 をタッチして、着信音量を上げてください。→ P.98

Q: 携帯電話から電話帳を転送する場合、登録可能な電話帳データは300件とあるが、1人に複数の電話番号を登録している場合はどうなるのか？

A: 本機では1人を1件として登録します。複数の電話番号を登録している場合でも、300人分のデータが登録可能です。なお、1人に6件以上の電話番号が登録されている場合は5件までダウンロードされます。6件目以降はダウンロードされません。

■ 画面表示

Q: 画面を時計表示にできますか？

A: 画面全体を時計表示にすることが可能です。

Q: 常に画面に時計を表示できますか？

A: 可能です。地図・メニュー画面とオーディオ映像画面で別々に時計表示を設定できます。→ P.20

■ リアカメラ

Q: リアカメラの明るさを調整できますか？

A: 調整は可能です。

Q: リアカメラの映像は、リア席モニターに映りますか？

A: リアカメラの映像はナビゲーション本体のみ映り、リア席モニターには映りません。

■ その他

Q: セキュリティ装置は付いていますか？

A: 本機のセキュリティ機能として、いったん取り外されたナビゲーションは、セキュリティコードを入力しないと起動できないようになっています。セキュリティコードは同梱のセキュリティカードに記載されていますので、ナビゲーション起動時にセキュリティコードを入力して、セキュリティロックを解除してください。また、車両の電源をOFFにするとLEDイルミが点滅して車室内への侵入者を威嚇・警戒します。LED点滅のON/OFFは選択可能です。

※本機のセキュリティ機能は、100%盗難を防ぐものではありません。セキュリティ機能作動時における盗難については、当社は一切その責任を負いかねます。セキュリティカードは、紛失しないよう大切に保管してください。
万一セキュリティカードを紛失された場合は、お買い上げのHonda販売店までお問い合わせください。

付録

収録データや仕様など、本機に関する情報を記載しています。
本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときは、P.215をご覧ください。

収録データベースについて…… 196
株式会社ゼンリンからお客様へのお願い…… 199
市街地図収録エリア一覧…… 200
VICS情報について …… 204
VICS情報の更新に伴う表示変更 …… 204
VICSシステムの問い合わせ先 …… 204
VICS情報有料放送サービス契約約款 …… 205
本機で再生可能な音声ファイルについて… 206
再生できるMP3・WMA・AACディスク …… 206
MP3ファイルについて …… 206
WMAファイルについて…… 207
AACファイルについて …… 207
MP3・WMA・AACの記録メディアについて … 208
本機でMP3・WMA・AACを再生するためのご注意
…… 208
ディスクのフォルダ構成…… 208
SDカード／USBメモリーのフォルダ構成 …… 208
本機で再生可能な動画ファイルについて
…… 210
MPEG4/WMV/H.264ファイルについて …… 210
本機で動画ファイルを再生するためのご注意…… 210
カントリーコード一覧…… 211
仕様…… 212
商標について…… 213
Gracenote® Music Recognition Service℠について
…… 214
製品を廃棄・譲渡・転売するときは…… 215
ナビゲーション内のデータ消去について…… 215
お客様のプライバシー保護のために…… 215
著作権保護のために…… 215
メニューマップ…… 216

収録データベースについて

■ データ取得日について

本機SD内の情報は、以下を使用しています。

●道路情報　　：2013年10月（一般道路）／ 2013年12月（高速・有料道路）
●ハイウェイ情報　：2013年12月現在
●交通規制情報　　：2013年11月現在
●イラスト情報　　：2013年10月（一般道路）／ 2013年12月（高速・有料道路）
●スマートIC情報　：2013年10月現在
●施設検索情報（タウンページ）：2013年11月現在
●施設検索情報（ブランド）　　：2013年11月現在
●施設検索情報（MAPPLEガイド／ピクチャービュー）：2014年2月版データ
●住所検索情報　　：2013年11月現在
●市区町村合併情報：2013年11月現在
●郵便番号検索情報：2013年11月現在
●TVサーチ　　：2014年1月現在（定期的に最新データを提供しています。→ P.164）
●個人宅電話番号　：2013年8月現在

※本機SD内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■ 地図データについて

●本商品に収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（測量法第44条に基づく成果使用承認11-080）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。（©2011一般財団法人日本デジタル道路地図協会）
●この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しております。（承認番号平23情使、第192－B48号）
●市街地図データは、住宅地図データベースを基に（株）ゼンリンが作成したものです。
●本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていないもの、名称や道路などが一部異なる場合があります。
●この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号　国地企調発第78号　平成16年4月23日）
●3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しました。（承認番号 平23情使、第768-001号）
●交通事故多発地点データは、（公財）交通事故総合分析センターが作成した交通事故多発地点の地図データに基づき作成したものを使用しています。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、1998年11月時点の交通事故多発地点です。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、（公財）日本交通管理技術協会と（公財）交通事故総合分析センターが所有権を有し、（株）ゼンリンは二次的著作物に使用実施権を取得しております。
●地形データは、国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を使用し、（株）武揚堂にて作成されたものです。（承認番号平9総使、第47号）
●道路データは、高速道路、有料道路はおおむね2013年12月、国道、県道、主要地方道はおおむね2013年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
●現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、一部地域の地区の地図データの更新を停止しております。
●ルート探索用データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しております。（承認番号平22業使、600号）

© 2011一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2013 ZENRIN CO., LTD.

■ 交通規制データについて

- ●交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- ●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■ 検索データについて

- ●個人宅電話番号検索では、公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
  また、電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。
- ●TVサーチは、クラリオン株式会社オリジナルデータを使用しました。TVサーチの著作権は、クラリオン株式会社に帰属します。承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。
- ●施設検索データは以下のデータを元に作成されています。
  - ・ NTTタウンページデータ
  - ・ 株式会社ゼンリン提供のデータ
  - ・ 株式会社昭文社提供のデータ
- ●NTTタウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。
- ●施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■ 注意事項

- ●データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。
- ●自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
- ●本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。
- ●本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ●本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。
- ●本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■ 安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください。）

本取扱説明書には、お使いになるかたやほかの人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で説明しています。

⚠ 警 告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。

⃠ 禁 止	「してはいけない内容」を示しています。
❗ 指 示	「しなければならない内容」を示しています。

⚠警 告

⃠ **運転者は、走行中に操作をしないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

❗ **操作は、安全な場所に車を停止させてから行ってください。**
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

⃠ **運転中は、画面を注視しないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

❗ **常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。**
本商品に使用している地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

❗ **一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。**
本商品の一方通行表示は、すべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

⃠ **本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。**
本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

本商品に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「本商品」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

- 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている本商品で使用する権利を許諾します。
- 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
- お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
  - 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
  - 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
  - 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
  - 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
  - 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
- お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
  - 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
  - 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
  - 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
  - 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
  - その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

市街地図収録エリア一覧

＜95%＞ ……全面積の95%以上が収録されている都市
＜80%＞ ……全面積の80%以上が収録されている都市
それ以外 ……市街中心部、または一部地域が収録されている都市

お知らせ

• 一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

収録都道府県	市街地図収録都市
北海道・東北地域	
北海道	**<95%>室蘭市** **<80%>江別市** 札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、江差町、喜茂別町、京極町、余市町、赤井川村、南幌町、長沼町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、斜里町、白老町、音更町、芽室町、幕別町、釧路町、白糠町
青森県	**<95%>三沢市** 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平川市、平内町、藤崎町、大鰐町、田舎館村、七戸町、六戸町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町、平泉町、大槌町、山田町、岩泉町
宮城県	**<95%>多賀城市** **<80%>仙台市、七ヶ浜町、色麻町、加美町** 石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、東松島市、大崎市、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、山元町、松島町、利府町、大和町、富谷町、大衡村、涌谷町、美里町、女川町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、にかほ市、仙北市、五城目町、八郎潟町、井川町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、最上町、高畠町、三川町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、下郷町、西郷村、矢吹町、三春町、小野町
関東地域	
東京都	**<95%>千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町** 檜原村、奥多摩町
千葉県	**<95%>千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、君津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、匝瑳市、いすみ市、大網白里市、酒々井町、栄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、御宿町** **<80%>旭市、香取市** 銚子市、館山市、成田市、鴨川市、富津市、南房総市、山武市、神崎町、多古町、東庄町、大多喜町、鋸南町
埼玉県	**<95%>さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、長瀞町、美里町、上里町、宮代町、杉戸町、松伏町** **<80%>毛呂山町、小川町** 秩父市、飯能市、越生町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町、寄居町

収録都道府県	市街地図収録都市
茨城県	**<95%>取手市、つくば市、ひたちなか市、守谷市、つくばみらい市、東海村、利根町** **<80%>水戸市、日立市、龍ケ崎市** 土浦市、古河市、石岡市、結城市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、鹿嶋市、潮来市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、鉾田市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町
栃木県	**<95%>小山市** **<80%>宇都宮市、足利市、野木町** 栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、塩谷町、高根沢町、那須町
群馬県	**<95%>玉村町** **<80%>伊勢崎市、太田市** 前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、下仁田町、甘楽町、中之条町、嬬恋村、草津町、東吾妻町、川場村、昭和村、みなかみ町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
神奈川県	**<95%>横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村** 山北町
中部地域	
静岡県	**<95%>清水町** **<80%>静岡市、沼津市、富士市、長泉町** 浜松市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、小山町、吉田町、川根本町、森町
長野県	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、中川村、松川町、高森町、阿智村、豊丘村、大鹿村、山形村、朝日村、白馬村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、飯綱町
新潟県	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、田上町、湯沢町
山梨県	**<95%>昭和町** 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、道志村、富士河口湖町
富山県	**<95%>射水市、舟橋村** **<80%>高岡市** 富山市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、上市町、立山町、入善町
石川県	**<95%>野々市市、内灘町** 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、志賀町、宝達志水町
岐阜県	**<95%>岐阜市、多治見市、各務原市、岐南町、笠松町、坂祝町** **<80%>羽島市、可児市、安八町** 大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、山県市、瑞穂市、本巣市、下呂市、海津市、養老町、垂井町、関ケ原町、神戸町、輪之内町、揖斐川町、大野町、北方町、富加町、川辺町、御嵩町
愛知県	**<95%>名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町** **<80%>豊橋市、西尾市、愛西市** 岡崎市、豊田市、新城市
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町

市街地図収録エリア一覧

収録都道府県	市街地図収録都市
近畿地域	
大阪府	**<95%>大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村** **<80%>泉佐野市、泉南市、能勢町**
京都府	**<95%>宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、精華町** **<80%>笠置町** 京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、南丹市、宇治田原町、和束町、南山城村
兵庫県	**<95%>神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、三田市、稲美町、播磨町、太子町** 姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、小野市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、福崎町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町
奈良県	**<95%>大和高田市、大和郡山市、橿原市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町** 奈良市、天理市、桜井市、五條市、宇陀市、山添村、御杖村、高取町、明日香村、大淀町
滋賀県	**<95%>草津市** 大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町
三重県	**<95%>木曽岬町、朝日町、川越町** **<80%>津市、四日市市、鈴鹿市、東員町** 伊勢市、松阪市、桑名市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、多気町、明和町、玉城町、度会町、紀宝町
和歌山県	**<95%>和歌山市** **<80%>岩出市** 海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、日高川町、白浜町、那智勝浦町、太地町
中国・四国・九州・沖縄地域	
岡山県	**<95%>早島町、里庄町** **<80%>岡山市、倉敷市、玉野市、浅口市** 津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、日吉津村
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、吉賀町
広島県	**<95%>府中町、海田町、熊野町、坂町** **<80%>広島市、福山市** 呉市、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町、神石高原町
山口県	**<95%>和木町** **<80%>周南市** 下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、山陽小野田市、田布施町、平生町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、大川村、いの町、佐川町、梼原町、四万十町
香川県	**<80%>宇多津町** 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町
徳島県	**<95%>徳島市** 鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、勝浦町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、伊方町

収録都道府県	市街地図収録都市
福岡県	**<95%>北九州市、福岡市、大牟田市、中間市、春日市、志免町、須恵町、粕屋町、芦屋町、水巻町、苅田町** **<80%>直方市、小郡市、太宰府市、新宮町、遠賀町** 久留米市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、宗像市、古賀市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、久山町、岡垣町、鞍手町、桂川町、筑前町、大刀洗町、広川町、香春町、糸田町、川崎町、大任町、福智町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、有田町、白石町
大分県	**<80%>別府市** 大分市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、由布市、日出町、玖珠町
熊本県	**<80%>菊陽町** 熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、阿蘇市、天草市、合志市、玉東町、南関町、大津町、南小国町、小国町、嘉島町、益城町、山江村
長崎県	**<95%>時津町** **<80%>長与町** 長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、西海市、雲仙市、川棚町、波佐見町、佐々町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、新富町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市
沖縄県	**<95%>那覇市、宜野湾市、浦添市、南風原町** **<80%>北谷町、北中城村、西原町、与那原町** 石垣市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、読谷村、嘉手納町、中城村、八重瀬町

VICS情報について

VICS情報の更新に伴う表示変更

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。
現在お使いのナビゲーション、地図ソフトの対応などにつきましては、弊社お客様相談室（連絡先は裏表紙をご覧ください）にお問い合わせください。また詳しくは、以下のVICSセンターへお問い合わせください。

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。表示内容のお問い合わせについては以下のVICSセンターへ、その他の内容に関連するお問い合わせについては、弊社お客様相談室（連絡先は裏表紙を参照ください）にご連絡ください。問い合わせ先は次のようになります。

問い合わせ先 / 問い合わせ項目	（株）ホンダアクセス お客様相談室	VICSセンター
VICSの概念、計画	−	○
レベル1（文字情報）の表示内容	−	○
レベル2（図形情報）の表示内容	−	○
レベル3（地図上に表示される情報）の表示内容	−	○
情報のサービスエリア	○	−
受信の可否	○	−
ナビゲーション機器の調子、機能、使いかた	○	−

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは一般財団法人VICSセンターにお問い合わせください。

■ 一般財団法人VICSセンター

電話番号：0570-00-8831
受付時間：9:30 ～ 17:45（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX番号：(03) 3562-1719
●Webサイト
http://www.vics.or.jp/

VICSリンクデータベースの著作権について
VICS情報のデータの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会が有しております。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　則

(約款の適用)
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために､FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（撹乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は､当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)
第12条
1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また､第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　金

(料金の支払い義務)
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　守

(当センターの保守管理責任)
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　則

(利用に係る加入者の義務)
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金　300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

本機で再生可能な音声ファイルについて

本機では、以下の音声ファイルを再生できます。

●CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、SDカード、USBメモリーに保存されたMP3、WMA、またはAACファイル
詳しくは以下をご覧ください。
• 本機で使えるSDカード／USBメモリー
→ P.18

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。
WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。
AACとは、Advanced Audio Codingの略称で、映像圧縮規格MPEG-2、またはMPEG-4で使用される音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、同等の音質で再生します。

再生できる MP3・WMA・AACディスク

●記録メディア※1：
CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW
●記録フォーマット：
CD：ISO9660レベル1 ／レベル2、Joliet、Romeo
DVD：UDF（Ver1.02/1.5/2.0）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1 ／レベル2、Joliet、Romeo
●パケットライトには非対応
●拡張子が.MP3、.WMA、または.M4Aのファイル（MP3・WMA・AACファイル以外には「.MP3」「.WMA」「.M4A」の拡張子を付けないでください。故障の原因となります）

※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RW、DVD+R/RWはマルチセッション非対応）

MP3・WMA・AACのVBRファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

MP3ファイルについて

●ID3-Tag：Ver1.x、2.xの以下の表示に対応
• album（Disc Titleとして表示）
• track（Track Titleとして表示）
• artist（Track Artistとして表示）
●エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
●再生可能なサンプリング周波数
MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
MPEG2.5：11.025kHz/12kHz/8kHz
※音質面においては44.1kHz以上を推奨
●再生可能なビットレート
MPEG1：32kbps ～ 320kbps/VBR
MPEG2：8kbps ～ 160kbps/VBR
MPEG2.5：8kbps ～ 160kbps/VBR
※音質面においては128kbps以上を推奨
●SDカード／USBメモリーから再生する場合、以下のサンプリング周波数、ビットレートで記録されたファイルは音切れが発生することがあります。
サンプリング周波数：16kHz以下
ビットレート：8kbps以下
●MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
●MP3ファイルのデータ内容によっては、音飛びすることがあります。
●記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
●ディスク／SDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できないことがあります。
●低ビットレートのファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
●Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9以上でエンコードされたWMAファイルの再生については、Pro、Lossless、Voiceのコーデックに対応していません。
- ディスク／ SDカード／ USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- WMAファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。

	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	
384	—	32	
320	44.1	44.1	
256	44.1	44.1	
192	48/44.1	44.1	
160	48/44.1	44.1	
128	48/44.1	44.1	
96	48/44.1	44.1	
80	44.1	44.1	
64	48/44.1	44.1/32	
48	44.1/32	44.1/32	
44	—	32	
40	32	32	
36	—	32	
32	44.1/32/22.05	48/44.1/32/22.05	
22	22.05	32/22.05	
20	44.1/32/22.05/16	44.1/32/22.05/16	
16	22.05/16	22.05/16	
12	16/8	16/8	
10	16/11.025	16/11.025	
8	11.025/8	11.025※/8※	
6	8	8※	
5	8	8※	
VBR	44.1	48/44.1	

※　音切れが発生する場合があります。

AACファイルについて

- ディスク／ SDカード／ USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- AACファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。

	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	
320	48/44.1	—	
256	48/44.1	48/44.1	
224	48/44.1	—	
192	48/44.1	48/44.1/32	
160	48/44.1	48/44.1/32	
144	—	48/44.1/32/24	
128	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05	
112	48/44.1	—	
96	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16	
80	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16	
64	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025	
56	48/44.1/32	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025	
48	44.1/32	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
40	44.1/24	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
32	32/22.05	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
28	32/16	—	
24	32/16	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
20	24/11.025	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
16	22.05/11.025	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
8	11.025	48/44.1/32/24/22.05/16※/12※/11.025※/8※	
VBR	48/44.1 (48/64/80/96/128/160/192/256kbpsのとき)	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	

※　音切れが発生する場合があります。

MP3・WMA・AACの記録メディアについて

本機でMP3・WMA・AACを再生するためのご注意

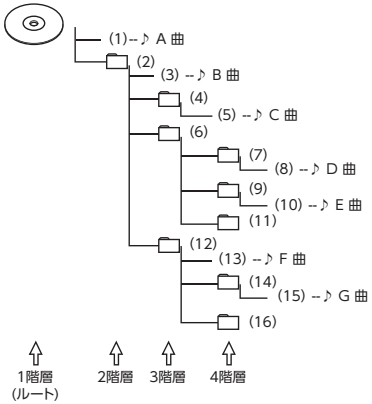
- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・曲が記録されている場合、超過しているフォルダ・ファイル・曲は本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3・WMA・AACのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WMなど）が残ることがあります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- SDカード、USBメモリーともに、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

ディスクのフォルダ構成

ディスク内の最大フォルダ・ファイル・曲数は、以下のとおりです。

フォルダ：255（ルートを含む）
ファイル：512
曲：1フォルダあたり255

MP3・WMA・AACファイルを記録したディスクのイメージ（例：1 ～ 4階層の場合）は、下図のようになります。
曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。下図の場合の再生順序は、(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15) となります。



MEMO

- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのファイルの再生に対応しています。多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SDカード／USBメモリーのフォルダ構成

音楽データを認識できる階層は、SDカード、USBメモリーともに、ルートを除く8階層までです。この階層内にあるMP3・WMA・AAC音楽データのみが認識されます。何階層目にデータを置かねばならないという指定はありません。フォルダ名、ファイル名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

お知らせ

- MP3・WMA・AACファイルを含まないフォルダは認識されません。

MEMO

- SDカード、USBメモリーは、8階層（ルートディレクトリを除く）までのファイルの再生に対応しています。多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- 1つのフォルダに255以上の曲が入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識される曲は変わります。
- 1つのフォルダにMP3・WMA・AACファイル以外のファイルを入れた場合、認識される曲数が少なくなることがあります。
- 認識可能な最大フォルダ・ファイル・曲数は以下のとおりです。

  フォルダ：512

  ファイル：8000

  曲：1フォルダあたり255
- 1つのSDカードでMusic Rackと共用できます。
- 第1階層にファイルがある場合は、フォルダリスト画面の「MASTER FOLDER」内に置かれます。

本機で再生可能な動画ファイルについて

本機では、以下の動画ファイルを再生できます。

●SDカード、USBメモリーに保存された MPEG4、WMV、またはH.264ファイル（最大4GB）

詳しくは以下をご覧ください。

• 本機で使えるSDカード／ USBメモリー → P.18

MPEG4とは、Moving Picture Experts Group phase 4の略称で、映像圧縮技術に関する標準フォーマットです。

WMVとは、Windows Media Videoの略称で、Windows Media Playerが標準でサポートしている動画ファイル形式の1つです。

H.264とは、動画データの圧縮符号化方式の標準の1つです。1セグ放送などの標準動画形式として採用されています。

MPEG4/WMV/H.264ファイルについて

●Windows Media Video 9（FOURCC code：WMV3）対応

●チャプター非対応

●DRM非対応（CPRM含む）

	MPEG4	H.264	WMV
ビデオ コーデック	ISO MPEG4	H.264	VC-1
音声 コーデック	AAC		WMA9
コンテナ	MP4		ASF
ビットレート (bps)	平均4M/最大8M (VBR/CBR対応)		
フレームレート (fps)	30		
最大解像度	800 x 480		

本機で動画ファイルを再生するためのご注意

●本機で再生動作を確認したエンコーダソフトは以下のとおりです。

※ エンコーダソフトにより作成可能な動画ファイルに違いがあります。

- EDIUS 6（grass valley社）
- EDIUS Neo 3（grass valley社）
- VideoStudioPro X4（COREL社）
- Roxio Creator 2011（RUNEXY社）

●動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。

●以下のファイルは、正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。

- 極端にサイズの大きい、または小さいファイル
- 極端に再生時間の長い、または短いファイル

●同一ファイル内に音声／映像以外の情報（画像など）が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。

●3チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データを含む映像ファイルは再生できません。

●ファイルはファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。

●対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子（.MP4/.M4Vなど）を付けないでください。雑音や故障の原因となります。

●動画ファイルの作りかたによっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。

●動画ファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

●テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。著作権保護された動画ファイルの映像は再生できません。

●USBメモリーのメディアにより正常に再生できない場合があります。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBURG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775

国名	国コード	入力番号
MALTA	MT	7784
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

仕様

ナビゲーション（GPS）部

受信周波数　：1575.42MHz
　　C/A コード
感度　：－160dBm以下
チャンネル数　：最大50チャンネル

LCD モニター部

画面寸法　：7型
（画面開口部）（156.4mm×81.5mm）
表示方式　：透過型TN液晶パネル
駆動方式　：TFT（薄膜トランジスタ）
　アクティブマトリクス駆動方式
画素数　：1,152,000画素
　［水平800×垂直480×
　3（RGB）］

12セグ／ 1セグチューナー部

受信チャンネル：UHF 13 ～ 62ch
最大感度　：－80dBm以下

CD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：80dB
高調波ひずみ率：0.05%

DVD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：80dB
高調波ひずみ率：0.05%

FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz ～ 90.0MHz
実用感度　：8dBμV

AMチューナー部

受信周波数　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　：30dBμV

オーディオ部

定格出力　：18W×4（10%、4Ω）
瞬間最大出力　：47W×4
適合インピーダンス　：4Ω

Bluetooth部

受信周波数　：2402MHz ～ 2480MHz
　（1MHzステップ）
受信感度　：－70dBm以下
規格　：バージョン2.1+EDR

共通部

電源電圧　：14.4V
（10.8 ～ 15.6V 許容電圧範囲）
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：約4A（1W出力時）

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。
それらの一部にはMPL（Mozilla Public License）のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。
ソースコードの入手およびMPLについては以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/products/navigation/mpl/index.html
その他、本機には以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
- Independent JPEG Group

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●DVD VIDEO はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

●SD,SDHC,miniSD and microSD Logos are trademarks of SD-3C,LLC.

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

●Gracenote®、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および”Powered by Gracenote”ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote,Inc.の登録商標または商標です。

●VICSは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

●Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

●MAPPLEガイドデータは、株式会社昭文社の登録商標または商標です。

● “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning is a trademark of Apple Inc.

Made for iPod iPhone

●iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

●iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

●Microsoft、WindowsおよびWindows XP／Windows Vista／Windows 7／Windows 8／Windows 8.1は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

●「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

●Google、Android™、Google Play™は、Google Inc.の商標または登録商標です。

●DSRCは一般社団法人ITS推進機構（ISPA）の登録商標です。

●Siri Eyes Free, iPhone and Siri are trademarks of Apple Inc.,registered in the U.S. and other countries.

●オープンソースを適用したソースコードの入手方法について
本機ではオープンソースを適用したソフトウェアを使用しています。
このソフトウェアに関するソースコードの入手をご希望されるお客さまには、以下のWebサイトよりダウンロードによる方法にて提供しております。
http://www.clarion.com/jp/ja/products/personal/navigation/gpl/index.html

●Intelligent Tune®、インテリジェントチューンはクラリオン株式会社の登録商標です。

Gracenote® Music Recognition Service℠について

Gracenote,Inc.提供のCDおよび音楽関連データ:copyright© 2000 to present Gracenote.
Gracenote Software,copyright© 2000 to present Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および”Powered by Gracenote”ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

※本機のデータベースは、2014年2月時点のものです。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote プライバシー ポリシーを参照してください。
Gracenote ソフトウェアとGracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenote サーバーにおける全てのGracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。
Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenote ソフトウェアまたは任意のGracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2014

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

ナビゲーション内のデータ消去について

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡･転売､または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リストなど）を初期化（データの消去）する場合は、Honda 販売店へご相談ください。

著作権保護のために…

メモリー内に保存された画像データなどを初期化（データの消去）する場合は、Honda 販売店へご相談ください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

Honda 販売店では、すべてのデータの初期化を行っています。データを消去するには、Honda 販売店にご依頼ください。

メニューマップ

●メインメニュー

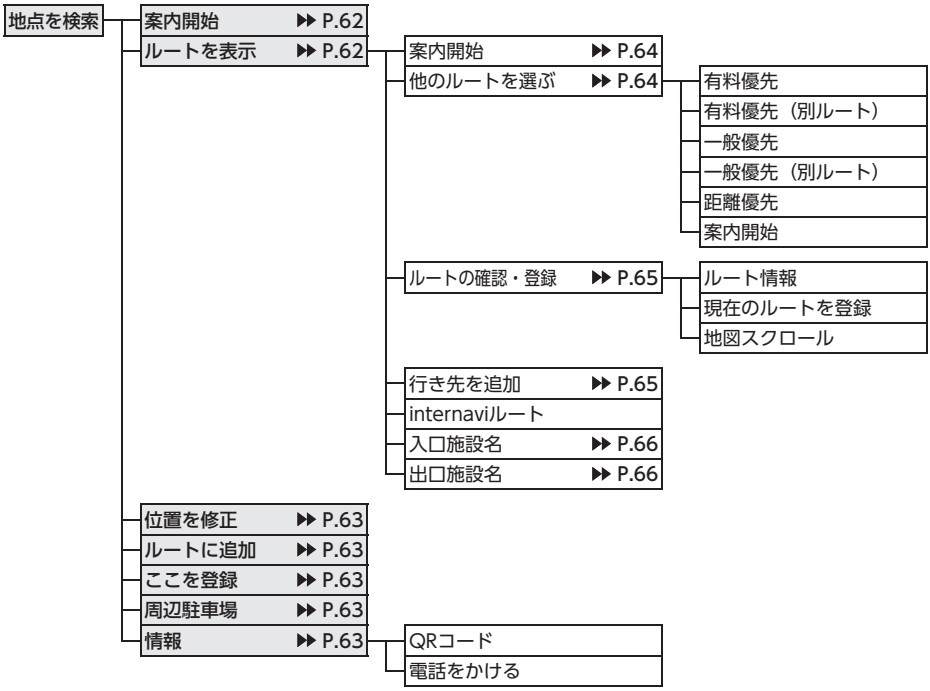
- MENU
  - 目的地 ▶▶ P.39
  - ルート ▶▶ P.61
  - 情報 ▶▶ P.79
  - 設定 ▶▶ P.149
  - 電話 ▶▶ P.87
  - 昼／夜 ▶▶ P.161
  - QQコール※ ▶▶ P.178

※QQコールの入会手続きおよび設定完了時のみ

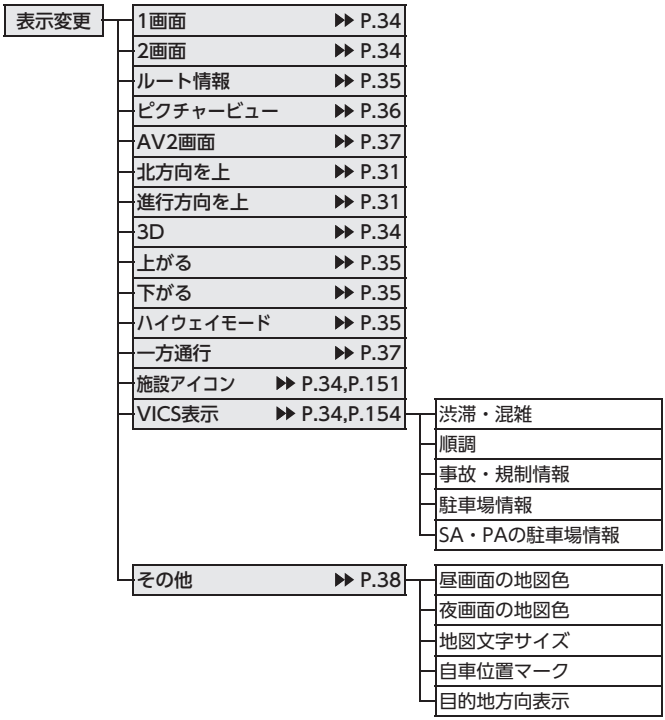
●現在地地図メニュー

- 現在地
  - 自車位置マーク ▶▶ P.28
  - AVコントロールバー表示 ▶▶ P.29
  - NaviCon ▶▶ P.54
  - マルチインフォメーション ▶▶ P.29
    - オーディオ情報
    - マルチメーター情報
    - GPS&自車方位情報
    - 追加表示しない
  - 詳細／広域 ▶▶ P.30
  - 方位マーク ▶▶ P.31
  - 表示変更 ▶▶ P.33
  - 現在地メニュー ▶▶ P.30
    - 周辺施設を検索
    - 検索アイコンの消去
    - ここを登録
    - カメラ地点登録
    - 周辺駐車場
  - 地図をスクロールする ▶▶ P.31
    - 決定
      - ここに行く
      - ここをルートに追加
      - 周辺施設を検索
      - 情報を見る
      - 消去
      - ここを登録
      - カメラ地点登録
      - 周辺駐車場
    - 微調整

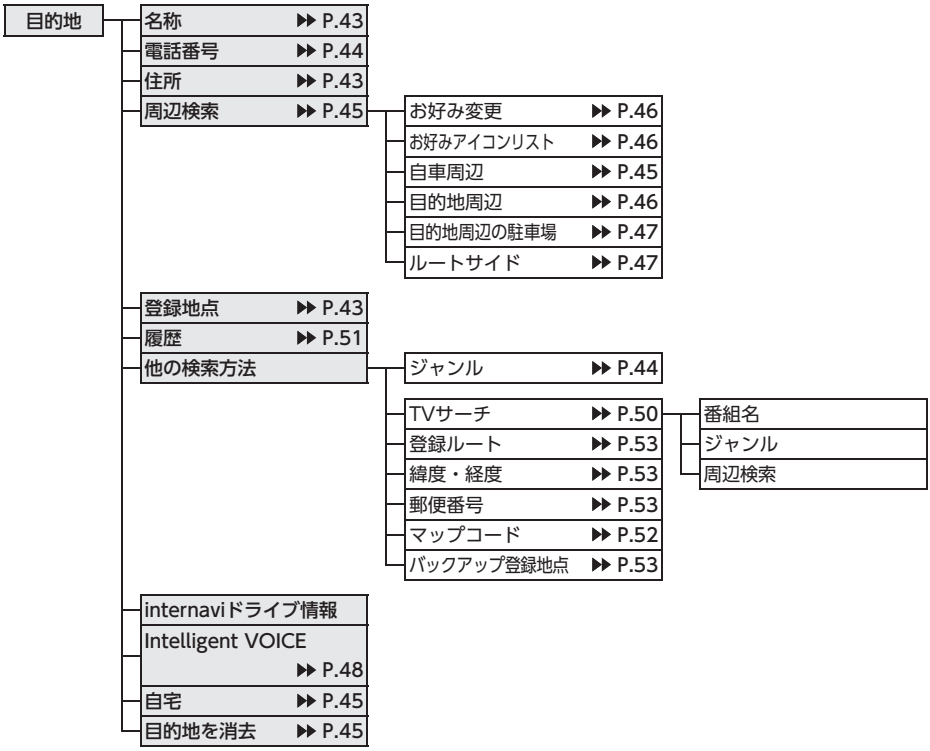
●地点メニュー


地点を検索
案内開始 ▶▶ P.62
ルートを表示 ▶▶ P.62
案内開始 ▶▶ P.64
他のルートを選ぶ ▶▶ P.64
有料優先
有料優先（別ルート）
一般優先
一般優先（別ルート）
距離優先
案内開始
ルートの確認・登録 ▶▶ P.65
ルート情報
現在のルートを登録
地図スクロール
行き先を追加 ▶▶ P.65
internaviルート
入口施設名 ▶▶ P.66
出口施設名 ▶▶ P.66
位置を修正 ▶▶ P.63
ルートに追加 ▶▶ P.63
ここを登録 ▶▶ P.63
周辺駐車場 ▶▶ P.63
情報 ▶▶ P.63
QRコード
電話をかける

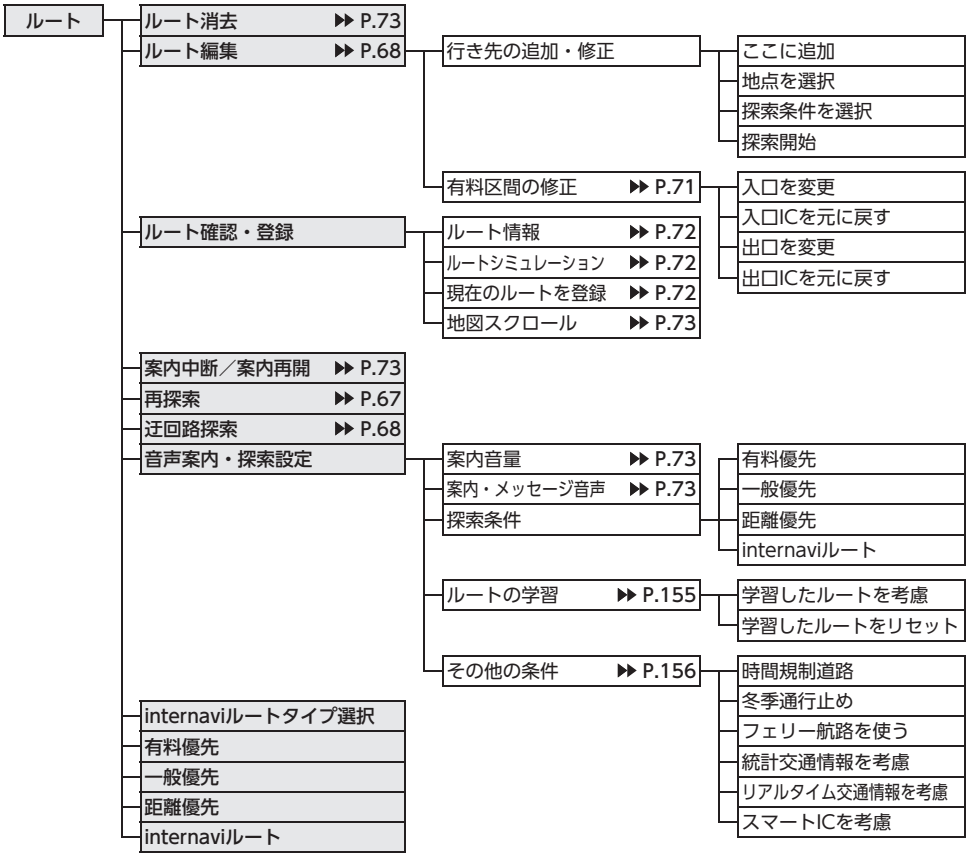
●表示変更メニュー


表示変更
1画面 ▶▶ P.34
2画面 ▶▶ P.34
ルート情報 ▶▶ P.35
ピクチャービュー ▶▶ P.36
AV2画面 ▶▶ P.37
北方向を上 ▶▶ P.31
進行方向を上 ▶▶ P.31
3D ▶▶ P.34
上がる ▶▶ P.35
下がる ▶▶ P.35
ハイウェイモード ▶▶ P.35
一方通行 ▶▶ P.37
施設アイコン ▶▶ P.34,P.151
VICS表示 ▶▶ P.34,P.154
渋滞・混雑
順調
事故・規制情報
駐車場情報
SA・PAの駐車場情報
その他 ▶▶ P.38
昼画面の地図色
夜画面の地図色
地図文字サイズ
自車位置マーク
目的地方向表示

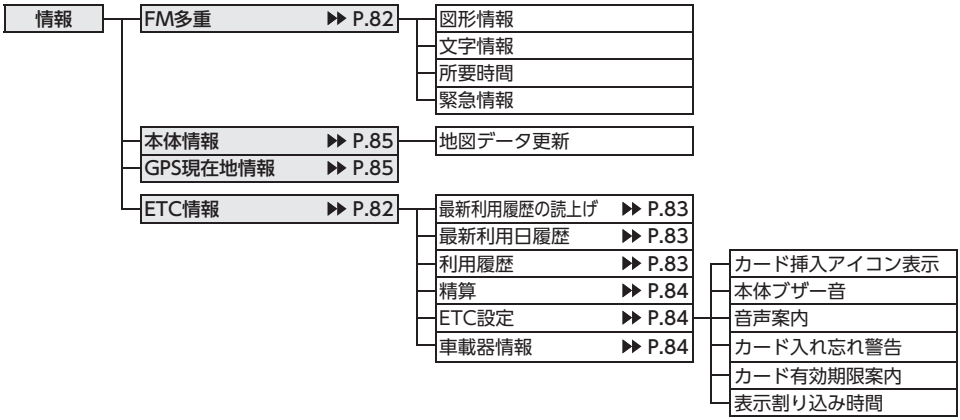
●目的地メニュー


目的地
名称 ▶▶ P.43
電話番号 ▶▶ P.44
住所 ▶▶ P.43
周辺検索 ▶▶ P.45
お好み変更 ▶▶ P.46
お好みアイコンリスト ▶▶ P.46
自車周辺 ▶▶ P.45
目的地周辺 ▶▶ P.46
目的地周辺の駐車場 ▶▶ P.47
ルートサイド ▶▶ P.47
登録地点 ▶▶ P.43
履歴 ▶▶ P.51
他の検索方法
ジャンル ▶▶ P.44
TVサーチ ▶▶ P.50
番組名
ジャンル
周辺検索
登録ルート ▶▶ P.53
緯度・経度 ▶▶ P.53
郵便番号 ▶▶ P.53
マップコード ▶▶ P.52
バックアップ登録地点 ▶▶ P.53
internaviドライブ情報
Intelligent VOICE ▶▶ P.48
自宅 ▶▶ P.45
目的地を消去 ▶▶ P.45

●ルートメニュー



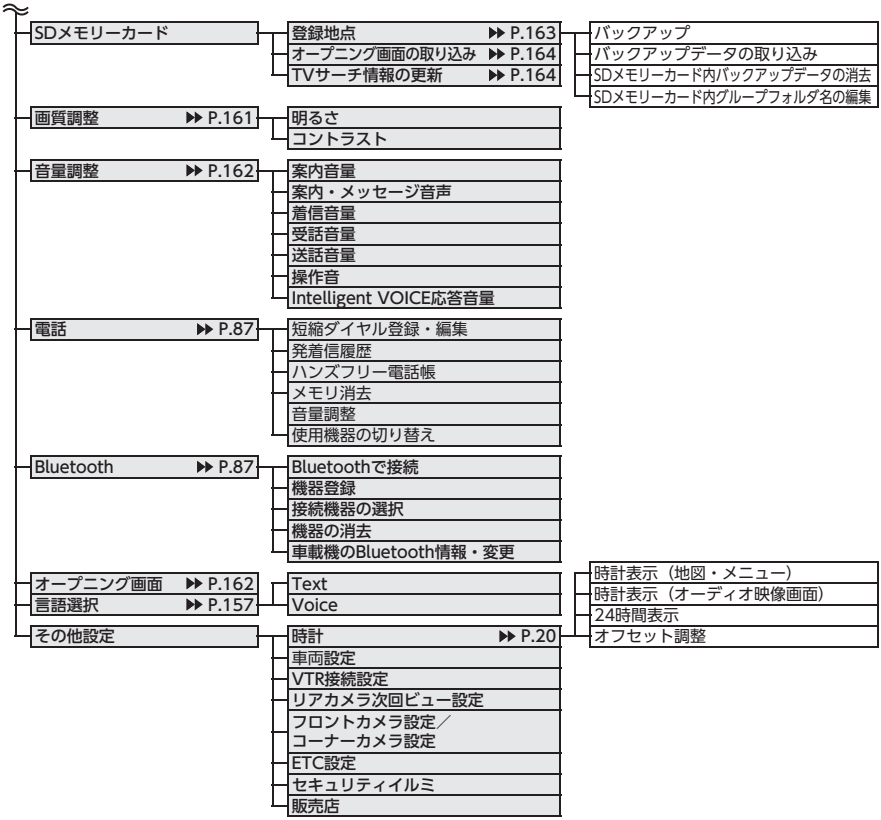
●情報メニュー



●設定メニュー

- 設定
  - ナビゲーション
    - 登録データの編集・消去
      - 自宅（未登録）／自宅 ▶▶ P.26
      - 登録地点 ▶▶ P.58
      - 登録ルート ▶▶ P.60
      - 登録の消去 ▶▶ P.45、P.59、P.60
      - SDメモリーカードに登録地点をバックアップ
      - バックアップデータの取り込み ▶▶ P.163
      - SDメモリーカード内バックアップデータの消去 ▶▶ P.163
    - 地図表示変更 ▶▶ P.33
      - 1画面
      - 2画面
      - ルート情報
      - ピクチャービュー
      - AV2画面
      - 北方向を上
      - 進行方向を上
      - 3D
      - 上がる
      - 下がる
      - ハイウェイモード
      - 一方通行
      - 施設アイコン
      - VICS表示
      - その他
    - アイコンの表示 ▶▶ P.151
      - 施設アイコンの表示
      - 検索アイコンの表示
      - 検索アイコンの消去
      - 交通事故多発地点の表示
    - 軌跡の設定 ▶▶ P.151
      - 軌跡の表示
      - 軌跡の間隔
      - 軌跡の消去
    - ルート案内の設定 ▶▶ P.152
      - 案内音量
      - 案内・メッセージ音声
      - ルート音声案内の詳細設定
      - 音声案内時にオーディオ音量を下げる
      - 案内音声
      - 拡大図設定
      - 到着予想時刻の表示切替
      - AV画面での割り込み
      - 到着予想時刻の速度設定
      - その他の設定
    - VICSの設定 ▶▶ P.154
      - VICS表示の対象道路
      - 地図上のVICS表示設定
      - FM多重情報の受信地域選択
    - ルート探索条件の設定 ▶▶ P.155
      - 探索条件
      - ルートの学習
      - その他の条件
    - その他の設定 ▶▶ P.156
      - 現在地名称プレート表示
      - スクロール地点情報表示
      - 現在地修正
      - センサーの学習リセット
      - コントロールバー自動消し
  - オーディオ ▶▶ P.158
    - 音場設定
    - Balance/Fader
    - グラフィックEQ
    - Loudness
    - Sound Restorer
    - 車速連動音量
    - Virtual Bass
    - Volume Smoother
    - Intelligent Tune
    - その他設定
  - ≈

メニューマップ


SDメモリーカード
登録地点 ▶▶ P.163
オープニング画面の取り込み ▶▶ P.164
TVサーチ情報の更新 ▶▶ P.164
バックアップ
バックアップデータの取り込み
SDメモリーカード内バックアップデータの消去
SDメモリーカード内グループフォルダ名の編集
画質調整 ▶▶ P.161
明るさ
コントラスト
音量調整 ▶▶ P.162
案内音量
案内・メッセージ音声
着信音量
受話音量
送話音量
操作音
Intelligent VOICE応答音量
電話 ▶▶ P.87
短縮ダイヤル登録・編集
発着信履歴
ハンズフリー電話帳
メモリ消去
音量調整
使用機器の切り替え
Bluetooth ▶▶ P.87
Bluetoothで接続
機器登録
接続機器の選択
機器の消去
車載機のBluetooth情報・変更
オープニング画面 ▶▶ P.162
言語選択 ▶▶ P.157
Text
Voice
時計表示（地図・メニュー）
時計表示（オーディオ映像画面）
24時間表示
オフセット調整
その他設定
時計 ▶▶ P.20
車両設定
VTR接続設定
リアカメラ次回ビュー設定
フロントカメラ設定／
コーナーカメラ設定
ETC設定
セキュリティイルミ
販売店

●電話メニュー

- 電話
  - 短縮ダイヤル ▶▶ P.97
  - 発着信履歴 ▶▶ P.94
    - 着信履歴
    - 発信履歴
  - ハンズフリー電話帳 ▶▶ P.96
  - ダイヤル入力 ▶▶ P.94
  - 音量調整 ▶▶ P.98
  - 機器登録 ▶▶ P.90
  - 接続機器の選択 ▶▶ P.92
  - 使用機器の切り替え ▶▶ P.93

●オーディオメニュー

- AUDIO
  - FM/AM ▶▶ P.105
    - FM/AM ▶▶ P.105
    - 放送局リスト ▶▶ P.107
      - リスト更新
    - お出かけ ▶▶ P.106
    - メニュー ▶▶ P.106
      - オートプリセット
      - 地域選択
      - 放送局リストの自動更新
  - DVD/CD(DVD) ▶▶ P.120
    - トップメニュー※1 ▶▶ P.122
    - メニュー※1 ▶▶ P.122
    - メニュー操作※1 ▶▶ P.122
    - プレイリスト※2 ▶▶ P.122
    - 静止画切替※2 ▶▶ P.123
    - リスト※2 ▶▶ P.122
    - 設定
      - 10キーダイレクト入力※1 ▶▶ P.123
      - 音声・字幕・アングル※1 ▶▶ P.123
      - 音声・字幕※2 ▶▶ P.123
      - 画質調整 ▶▶ P.124
      - 画面切替 ▶▶ P.124
      - 常に状態を表示する※2 ▶▶ P.124
      - 初期設定※1 ▶▶ P.125
    - リピート ▶▶ P.121
    - 再生／停止
  - DVD/CD(CD) ▶▶ P.127
    - REC
    - 機能 ▶▶ P.128
    - 録音設定
      - CD挿入時に自動録音
  - DVD/CD(ディスク) ▶▶ P.127
    - 機能 ▶▶ P.128
    - 前フォルダ ▶▶ P.128
    - 次フォルダ ▶▶ P.128
  - Music Rack ▶▶ P.129
    - 設定
      - アーティスト検索 ▶▶ P.132
      - タイトル編集 ▶▶ P.133
      - 曲の消去 ▶▶ P.134
      - 選択演奏 ▶▶ P.133
      - アルバム並べ替え ▶▶ P.134
    - 機能 ▶▶ P.132
    - 前アルバム ▶▶ P.132
    - 次アルバム ▶▶ P.132

※1：DVDビデオ再生時のみ
※2：DVD-VR再生時のみ

※3：ビデオのみ
※4：オーディオのみ

索引

あ

アーティスト名から再生（Music Rack）…… 132
アルバムアートワークの表示
iPodミュージック …… 144
SDカード …… 138
USBメモリー …… 138
アルバム情報の更新…… 134
アルバム情報の編集…… 133
アングルの切り替え（DVDビデオ）…… 123
案内音声の設定…… 153
案内開始…… 62
案内中断…… 73

い

行き先位置を修正…… 69
行き先追加…… 65
行き先の消去…… 70
行き先の並べ替え…… 70
一般道の方面看板表示…… 152
一方通行表示…… 37
緯度・経度検索…… 53

う

迂回路探索…… 68

お

オーディオON/OFF …… 104
オーディオ表示画面の切り替え…… 104
オーディオリモコンスイッチ…… 168
オートプリセット
テレビ…… 113
ラジオ…… 106
オートリルート…… 154
オープニング画面の設定…… 162
お好みアイコンリスト検索…… 46
音声案内（ETC）…… 84
音声案内時にオーディオ音量を下げる…… 152
音声言語の切り替え
DVDビデオ …… 123
テレビ…… 117
音声検索…… 48
音声の切り替え（DVD-VR）…… 123
音量の調整
案内音量…… 73, 152, 162
案内・メッセージ音声…… 73, 152, 162
オーディオ・ビジュアル…… 103
受話音量…… 162
操作音ON/OFF …… 162
送話音量…… 162
着信音量…… 162

か

カード入れ忘れ警告（ETC）…… 84
カード挿入アイコン表示（ETC）…… 84
拡大図設定…… 152
画質の調整
DVD-VR …… 124
DVDビデオ …… 124
iPodビデオ …… 143
SDカード …… 138
USBメモリー …… 138
VTR…… 171
テレビ…… 120
ナビゲーション画面…… 161
リアカメラ…… 174
画面ON/OFF …… 20
画面サイズの切り替え
DVD-VR …… 124
DVDビデオ …… 124
SDカード …… 137
USBメモリー …… 137
VTR…… 171
カントリーコード…… 127

き

キーワード入力検索…… 44
軌跡の間隔…… 151
軌跡の消去…… 151
軌跡の表示…… 151
緊急放送…… 116

く

区間設定…… 70
グラフィックEQ …… 159

け

経由地の追加…… 69
系列局サーチ…… 112
言語の選択…… 157
現在地ボタン…… 28
現在地名称プレート表示…… 156
現在地メニュー…… 30
現在のルートを登録…… 72
検索アイコン…… 48
検索アイコンの消去…… 151
検索アイコンの表示…… 151
検索結果画面…… 55
検索地点の位置修正…… 63
検索地点の施設情報…… 63
検索地点の登録…… 63
検索地点をルートに追加…… 63

こ

交差点ガイド設定…… 153
交差点手前の案内表示…… 75
高速道路の案内表示…… 75
交通事故多発地点の表示…… 151
交通情報…… 85
コーナーカメラ…… 176
コントロールバー自動消し…… 157

さ

細街路案内…… 77
再探索…… 67
サブチャンネル…… 114

し

時間規制道路…… 156
自車位置の修正…… 157
自車位置の精度…… 9
自車位置マーク…… 28, 38
自車周辺検索
TVサーチ …… 51
周辺検索…… 45
施設アイコンの表示…… 151
施設情報…… 55
施設名称入力検索…… 43
自宅に戻る…… 45
自宅の登録…… 26
自宅の編集…… 26
自動応答保留…… 98
自動で選局
テレビ……112
自動表示メッセージ（テレビ）…… 116
字幕言語の切り替え（DVDビデオ）…… 123
字幕表示の切り替え
DVD-VR ……123
テレビ……117
車速連動音量…… 158
シャッフル再生
AAC ……128
Bluetoothオーディオ ……147
CD ……128
iPodミュージック ……142
MP3 ……128
Music Rack ……132
SDカード ……137
USBメモリー……137
WMA ……128
ジャンル検索…… 44
ジャンル検索（TVサーチ）…… 51
住所検索…… 43
周辺駐車場検索
検索地点周辺…… 63
自車位置周辺…… 46
スクロール先周辺…… 52
目的地周辺…… 47
受信バンド
テレビ……113
ラジオ……106
手動で選局…… 105
手動で放送局登録
テレビ……114
ラジオ……107
条件指定再生
Bluetoothオーディオ ……146
iPodビデオ ……143
iPodミュージック ……143
Music Rack ……133
状態表示
DVD-VR ……124
DVDビデオ ……124
SDカード ……138
USBメモリー……138

す

スキャン再生
AAC ……128
CD ……128
MP3 ……128
Music Rack ……132
SDカード ……137
USBメモリー……137
WMA……128
スクロール位置の微調整…… 32
スクロール検索…… 42
スクロール先周辺検索…… 52
スクロール地点情報表示…… 156
スマートICを考慮 …… 156
スロー再生…… 121

せ

静止画の切り替え（DVD-VR）…… 123
設定情報の初期化（テレビ）…… 119
センサーの学習リセット…… 157

そ

操作パネル…… 14
操作パネルの開閉…… 19
操作パネルの角度調整…… 19
ソース選択画面表示…… 103

た

探索条件…… 64, 67, 155
短縮ダイヤルの消去…… 97
短縮ダイヤルの登録…… 96
短縮ダイヤルの編集…… 97

ち

遅延補正…… 120
地図上のVICS表示設定 …… 154
地図色…… 38
地図の拡大／縮小…… 30
地図のスクロール…… 31
地図の表示変更…… 33
地図の向き…… 31
地図文字サイズ…… 38
地点の登録…… 58
地名入力検索…… 43
着信音…… 98
チャンネル番号…… 113

つ

通過交差点の情報表示…… 152
通話音量…… 98

て

データの書き出し
アルバム情報……134
登録地点……163
データの取り込み
TVサーチ情報 ……164
アルバム情報……134
オープニング画面……164
登録地点……163
データ放送…… 115
デバイス名変更…… 99
デフォルメ図…… 76
テレビ…… 108
テレビの設定…… 116
電源ON/OFF …… 19
電話受信…… 98
電話帳登録…… 95
電話帳の消去…… 96
電話の設定…… 98
電話発信
施設情報…… 96
短縮ダイヤル…… 97
電話帳…… 96
電話番号…… 94
発着信履歴…… 94
電話番号入力検索…… 44

と

冬季通行止め…… 156
統計交通情報を考慮…… 156
到着予想時刻の速度設定…… 154
到着予想時刻の表示切替…… 152
登録地点の位置修正…… 59
登録地点の消去…… 59
登録地点の並べ替え…… 58
登録地点の編集…… 58
登録リスト検索…… 43
登録ルート検索…… 53
登録ルートの消去…… 60
登録ルートの編集…… 60
時計画面表示…… 20
時計表示設定…… 20
トラック情報の編集…… 133

に

二重音声の切り替え（テレビ）…… 117

は

ハイウェイモードの自動表示…… 34
パスキー変更…… 99
発着信履歴の消去…… 95
パレンタルレベル
　視聴制限……126
　パスワードの設定……126
番組内容…… 115
番組表…… 112

ひ

ピクチャービュー検索…… 53
ピクチャービューモード…… 36
昼画面…… 161

ふ

フェリー航路を使う…… 156
プリセットチャンネル
　テレビ……113
　ラジオ……106
フロントカメラ…… 176

へ

ペアリング…… 90

ほ

放送局自動サーチ設定…… 118
放送局の自動切り替え（テレビ）…… 117
放送局リストの自動更新…… 107
放送メール…… 118
本体情報…… 85
本体ブザー音（ETC）…… 84

ま

マップコード検索…… 52
マルチインフォメーションキー…… 29

め

メインチャンネル…… 114
メディアの出し入れ…… 102
メニューから再生…… 121

も

目的地検索…… 39
目的地周辺検索
　周辺検索…… 46
　TVサーチ …… 51
目的地消去…… 45
目的地方向表示…… 38
目的地メニュー画面のカスタマイズ…… 161
目的地履歴の消去…… 51
モニターサイズの設定（DVDビデオ）…… 125

ゆ

優先エリアの切り替え（テレビ）…… 118
優先言語の設定（DVDビデオ）…… 125
郵便番号検索…… 53
有料区間の修正…… 71
有料道路の出入口選択…… 66

よ

夜画面…… 161

ら

ラジオ…… 105
ラジオの設定…… 108

り

リアカメラ…… 173
リア席モニター…… 172
リアルタイム交通情報を考慮…… 156
リストから再生
　AAC ……129
　Bluetoothオーディオ ……146
　CD ……129
　DVD-VR ……122
　iPodミュージック ……143
　MP3 ……129
　Music Rack ……132
　SDカード ……136
　USBメモリー……136
　WMA……129
リストから選局
　テレビ……111
　ラジオ……106
立体地図の角度調整…… 35
立体地図表示…… 34

リピート再生
AAC ……128
Bluetoothオーディオ ……147
CD ……128
DVD-VR ……121
DVDビデオ ……121
iPodビデオ ……142
iPodミュージック ……142
MP3 ……128
Music Rack ……132
SDカード ……137
USBメモリー……137
WMA……128
履歴検索…… 51

る

ルート案内中の案内表示…… 75
ルート案内中の音声案内…… 78
ルート案内中の地図画面…… 74
ルート音声案内の詳細設定…… 152
ルートサイド検索…… 47
ルートシミュレーション…… 72
ルート上の地図スクロール…… 73
ルート情報…… 72
ルート情報モード
一般道路…… 35
高速道路…… 35
ルートの学習…… 155
ルートの登録…… 60
ルートを表示…… 62

ろ

録音する…… 130
録音の設定…… 130

A

AAC …… 127
AM/FMの切り替え …… 105
AV2画面 …… 37
AV画面での割り込み …… 152
AVコントロールバー …… 29

B

Balance…… 159
Bluetooth…… 89
Bluetoothオーディオ…… 145
Bluetooth機能ON/OFF …… 98
Bluetooth対応機器の接続切り替え…… 92
Bluetooth対応機器の登録消去…… 92

C

CD …… 127

D

DVD-VR …… 120
DVDビデオ …… 120

E

ETC警告表示…… 82
ETC最新利用履歴の読み上げ…… 83
ETC情報…… 82
ETC設定…… 84
ETC料金案内…… 83
ETC履歴表示…… 83
ETCレーンガイドでの案内表示…… 76
ETCレーンの表示…… 152
ETC割り勘…… 84

F

Fader…… 159
FM VICS情報 …… 82
FM多重地域の受信地域設定 …… 155

G

GPS現在地情報…… 85

H

H.264…… 135

I

Intelligent Tune …… 159
Intelligent VOICE …… 48
iPod接続方法の切り替え …… 144
iPodビデオ …… 139
iPodミュージック …… 139

L

Loudness …… 158

M

mini B-CASカード情報 …… 119
MP3 …… 127
MPEG4 …… 135
Music Rack …… 129

N

NaviCon …… 54

O

OPTIONボタン …… 165

Q

QQコール …… 178
QRコード …… 55

S

SA/PA図 …… 36
SDカード
　オーディオ……135
　データ編集……162
　ビデオ……135
SDカード地点検索 …… 53
Siri Eyes Free機能 …… 99
Sound Restorer …… 158

T

TV番組名検索 …… 50

U

USBメモリー
　オーディオ……135
　ビデオ……135

V

VICS情報 …… 80
VICSの設定 …… 154
VICS表示の対象道路 …… 154
Virtual Bass…… 158
Virtual Stage Enhancer …… 159
Vocal Image Control …… 159
Volume Smoother …… 160
VTR機器 …… 170
VTR接続設定 …… 172

W

WMA…… 127
WMV…… 135

数字

1画面表示 …… 34
1セグ／12セグの切り替え …… 116
2画面表示 …… 34
10キーダイレクト再生 …… 123

Memo

地図に表示される色やマーク

ランドマークのデザインおよび名称などは、変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

- 山岳
- ゴルフ場・ゴルフ練習場
- 海水浴場・湖水浴場
- 空港・飛行場
- 公園・緑地
- 支庁・都道府県庁
- 区役所・市役所
- 町村役場・東京以外の区役所
- 警察本部・警察署
- 建設公共事業事務所・その他地方自治体の機関・その他国の機関
- 裁判所
- 税務署
- 森林管理署
- 交番・駐在所
- 消防庁・消防本部・消防署
- 保健所・健康相談施設・社会福祉事務所
- 郵便局
- 地方銀行
- 自衛隊関連施設
- 工場
- 発電所・変電所
- 大学院・大学
- 短期大学
- 高等専門学校
- 高等学校
- 中学校
- 小学校
- 幼稚園
- 養護学校・ろう・盲学校
- 病院・医院
- 神社
- 仏閣
- 展望台・タワー
- 灯台
- 城跡
- 名所・観光地・墓・古墳
- 温泉地
- 重要港
- 老人ホーム
- 交差点
- インターチェンジ・出入口（IC）
- サービスエリア（SA）
- パーキングエリア（PA）
- インターチェンジ・出入口（出入口）
- インターチェンジ・出入口（出口）
- 料金所
- 冬季通行止め
- 事故多発地点
- 遊覧船発着場・フェリーターミナル
- ホテル・旅館
- 駐車場
- 道の駅
- 各種資料館・博物館・美術館
- 卸売り市場
- カー用品店
- 教会
- スキー場
- キャンプ場
- 動物園
- 植物園
- スタジアム・野球場
- 水族館
- 図書館
- 霊園・墓地
- 遊園地（テーマパーク）
- 遊園地（テーマパーク）ゲート
- テニス場・その他総合運動施設
- 文化施設
- その他

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

一般地図凡例

	高速道・有料道（青）		モノレール、新交通、ケーブルカー、ロープウェイ（濃いグレー）
	国道（赤）		
	主要地方道（緑）		国境線、都道府県界・都・市（指定市含む）・町・村・支庁界
	都道府県道（茶）		
	一般道・細街路（グレー）		JR・私鉄・地下鉄（地上）路線

市街地図凡例

	都道府県界・都・市（指定市含む）・町・村・支庁界・町名・字界/町（丁）・大字界		歩道（濃いグレー）
			有料道路（紫）
			一方通行

SA/PA図

ATM	コインランドリー	公衆電話
授乳室	駐車場	トイレ
コイン洗車機	郵便ポスト	自動販売機
その他施設	レストラン	情報元のクレジットカード情報
FAX	休憩所	情報元の営業時間
飲食店	ショッピングコーナー	情報元の電話番号
ガソリンスタンド	コインシャワー	特徴情報
宿泊施設	スナックコーナー	イベント情報
ハイウェイ情報ターミナル	温泉、お風呂	
インフォメーション	ショップ	

VICS情報マーク

交通障害情報

事故　障害物・路上障害　工事　故障車　作業　凍結

交通規制情報

通行止・閉鎖　速度規制　車線規制　入口制限　徐行　進入禁止

片側交互通行　対面通行　入口閉鎖　大型通行止め　チェーン規制

駐車場情報、SA/PA情報

満車（赤）　混雑（黄）　空車（青）　閉鎖　不明（黒）

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　クラリオン株式会社　〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2

280-9233-11

PART NO.08A40-2T0-4000-8A

2014/7 Printed in Japan